



REAL CEDAR PROJECTS for

AROUND YOUR HOME

住まい周りの本物のシダーを使ったプロジェクト

自然で耐久性が高く、持続可能なウエスタンレッドシダーで屋外のリビングスペースをさらに魅力的に。



ウエスタンレッドシダーを選ぶ理由

ウエスタンレッドシダーは真に優れた自然の建材の一つ。卓越した美しさ、独特の香り、多数の用途、環境への影響が少ないことに加え、屋外リビング用として理想的な材料となる天然の特徴を備えています。

寸法安定性

ウエスタンレッドシダーは、一般的な材と比べて、2倍の安定性を誇ります。これは、密度と収縮率が低いことで、平らで通直、接合金具をしっかりと固定します。

加工のしやすさ

ウエスタンレッドシダーは、細かく、真っ直ぐな木目と均一な材質により、一般的な道具で、切断、鋸ひき、釘打ちがしやすい、軽量の長尺材を切り出すことができます。滑らかな表面にプレーナー加工したり、様々な形に加工しやすい材で、樹脂やヤニを含まないため、様々な接着剤を使用でき、多くのペンキやステインの下地としても最適です。

天然の防腐成分

ウエスタンレッドシダーは、世界で最も耐久性の高い樹種の一つです。湿気、腐れ、虫食いを防ぐ天然成分を含み、長い間、住宅の内装や外装で使用されています。心材のシダーの繊維は、腐朽菌を死滅させる天然の防腐成分、防腐性のあるツヤプリシンと水溶性フェノールという2つの抽出物を持ちます。これらの抽出物の生産力は、樹齢が高くなるにつれ増大するため、心材の外側が最も耐久性が高くなっています。

耐候性

ウエスタンレッドシダーは屋外でそのまま使える数少ない樹種の一つで、厳しい環境でさえ数十年、長持ちします。湿気、腐れ、虫食いに対して天然の耐性があるため、日光、雨、熱、寒さなどに年間を通して晒される外装材として理想の選択肢。適切に仕上げ、取り付け、メンテナンスを行うことで、ウエスタンレッドシダーの屋外製品は30年以上持ちます。





ヘリテージ

ウエスタンレッドシダーの人気は、数千年前、最初に北米太平洋沿岸地域に定住した先住民に遡ることができます。生活の中心的存在として敬われるようになった汎用性の高いこの樹種は、やがて『生命の木』として知られるようになりました。

先住民の職人や芸術家たちは、シダーの各部位をそれぞれ異なる用途に利用してきました。職人は心材からカヌー、トーテムポール、保存用の箱、儀式用のマスクを彫り上げました。内皮を編んで敷物やバスケット、撥水効果のある衣服を製作しました。また、小枝からはロープが、根からはバスケットや紐を作りました。受け継がれるこの伝統は、ウエスタンレッドシダーの品質と耐久性の証。他の建材が並ぶことのない優れたものです。そして、お買い上げいただくお客様にとって、ウエスタンレッドシダーが時の流れに耐える素材であることの保証となっています。

環境

ウエスタンレッドシダーは究極のエコ建材です。独特の美しさ、天然の耐久性、長年にわたり証明されてきた性能。また、環境にやさしい製品です。温室効果ガスの排出量、水質汚濁や大気汚染が少なく、他のものより生産に必要なエネルギーも少量ですむほか、再生可能で持続可能な資源から生まれます。ウエスタンレッドシダーはカーボンニュートラルです。

公的に管理されたカナダ、ブリティッシュ・コロンビア州の森林で、確実に持続可能な方法により伐採されています。BC州は国連が提唱するガイドラインを上回る、土地面積の12%超を公園用地に指定。BC州内に育成するシダーのうち、年間伐採の対象となるのは0.3%に満たないわずかな量にすぎません。1本伐採されるごとに、3本の苗木を再植しています。100年前と比べ、北米の森林は実際に改善されています。若い森林は炭素吸収源の宝庫でもあり、大気に酸素を還元するため、より健全な環境作りにも役立っています。

ウエスタンレッドシダー輸出協会のメンバーはすべて、独立第三者機関(CSA、SFI、FSC)のひとつ、もしくは複数からの認証取得済み、もしくはその過程にあります。

ウエスタンレッドシダーのライフサイクルにおける環境負荷は、製材の中でも最小です。人工の代替品と違い、生産に多くのエネルギーを必要とせず、生物分解も可能です。製材の実質熱抵抗値(R値)は、鉄と比べて400倍、アルミニウムの2000倍、コンクリートの8倍優れているという結果が得られています。

環境に配慮した正しい選択、ウエスタンレッドシダーはグリーンな建材です。



REAL CEDAR PROJECTS for

OUTDOOR LIVING

本物のシダーを使った屋外リビングプロジェクト

REAL  CEDAR

屋外リビング

さまざまな構造上および装飾上の用途に適しているウエスタンレッドシダー材は、通常、大きく分けて2つの最終用途に分類することができます。ひとつは、強度と露出している木材の外観の両方が同様に重要な、大きな建物の構造材として、もうひとつは、外観が最も重要な造園、公園、庭園の構造物に。

両方の最終用途で、ウエスタンレッドシダー材の自然の美しさ、デザインの柔軟性、抜群の寸法安定性、長期にわたる耐久性が、優れた効果を演出します。シダーは長期間、厳しい天候に耐えることで、長い歴史を持ちます。また、機能および物理上特性で定評ある構造物です。



Photo by: www.gardenstructures.com



Photo by: www.gardenstructure.com



Photo by: www.gardenstructure.com



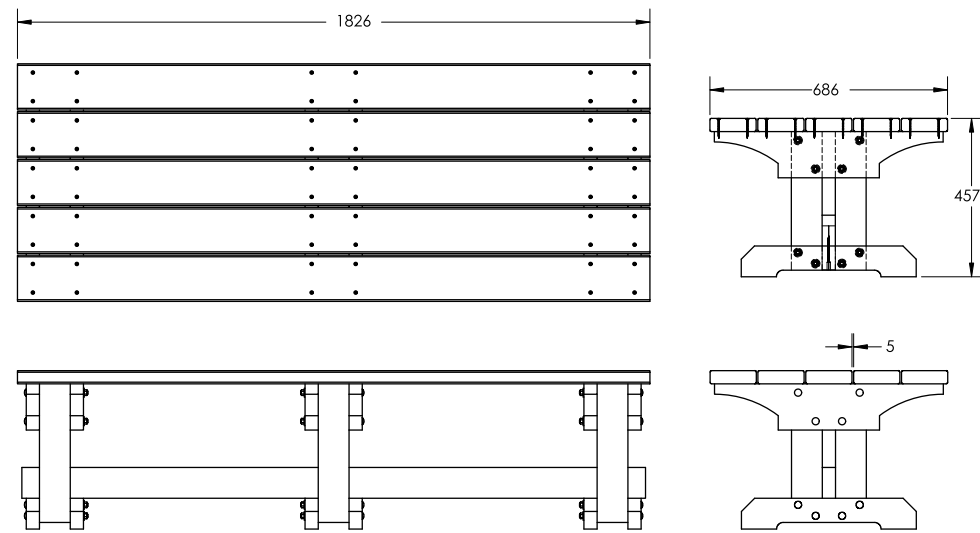
Photo by: www.gardenstructure.com



ベンチ

材料表

- 1本 89mm x 89mm x 3.0m
- 1本 38mm x 140mm x 3.0m
- 3本 38mm x 140mm x 3.6m
- 1本 38mm x 89mm x 2.4m
- 1本 38mm x 89mm x 3.0m
- 12個 75mmの#8 デッキ用ネジ
- 60個 63mmの#8 デッキ用ネジ
- 24個 175mm x 9mm
垂鉛メッキ根角ボルト
ナット付きボルトとワッシャー
小さな防水接着剤(オプション)



施工方法

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 表から組み立てして、やすりをかけて、一緒に積んでおいてください。
3. このプロジェクトでは、一時ネジか、かすがいで締めます。
4. 矩尺を使って、支えと、足元の厚板の中心に印をつけます。
5. 38 x 89mm の小さい角材の中心線を引いて、89mm x 89mm の柱2本と接する場所に、支え2つを並べるのに使います。
6. ベンチの上に、2本の柱の上に支えと足元用厚板、それから反対側に支えと足元用厚板を挟んだものを並べてください。柱の一番上と下を並べます。2個の小さい38mm x 89mmの端材を使って、適切な柱の間隔を保ちましょう。大体の正しい位置にかすがいで固定します。
7. 矩尺を使って、部品を四角に切って、図にしたがって3つ全てを通る根角ボルト用の10mmの穴を開けます。
8. 根角ボルトを差込、ぴったり合うまで締めてください。(一度使用した後、もう一度締めてください)。繰り返して、全ての枠を作成しましょう。
9. 横梁のベンチの柱の位置にマークをつけ、横梁をスライドさせて、柱1本につき2個のネジで邪魔にならない位置で固定します。
10. ベンチの厚板を最も真っ直ぐなものをまず中心に置いて、取り付けしていきます。75mmのネジを少し皿穴に埋めて、支えに取り付けます。ベンチの板を締めながら、5mmのスペーサーか半径が5mmのシャフトのついたスクレュードライバーを使って、板の残りの間隔をあけます。

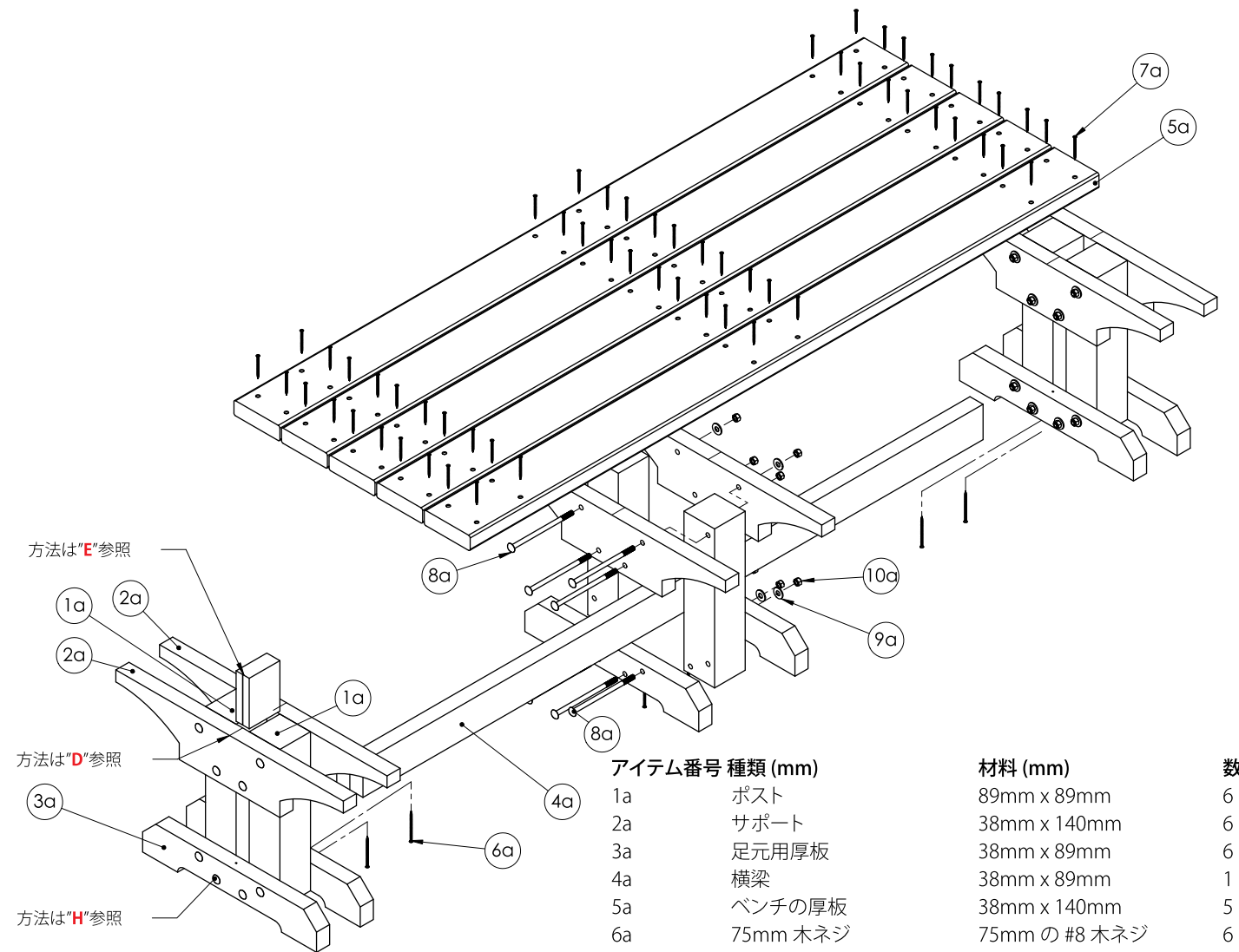
11. 別の方法—ネジを皿穴にうめて、ベンチの厚板を少し深め(10mm)に固定して、ボールにつけたテーパープラグカッターを使って、埋め木を作ります。木目と色調が合うようにして、端材を使って埋め木を作り、ネジが見えないようにします。接着剤が乾くのを待ち、余分な埋め木をフラッシュカットソーで整えましょう。

12. 紙やすりで鋭い端を削り、くずを除き、仕上げを行います。

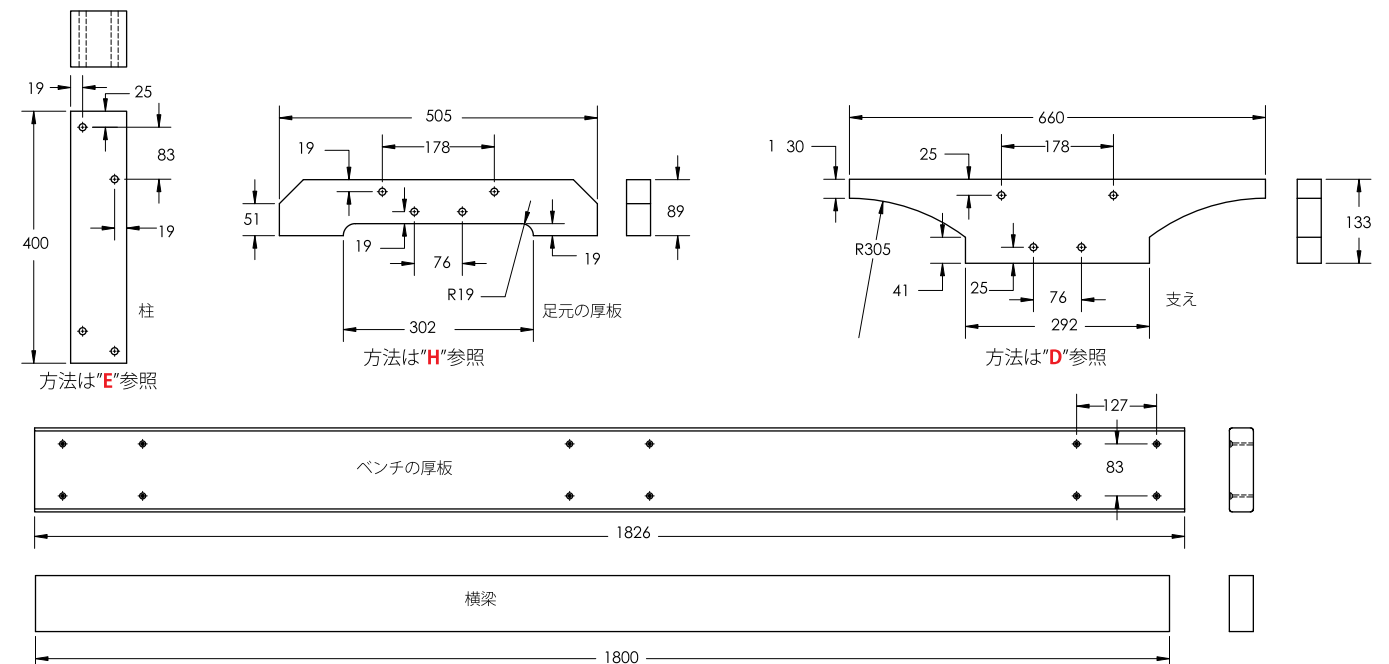
*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

お勧めの道具・ツール

- 38mm x 89mm の小さい端材3つ
- ドリル、10mmのスパード型ビットまたはオーガービット
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 木工用かすがい4つ(オプション)
- 矩尺
- 調整可能なレンチまたはソケットのセット
- 10mm皿穴とパイロットビット
- テーパープラグカッター(皿穴を埋めるため)
- 千枚通しまたは5mmシャフトのスクレュードライバー2つ
- 80グリットの紙やすりを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤(オプション)
- フラッシュカットソー



アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1a	ポスト	89mm x 89mm	6
2a	サポート	38mm x 140mm	6
3a	足元用厚板	38mm x 89mm	6
4a	横梁	38mm x 89mm	1
5a	ベンチの厚板	38mm x 140mm	5
6a	75mm 木ネジ	75mm の #8 木ネジ	6
7a	57mm 木ネジ	57mm x #8 木ネジ	60
8a	10mm x 178mm根角ボルト	10mm x 178mm根角ボルト	24
9a	10mm平ワッシャー		24
10a	10mm六角ナット	10mm六角ナット	24



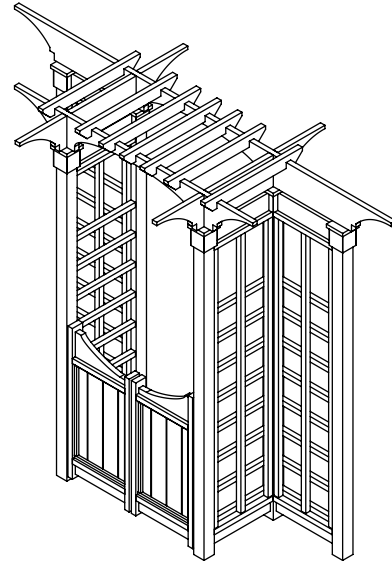
魅力的な庭の東屋

材料表

6本	89mm x 89mm x 3.6m	1kg	32mm 亜鉛メッキ仕上げ用ネジ釘
3本	38mm x 238mm x 3.6m	1kg	75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
1本	38mm x 140mm x 2.4m	1kg	57mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)(または15ゲージ仕上げ用無頭釘または67mm 亜鉛メッキ仕上げ用ネジ釘)
2本	38mm x 89mm x 3.6m		
2本	38mm x 140mm x 3.0m		
21本	38mm x 38mm x 2.4m	2組	ヘビーデューティ用のストラップヒンジ
2本	38mm x 89mm x 3.6m	10個	32mm 亜鉛メッキ屋根用釘
4本	38mm x 89mm x 2.4m		
4本	16mm x 140mm x 1.5m		
4本	16mm x 140mm x 1.8m		
4本	19mm x 19mm x 2.4m		
1本	26mm x 140mm x 2.4m		
8個	亜鉛メッキフェンスクリップ		

*皿穴のある10mmパイロットホールを使い、ボール盤とテーパープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討してください。

**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してください。



施工手順

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 材料表から組み立てて、似た部品を一緒に積んでおいてください。部品は少し長めにとって、寸法を確認して合うように整えるのがよいでしょう。
3. 深さ1.0m x 250mmの穴の位置を決めて、レバーオーガーまたはパワーオーガーを用いて掘ります。—もっと良いのは、柱の穴を開けるのを専門にする人に依頼することです。正確な柱の位置を確保するために、10mm のシート合板に穴の位置を配列することをご検討ください。柱の位置を決めた後、もう一度位置を確認して、必要な場合は、部品の寸法を調整しましょう。
4. 一番外側の柱をまず設置して、13mm 離してひもをつけて、柱を水平にまっすぐ並べましょう。足で土や細かい砂利をしっかり詰める場合は、柱を固定する必要はありません。
5. 24-48時間、柱が固定するよう、おいておき、次にベースレールとキャップレールを取り付けます。横木とキャップレールをポケットホールジグと75mmの#12ネジを使って固定します。ベースレールは、地面から75mm離して、お互いに対して水平であるようにしてください。
6. 柱を図の高さに切りましょう。図にしたがって、ポストキャップを取り付け、垂木を組み立て、75mmデッキ用ネジを使って、ポストキャップにしっかり固定します。全て中央でそろえます。全てのネジは皿穴にうめてください。75mmデッキ用ネジを使って垂木を取り付けます。
7. 図にしたがって32mm亜鉛メッキ屋根用釘でフェンスクリップを取り付け、お互いに対して水平になるようにします。屋根釘を使って、サポ

ートレールを合わせて、取り付け、皿穴と75mm デッキ用ネジで横木の上からしっかり固定します。

8. 図のとおり、側面格子パネルを組み立てます。格子をしっかりと固定する一方、部品の間隔をすぐに正確にあけることができるよう、角材を切りましょう。57mmデッキ用ネジを使って、縦材を横材に留めます。

9. 図を見てゲートを組み立てます。枠と締め具を75mmデッキ用ネジで留めます。トリムを補強材の内側と同じ面に取り付けます—それから板を仕上げ用釘または57mmデッキ用ネジで、枠に斜めに打ち込んでください。ゲートを地面から離して取り付けましょう。

10. ステインを施し、外装用パテで空洞になっている部分や穴を埋めましょう。パテの後で二度目のステインコーティングを行います。

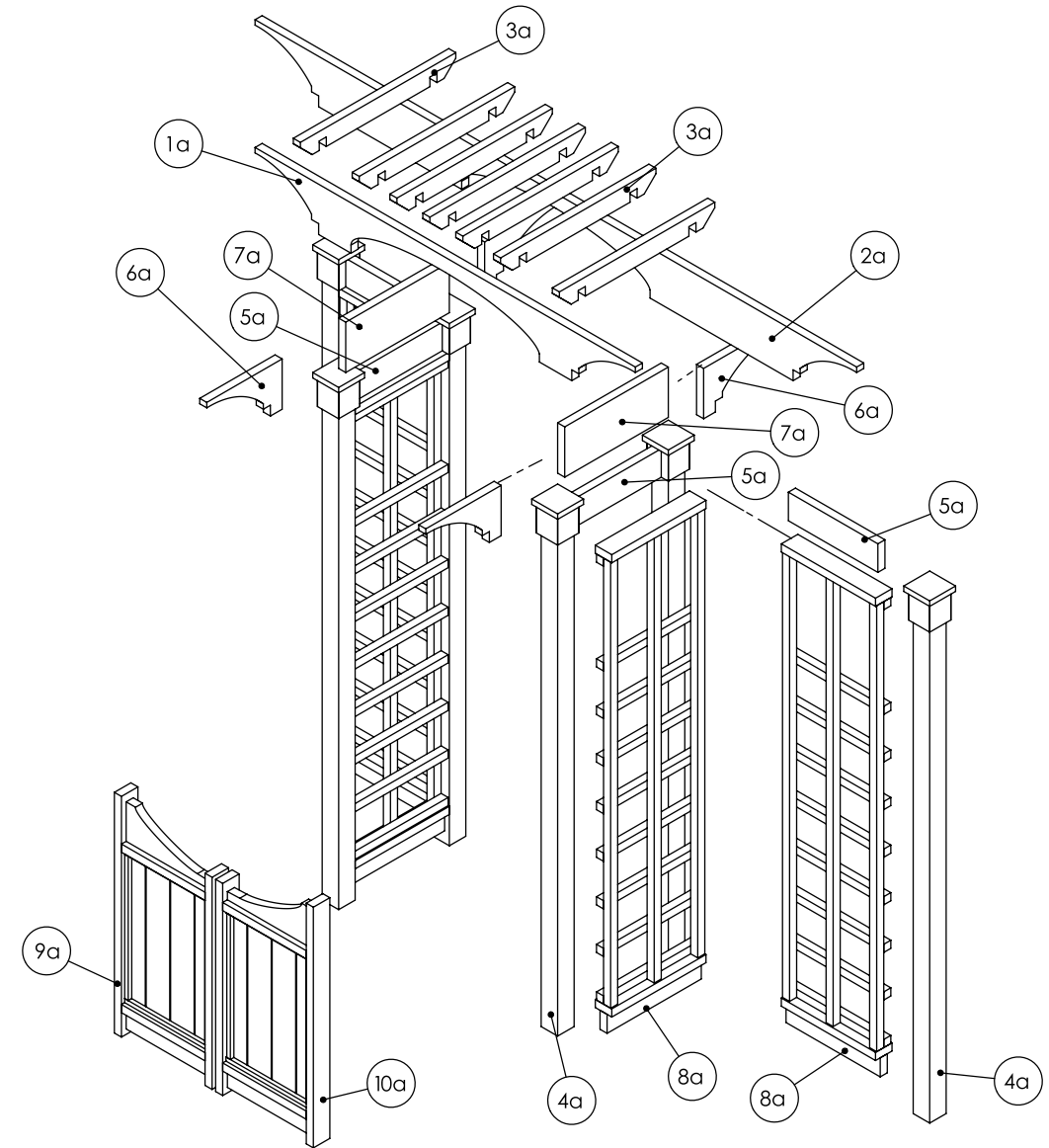
*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

お勧めの道具・ツール

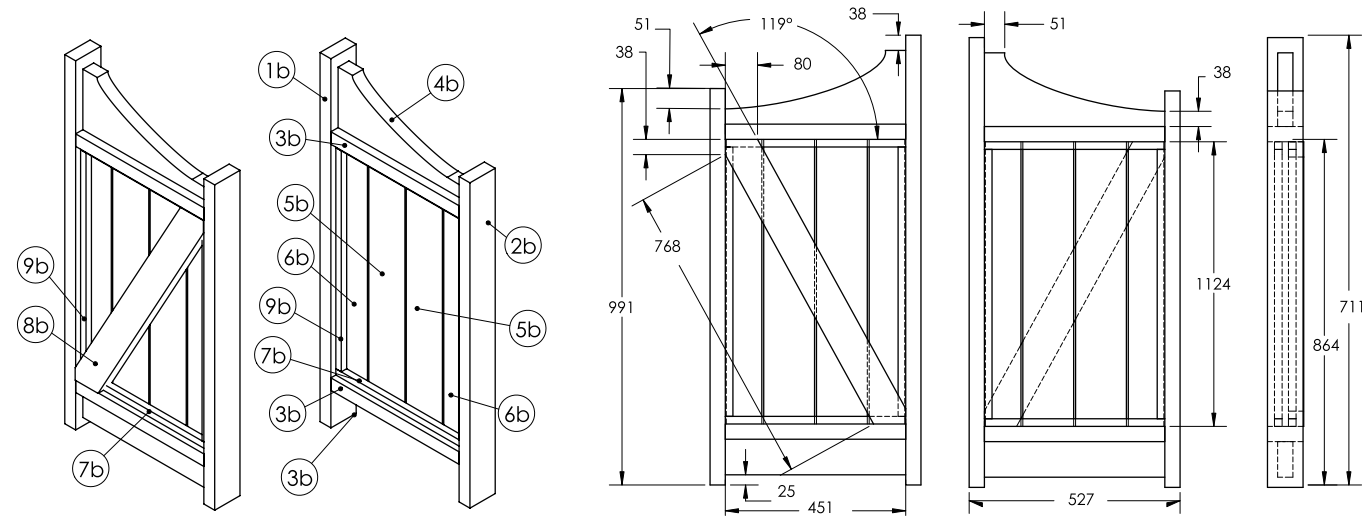
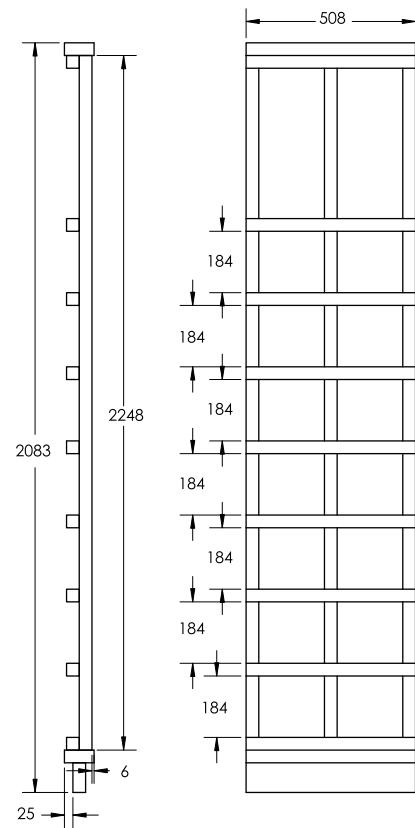
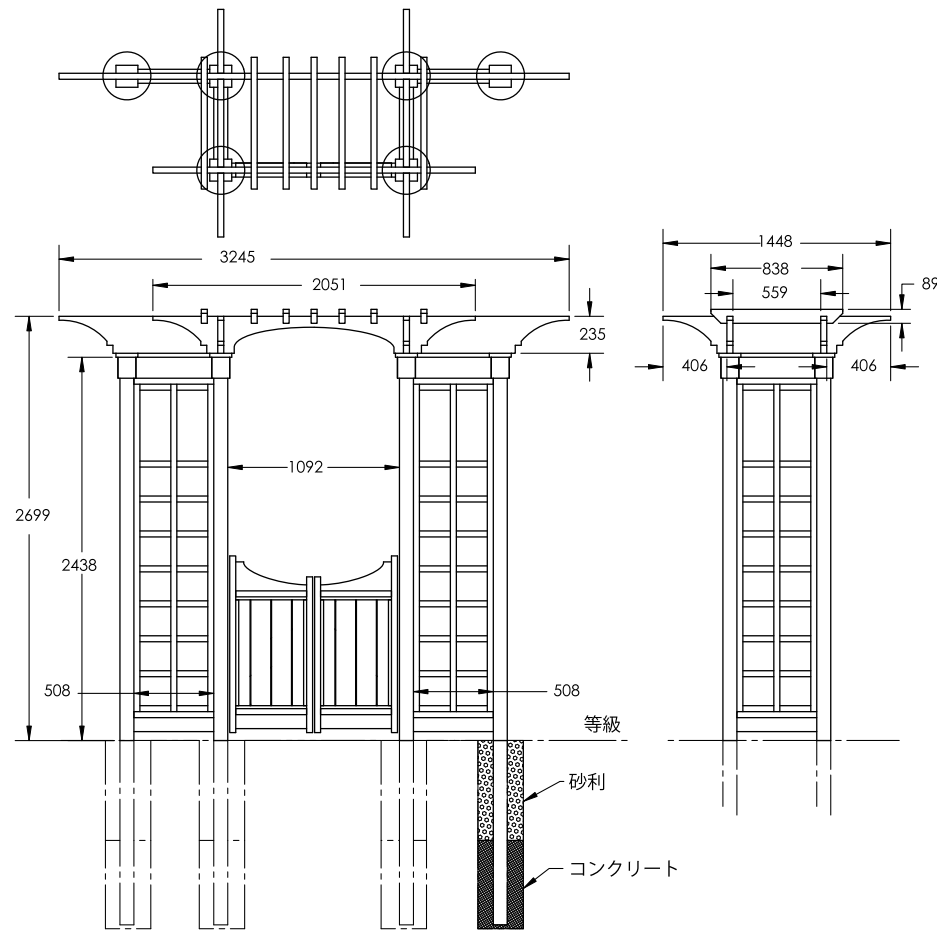
- 38mm x 38mm小さい 端材(スペーサーブロック)4つ
- ドリル、10mmのスパード型ビットまたはオーガービット
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 木工用かすがい4つ (オプション)
- 矩尺
- 調整可能なレンチまたはソケットのセット
- 10mm皿穴とパイロットビット、テーパープラグカッター(皿穴を埋めるため)
- 80グリットの紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤(オプション)
- フラッシュカッター
- テーブルソー
- 手押し車、ショベル、クマ手、レバーオーガー

アイテム番号	種類	材料	カット材料	数量
1a	梁-短	38mm x 238mm	A *	1
2a	梁-長	38mm x 238mm	A *	1
3a	垂木	38mm x 89mm	C *	7
4a	柱の部分組立部		図 vi & vii	6
5a	ポスト接続ブロック	38mm x 140mm	D*	4
6a	梁端部	38mm x 238mm	B*	4
7a	梁ブロック	38mm x 238mm	B*	2
8a	側面パネルの部分組立部		図 ii および iv	4
9a	右側の門の部分組立部		図 iii	1
10a	左側の門の部分組立部		図 iii	1

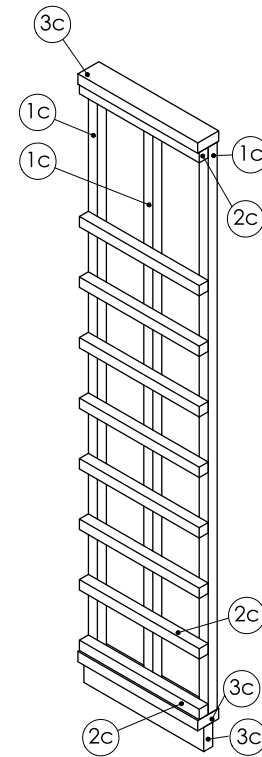
木材 ID	材料	数量
*A	38mm x 238mm x 3.6m	2
*B	38mm x 238mm x 3.6m	1
*C	38mm x 89mm x 3.6m	2
*D	38mm x 140mm x 2.4m	1



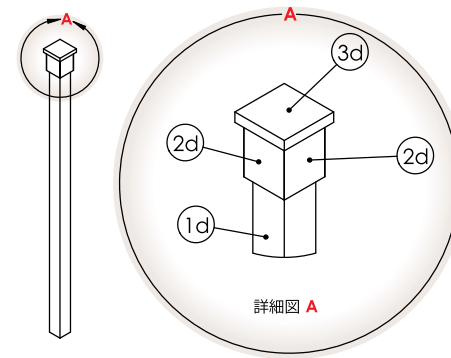
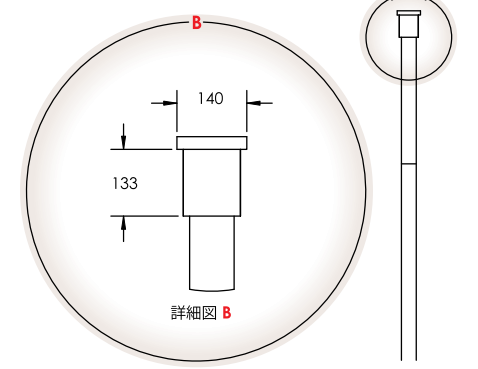
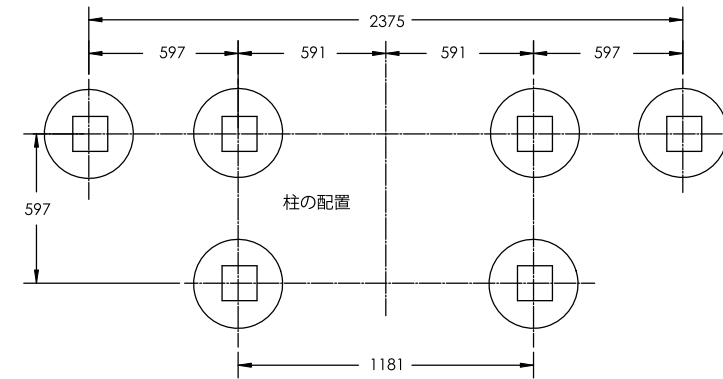
魅力的な庭の東屋



アイテム番号	種類	材料	カット材料	数量	木材 ID	材料 (mm)	数量
1b	側面レール(長)	38mm x 89mm	F*	1	*F	38mm x 89mm x 3.6m	2
2b	側面レール(短)	38mm x 89mm	F*	1	*G	16mm x 140mm x 1.5m	4
3b	横レール	38mm x 89mm	F*	3	*H	格子固定トリム	9.8m
4b	曲線状ブロック	38mm x 238mm (端材)	B*	1	*J	38mm x 89mm x 2.4m	1
5b	縦のフェンスボード	16mm x 127mm フェンスボード	G*	2			
6b	縦のフェンスボード(リップ)	16mm x 127mm フェンスボード	G*	2			
7b	19mm 横トリム	19mm x 19mm	H*	4			
8b	38mm x 89mm 補強材	38mm x 89mm	J*	1			
9b	19mm 縦トリム	19mm x 19mm	H*	4			

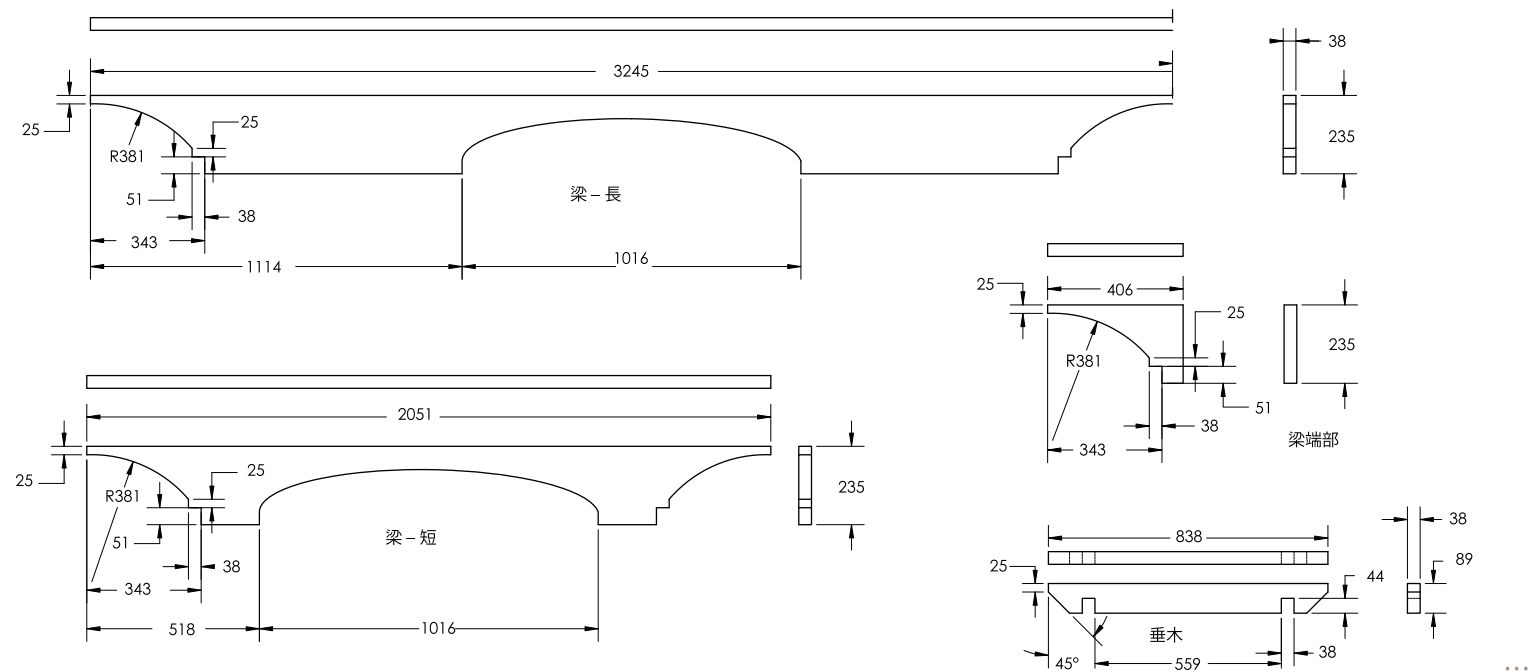


アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	カット材料	数量	木材 ID	材料 (mm)	数量
1c	2.0m 縦材	38mm x 38mm	D*	3	D*	38mm x 38mm x 2.4m	21
2c	508mm 横材	38mm x 38mm	D*	9	E*	38mm x 38mm x 2.4m	3
3c	レール	38mm x 89mm	E*	3			



アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	カット材料	数量
1d	柱	89mm x 89mm	K*	1
2d	柱トリム	16mm x 140mm フェンスボード	L*	4
3d	ポストキャップ	26mm x 140mm	M*	1

木材 ID	材料 (mm)	数量
*K	89mm x 89mm x 3658mm	6
*L	16mm x 140mm x 1829mm	4
*M	26mm x 140mm x 2438mm	1



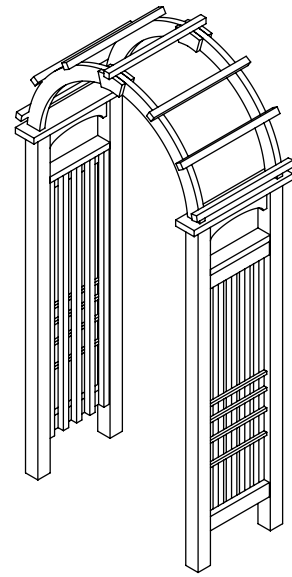
ガーデンアーチ

材料表

4	89mm x 89mm x 3.6m (フォーチング取り付け) または 89mm x 89mm x 2.4m-4本+コンクリートへ取り付けるためのカーポートブラケット	.25kg	38mm 亜鉛メッキ仕上げ用ネジ釘
1	38mm x 187mm x 3.6m	1kg	75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
13	38mm x 38mm x 2.4m	.5kg	57mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
1	38mm x 89mm x 3.0m		
2	38mm x 140mm x 2.4m		
3	19mm x 19mm x 2.4m		
1	合板カバーシート		

*皿穴のある10mmパイロットホールを使い、ボール盤とテーパープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討してください。

**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してください。



施工手順

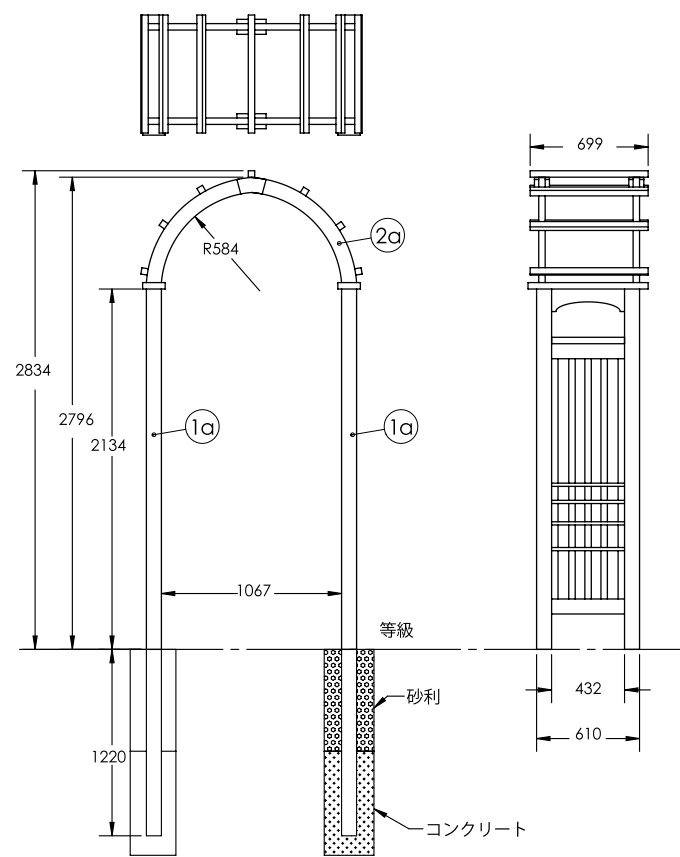
1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 材料表から組み立てて、似た部品を一緒に積んでおいてください。部品は少し長めにとって、寸法を確認して合うように整えるのがよいでしょう。
3. 深さ1.0m x 250mm の穴の位置を決めて、レバーオーガーまたはパワーオーガーを用いて掘ります。一もつと良いのは、柱の穴を開けるのを専門にする人に依頼することです。正確な柱の位置を確保するために、10mm のシート合板に穴の位置を配列。柱と、柱の外側2面の周りのスペースを切り取ります。柱の位置を決めた後、もう一度位置を確認して、必要な場合は、部品の寸法を調整しましょう。
4. 4本の柱を合板の配列パターンに合わせて立てて、水平になるようにして並べます。コンクリートと裏込めや穴への砂利の注入には、誰かに手伝ってもらいましょう。手伝ってもらっている間、両方向で柱が水平を保つようにしてください。足で土や細かい砂利をしっかりと詰める場合は、柱を固定する必要はありません。
5. 24-48時間、柱が固定するよう、おいておき、次に横木をカットして合わせます。ポケットホールジグと75mmのデッキ用ネジを用いて固定しましょう。低いほうの横木は、地面から75mm離して、お互いに対して水平であるようにしてください。
6. 柱を図の高さに切りましょう。75mmのデッキ用ネジを用いて成形横木を取り付けます。
7. 楕円のキープブロックを使って、半円部の垂木を固定します。木目を逆にすると、強度が高くなります。図のとおり57mmネジを使って、38mm x 38mm垂木を固定してください。

8. 組み立てたアーチにトッププレートを取り付け、75mmデッキ用ネジを使って、柱と曲線状の横木を固定します。
9. 38mm x 38mmの縦材を寸法にカットして、57mmデッキ用ネジを使って、同じスペースになるように固定してください。
10. 38mm仕上げ用釘を使って、19mm x 19mmの格子横材を縦材に取り付けます。

*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

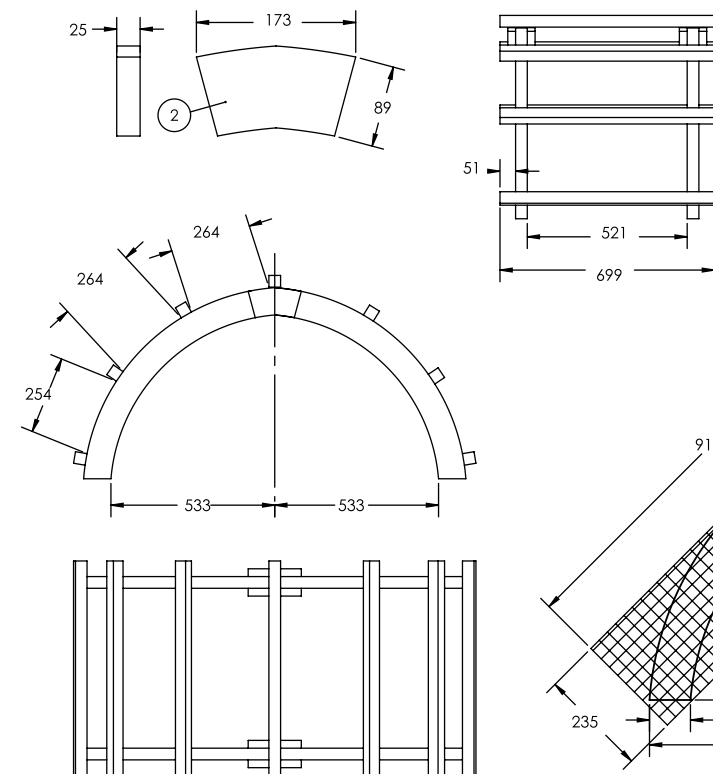
お勧めの道具・ツール

- 38mm x 38mm小さい 端材(スペーサーブロック) 4つ
- ドリル、10mm のスパード型ビットまたはオーガービット
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 木工用かすがい4つ(オプション)
- 矩尺
- 調整可能なレンチまたはソケットのセット
- 10mm皿穴とパイロットビット、テーパープラグカッター(皿穴を埋めるため)
- 80グリットの紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤(オプション)
- フラッシュカットソー
- テーブルソー
- 手押し車、ショベル、クマ手、レバーオーガー
- ポケットホールジグ と #12 平ステンレス木ネジ(オプション)

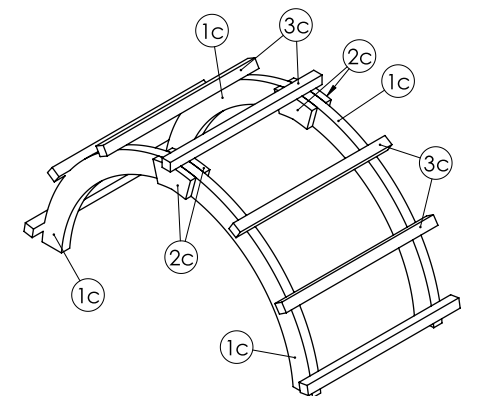


アイテム番号	種類	材料	数量
1a	側面パネル組立	図 ii	2
2a	垂木組立(部分組立部)	図 iii	1

アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1b	柱 x 3.6m	89mm x 89mm	2
2b	成形横木 x 432mm	38mm x 140mm	1
3b	横レール x 432mm	38mm x 89mm	3
4b	縦材 x 1.6m	38mm x 38mm	5
5b	トッププレート x 838mm	38mm x 140mm	1
6b	格子横材 x 432mm	19mm x 19mm	4



アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1c	半円状の垂木	38mm x 238mm	4
2c	楕円のキープブロック	26mm x 140mm	4
3c	垂木 x 700mm	38mm x 38mm	7



新しいクラシックなガゼボ

材料表

- 1本 140mm x 140mm x 3.6m(最頂部の飾り、キューポラの先)
- 4本 38mm x 140mm x 2.4m (鼻隠、内側レール)
- 10本 38mm x 140mm x 3.0m(重いものでは、38mm x 187mm x 3.0mの床枠でも)
- 10本 38mm x 140mm x 3.6mまたは26mm x 140mm x 3.6m(デッキ)
- 58本 38mm x 89mm x 2.4m (垂木、柱、頭つなぎ材、手すり上部、横木取付板、最頂部の飾り、キューポラ枠)
- 8本 16mm x 89mm x 2.4m (柱のトリム)
- 18本 38mm x 38mm x 2.4m (手すり子)
- 3本 26mm x 140mm x 2.4m (横木)
- 5本 16mm x 64mm x 2.4m (レール取付板)
- 8本 16mm x 238mm x 3.6m バーンボード、または16mm 外装用合板(屋根板)3枚
- 1本 38mm x 140mm x 3.6m (支え)
- 2本 26mm x 140mm x 2.4m (支え取付板)

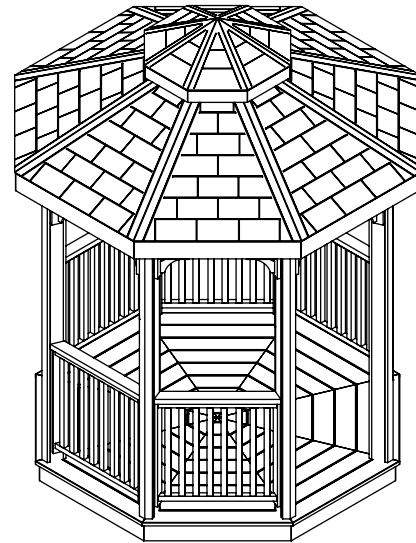
- 1本 38mm x 187mm x 3.0m (棟木)
- 1Sht 19mm (積層柱用の外装合板)1枚
- 防水接着剤0.95リットル

締め具:

- 16個 垂鉛メッキハリケーンクリップ (該当する場合)
- 3.5kg 32mm 垂鉛メッキ屋根用釘
- 3.5kg 75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
- 2.5kg 89mm 垂鉛メッキネジ釘
- 1kg 75mm 垂鉛メッキ仕上げ用ネジ釘
- 8本 ナット、ワッシャ付き5" x 1/2" 垂鉛メッキ根角ボルト
- 24個 ナット、ワッシャ付き3 1/2" x 3/8" 垂鉛メッキ根角ボルト

*皿穴のある10mmパイロットホールを使い、ボール盤とテーパープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討してください。

**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してください。



施工手順

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 必要とされる部品を組み立てて、似た部品と一緒に積んでおいてください。部品は少し長めにとって、寸法を確認して合うように整えるのが良いでしょう。
3. このガゼボはSONOTUBEのフーチングかスラブの上に置く、またはコンクリートブロックの上に据付けるのが適しています。ただし、より水平を保てるため、常にパティオストーンの上にブロックを置くのが良いでしょう。
4. 長持ちするSONOTUBEのフーチングを選ぶ場合は、ストラップタイプのアンカーか、カーポートブラケットを用いて、ボルトで根太まで固定して、接続部の防風対策を行ってください。柱取り付けは調整可能なタイプの使用を検討してください。レバーオーガーまたはパワーオーガーを用いて最低で深さ1.0m x 250mmの穴の位置を決めて、掘ります。—もっと良いのは、柱の穴を開けるのを専門にする人に依頼することです。フーチングのレイアウトにある寸法を用いて、支柱を注意して設置します。
5. 38mm x 140mm か38mm x 187mmの材料から、図にあるように床構造を組み立てます。注意して、2本のメインの梁の間に19mmの隙間を残して、柱とデッキをつなぐ広葉樹の薄板に合わせるようにします。隙間を保つため、約400mmごとに合板ブロックを用います。
6. 図にしたがって合板のスペーサーで縦柱を組み立て、枳根太の反対に置きます。柱は外装用合板の83mmの細片を用いて、防水接着剤で柱を重ねて組み立てます。木工用かすがいで根太をしっかり固定します。最初のデッキの列を取付け(枳は38mm張り出しているようにしてください)、柱の周りにV字型の刻み目を入れます—ただし、完全な切り口になるよう注意する必要はありません。ガゼボの内側に向けて根太をカバーする16mmのトリムがあります。柱は接続部を覆うデッキを設置する直前にしっかり固定してください。デッキの作業をしながら、垂鉛メッキ根角ボルト、ナット、ワッシャを取り付けます。
7. デッキは通常、少し長めに施工して、後から丸ノコで整えて端をまっすぐにします。5mmの隙間を保ち、しっかり接続しているよう注意して、各部を作りましょう。デッキは少し長めに残して、それから整えます。最後の部分は注意して取り付ける必要があります。
8. 図にしたがって、お互い水平になるよう柱をカット。頭つなぎ材と横木を取り付けます。
9. 全ての垂木部品を切断して、8つの部分を全て組み立て、脇に置いて固定します。次は外装および内装サイディングの取り付けです。内装サイディングを取り付ける場合は、横木につなぐボルトを簡単に付けることができるように、数本、取っておきましょう。八角形の棟の梁は、屋根のパイ型の各セクション用の頭つなぎ材です。1"のバーンボードに

より、釘がガゼボの内部に突き出ることなく、屋根材を設置することができます。屋根内側をさねはぎにする場合は、合板を代わりに使用してもよいでしょう。屋根パネルを設置する前にシングルを取り付けてもいいですが、パネルを上げて、正しく設置するのに人手がかかります。また、地面にかかる重量が増えて作業が難しくなりがちです。

10. 最初の部分を置いて、次の部分を持ち上げながら、最初の部分を支える38mm x 89mm x 3.6mを固定します。二番目の部分を最初の部分にボルトで固定—かすがいを使って、部分を一時的に支えながら行います。全ての部分をボルトで留めるまでは、頭つなぎ材に固定しないでください。全体の組み立ては頭つなぎ材を中心に行います。ハリケーンや強風の被害がある地域では、屋根を頭つなぎ材へ接続するのにハリケーンクリップを使用してください。

11. キューポラは地面で組み立ててから、取り付けることもできます。キューポラは内部からネジを用いて固定します。キューポラ取り付け前に屋根とコーナーキャップを取り付けることもできます。

12. それぞれの柱が水平か確認して、一時的に固定します—それから方杖、内部の柱のトリムと外部キャブを付けてください。

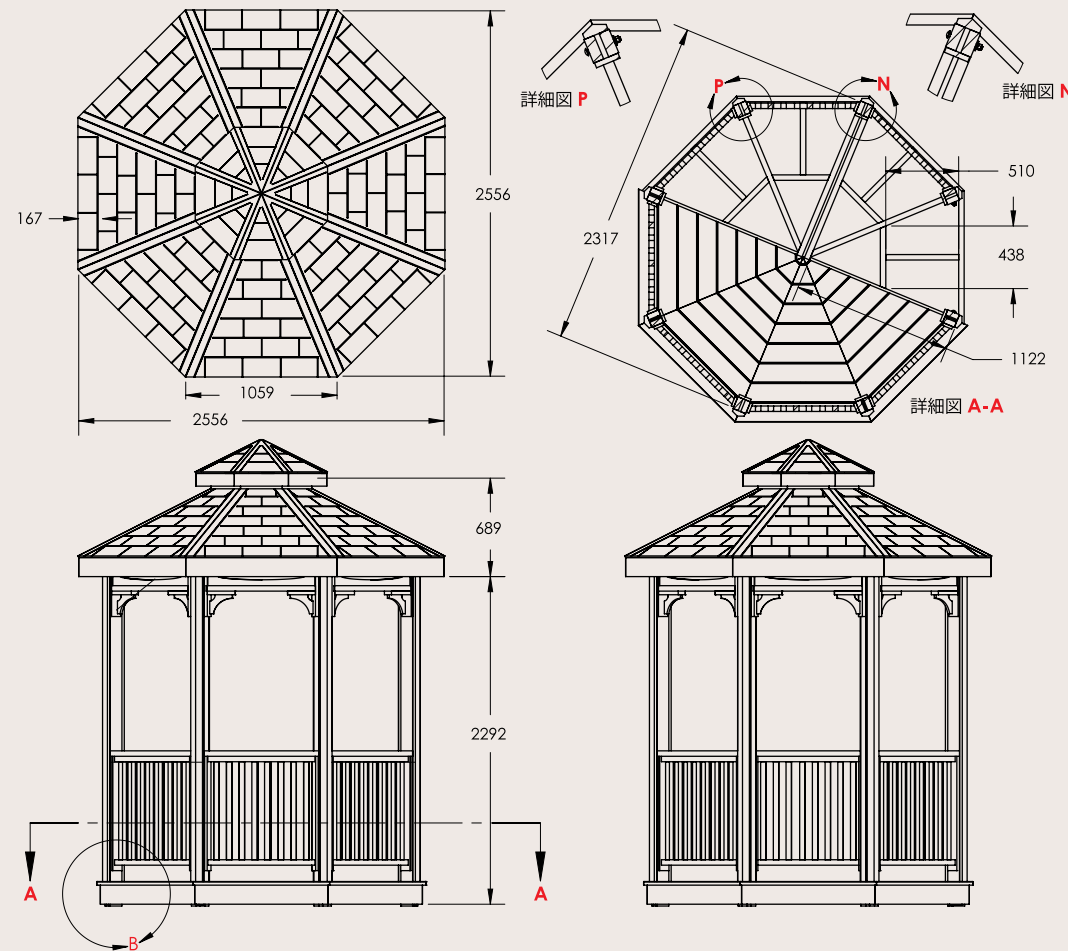
13. 手すり部分を組み立て、同じ抱き(柱の外側の面と手すり取付ブラケットの間のスペース)で固定します。

14. 巾木は場所の状態により異なります。角材、フーチング、スラブの設置により、異なった巾木を使用します。通常、デッキは約38mmはみ出し、巾木がデッキに接合します。

15. 屋根材を選び、取り付けましょう。コーナーキャップに注意しましょう。シダーの柿屋根は日曜大工で簡単にできるとは考えないでください—適切に施工するのが難しい屋根です。屋根施工に自信がないときには、屋根全体に氷や水を遮断するものを使用を検討してください。

16. ガゼボにステインを施し、外装用パテで空洞になっている部分や穴を埋めましょう。パテの後で二度目のステインコーティングを行います。

*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

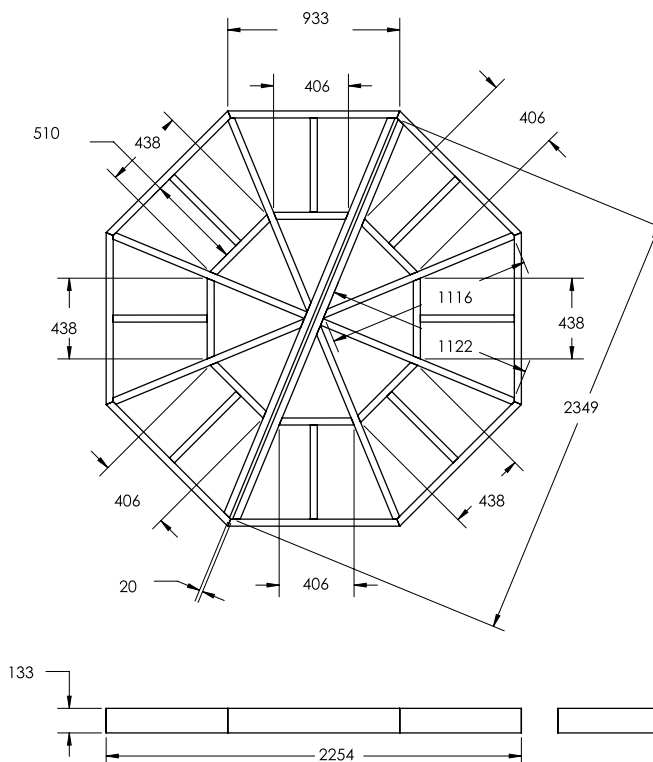
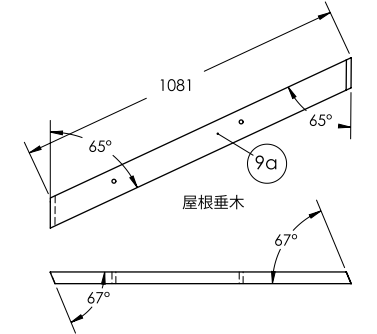
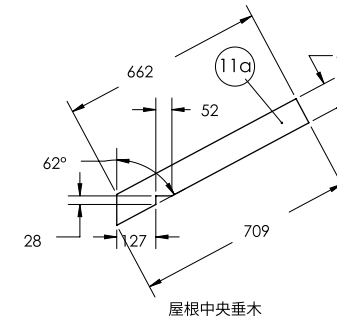
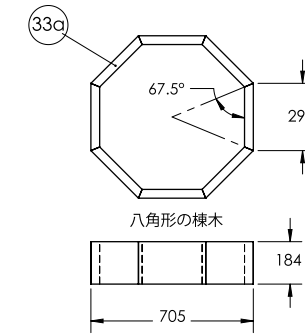
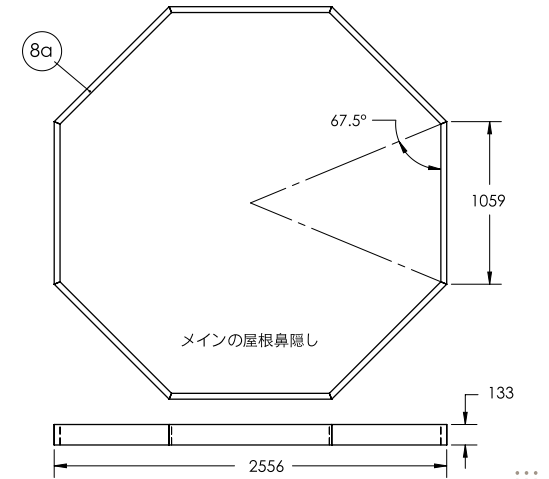
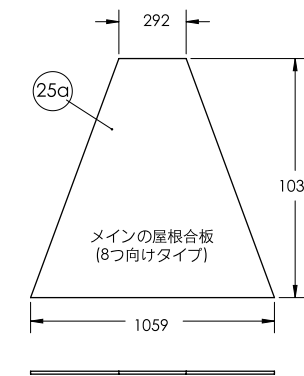
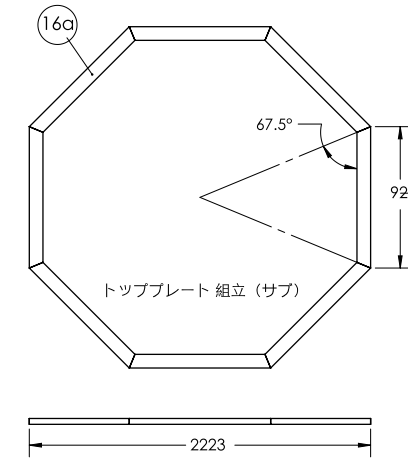
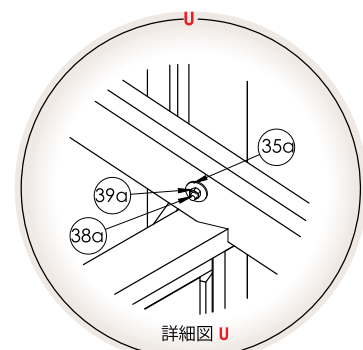
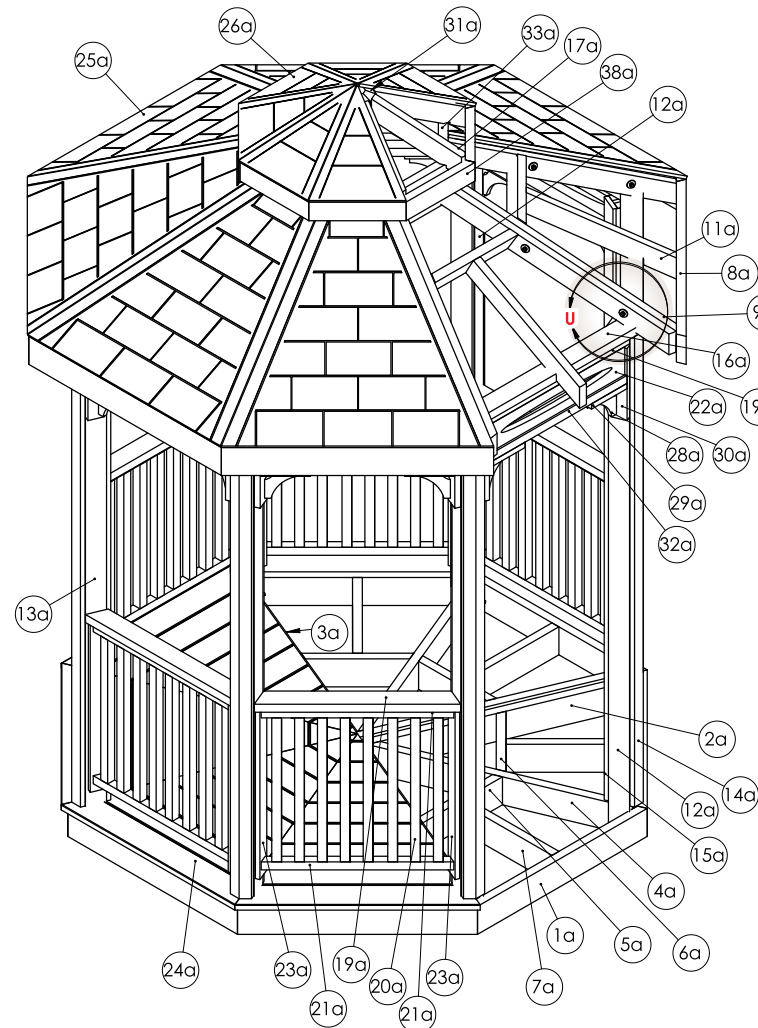


新しいクラシックなガゼボ

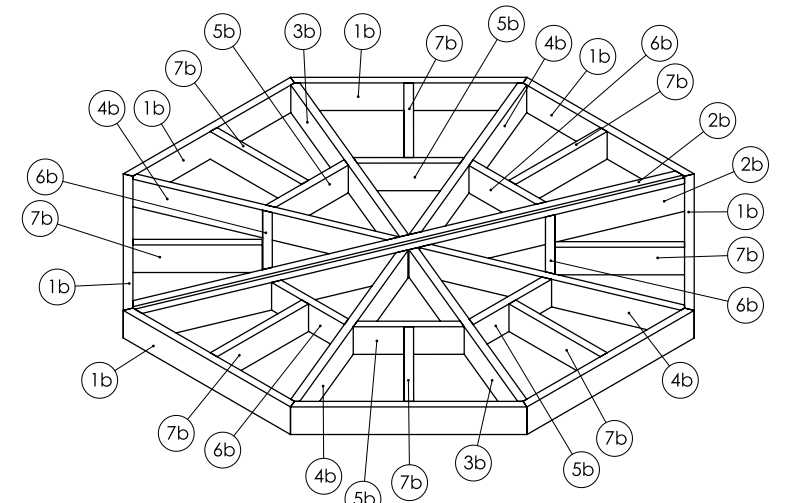
お勧めの道具・ツール

- 一時的に支えるために、38mm x 89mm x 3.6m 3本を使用
- 木工用かすがい6つ
- ドリル、13mmと10mmのスパード型ビットまたはオーガービット
- ねじ回しビットおよび磁気チップとドリル
- 38mm x 140mmを切断できる丸のこ、ベベルマイターソー
- 矩尺
- ポケットホールジグと #12 平ステンレス木ネジ
- 10mm 皿穴とパイロットビット、テーパープラグカッター (皿穴を埋めるため)
- 80グリットの紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤 (オプション)
- フラッシュカッター
- テーブルソー
- 手押し車、ショベル、クマ手、レバーオーガー (SONOTUBE フーチングを行うときのみ)
- 1.2m 水準器
- 40と60グリットのヤスリのベルトサンダー
- 60と80グリットのヤスリのランダムオービタル・サンダー
- レンチとソケットのセット

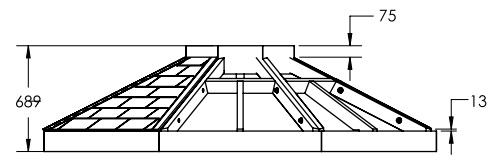
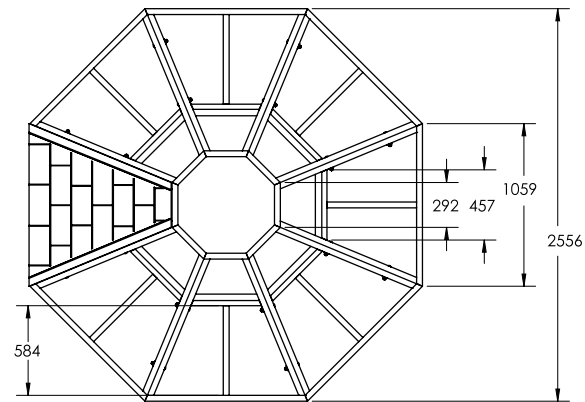
Item No.	Description (mm)	MATERIAL (mm)	Qty.
1a	デッキ枠根太	38mm x 140mm	8
2a	デッキメイン根太 - 長	38mm x 140mm	2
3a	デッキ根太 タイプA	38mm x 140mm	2
4a	デッキ根太 タイプB	38mm x 140mm	4
5a	デッキ母屋	38mm x 140mm	4
6a	デッキ母屋 (短)	38mm x 140mm	4
7a	デッキ根太 (短)	38mm x 140mm	8
8a	メインの屋根鼻隠し	38mm x 140mm	8
9a	屋根垂木	38mm x 89mm	16
10a	棟木	38mm x 89mm	8
11a	屋根ミドル垂木	38mm x 89mm	8
12a	柱 (長)	38mm x 89mm	12
13a	柱 (短)	38mm x 89mm	4
14a	柱コーナーキャップ	38mm x 89mm	8
15a	内部柱トリム	16mm x 89mm	8
16a	トURRETプレート	38mm x 89mm	8
17a	キューポラ垂木	38mm x 89mm	8
19a	手すりキャップ	38mm x 89mm	16
20a	手すり子	38mm x 38mm	64
21a	内側レール	38mm x 64mm	16
22a	横木パネル	26mm x 140mm	8
23a	レール取付板	16mm x 64mm	16
24a	デッキ材	26mm x 140mm	8
25a	パインのバーンボードまたは外装用合板 & 屋根板	16mm	8
26a	パインのバーンボードまたは外装用合板 & 屋根板	16mm	8
27a	左側の補強材	26mm x 140mm端材	8
28a	右側の補強材	26mm x 140mm端材	8
29a	支え取付板タイプ B	26mm x 64mm	16
30a	支え取付板タイプ A	26mm x 64mm	16
31a	キューポラの先	152mm x 152mm	1
32a	低いほうの横木プレート	38mm x 89mm	8
33a	八角形の棟木	38mm x 238mm	8
34a	19mm x 89mm合板フィラー	19mm合板	2
35a	13mm 垂鉛メッキ六角ナット	スチール	24
36a	13mm 垂鉛メッキ平ワッシャ	スチール	24
37a	13mm x 127mm垂鉛メッキ根角ボルト	スチール	8
38a	キューポラ鼻隠し	38mm x 89mm	8
39a	13mm x 100mm垂鉛メッキ根角ボルト	スチール	16



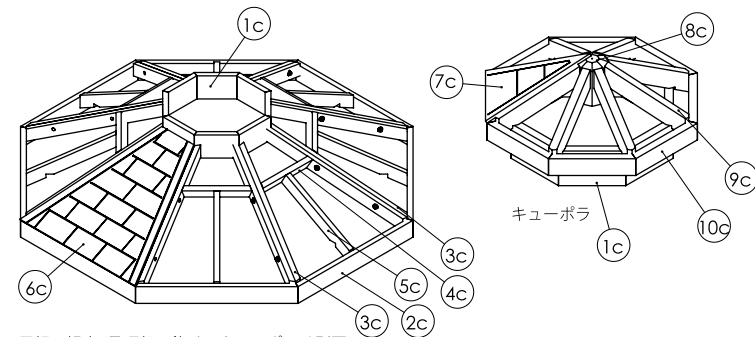
アイテム番号	種類	材料 (mm)	数量
1b	デッキ枠根太	38mm x 140mm	8
2b	デッキメイン根太 - 長	38mm x 140mm	2
3b	デッキ根太 タイプA	38mm x 140mm	2
4b	デッキ根太 タイプB	38mm x 140mm	4
5b	デッキ母屋	38mm x 140mm	4
6b	デッキ母屋 (短)	38mm x 140mm	4
7b	デッキ根太 (短)	38mm x 140mm	8



新しいクラシックなガゼボ

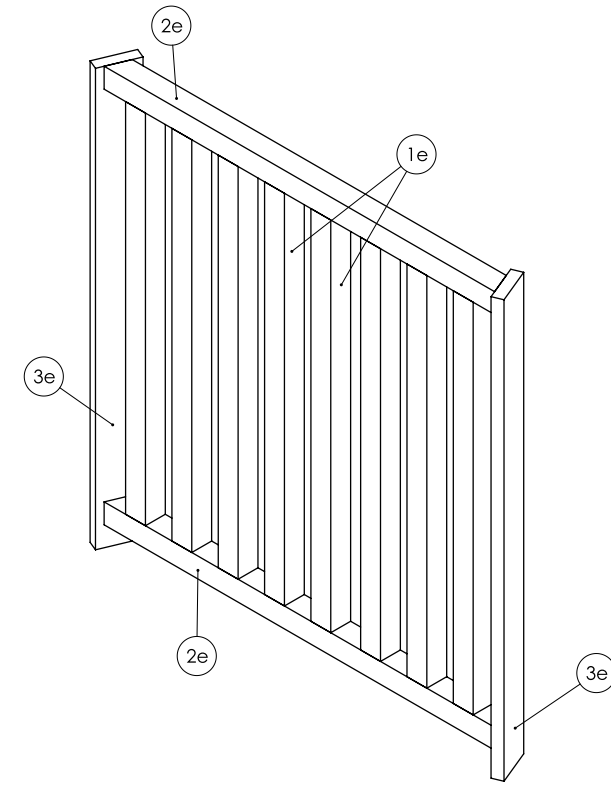


アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1c	八角形の棟木	38mm x 187mm	8
2c	メインの屋根鼻隠し	38mm x 140mm	8
3c	屋根垂木	38mm x 89mm	16
4c	屋根棟木	38mm x 89mm	8
5c	屋根ミドル垂木	38mm x 89mm	8
6c	パインのバーンボードまたは 外装用合板	16mm	8
7c	パインのバーンボードまたは 外装用合板	16mm	8
8c	キューポラの先	152mm x 152mm	1
9c	キューポラ垂木	38mm x 89mm	8
10c	キューポラ鼻隠し	38mm x 89mm	8

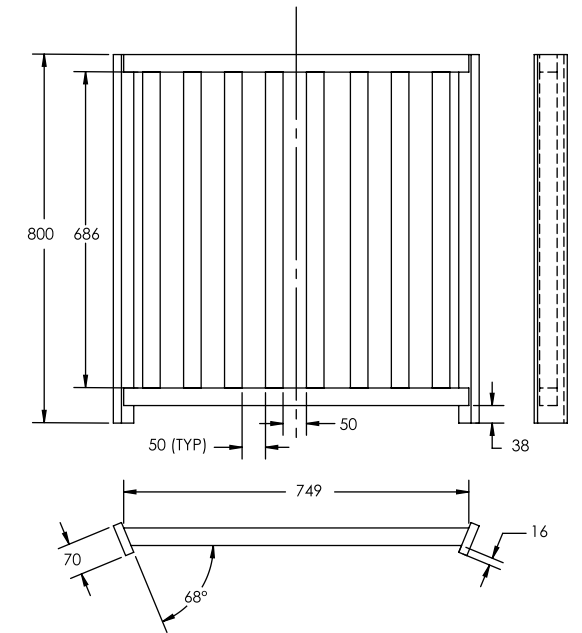


屋根の組立 (最頂部の飾り、キューポラは別図)

viii

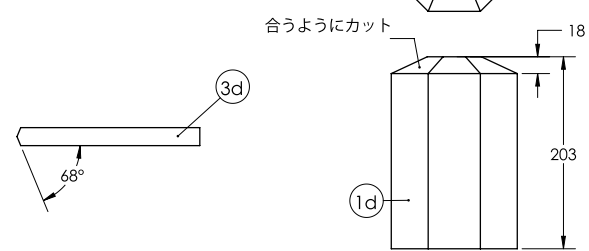
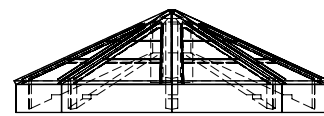
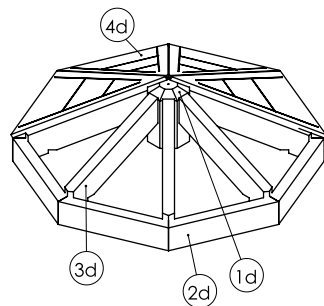
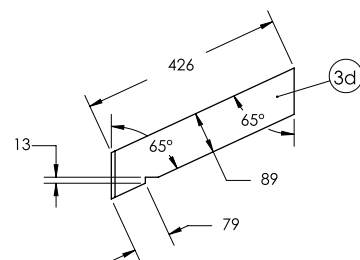
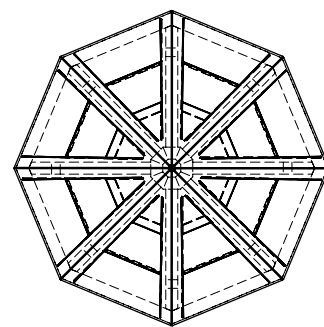
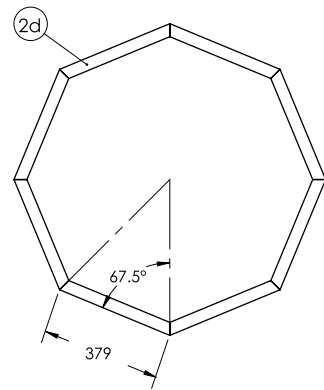
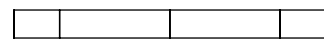


アイテム番号	種類	材料 (mm)	数量
1e	手すり縦材	38mm x 38mm	8
2e	手すり横材	38mm x 64mm	2
3e	レール取付板	16mm x 64mm	2

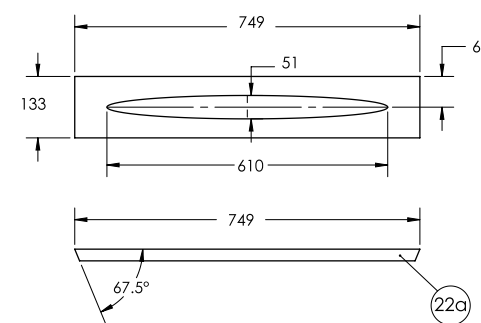
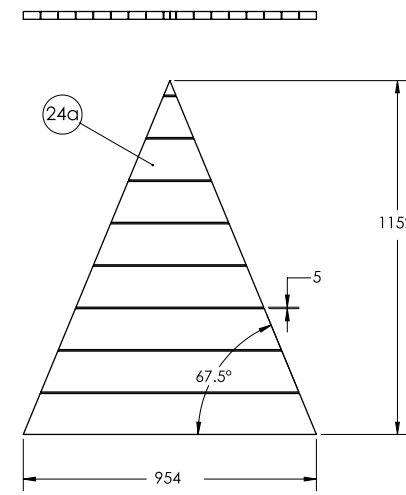


x

アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1d	キューポラの先	152mm x 152mm	1
2d	キューポラ鼻隠し	38mm x 89mm	8
3d	キューポラ垂木	38mm x 89mm	8
4d	パインのバーンボードまたは 外装用合板	16mm	8

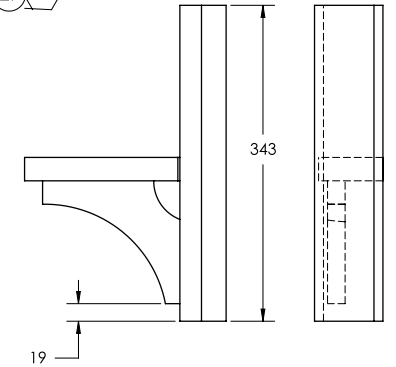
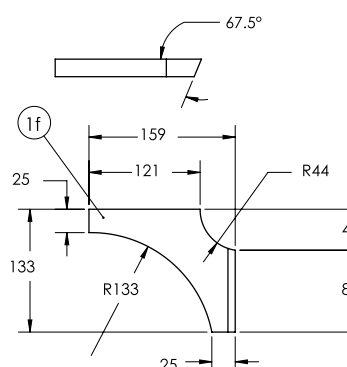
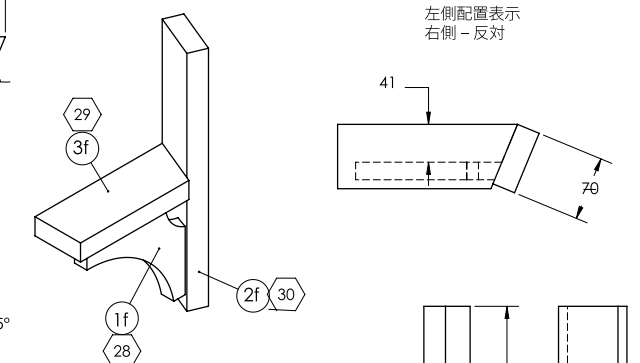
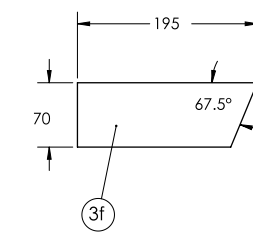


ix



xi

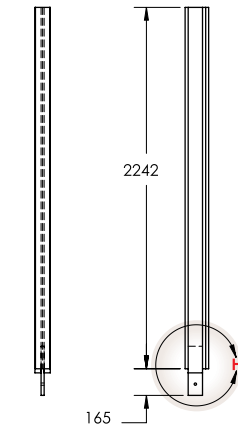
アイテム番号	種類	材料 (mm)	数量
11f	左側補強材カット	38mm x 140mm 端材	1
2f	補強材プレート 1	26mm x 64mm	1
3f	補強材プレート 2	26mm x 64mm	1



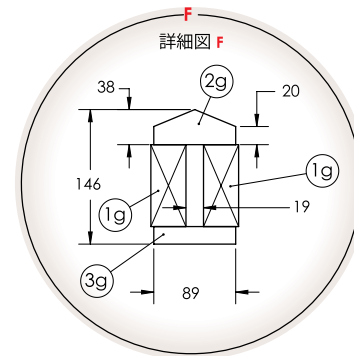
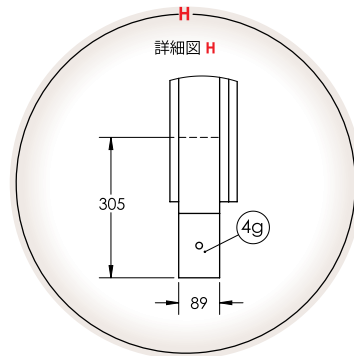
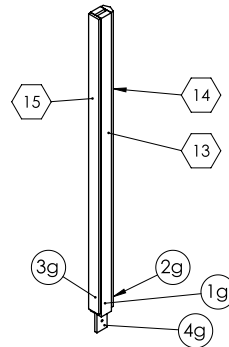
xii

新しいクラシックなガゼボ

アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1g	縦材(短)	38mm x 89mm	2
2g	縦材コーナーキャップ	38mm x 89mm	1
3g	縦材内側トリム	16mm x 89mm	1
4g	19mm x 89mm 合板フィラー	19mm 合板	1
5g	16mm x 127mm垂鉛メッキ根角ボルト	スチール	2



注意:
1) 柱配置 - ダブル根太 (通常 2)

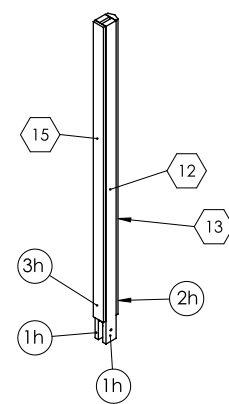
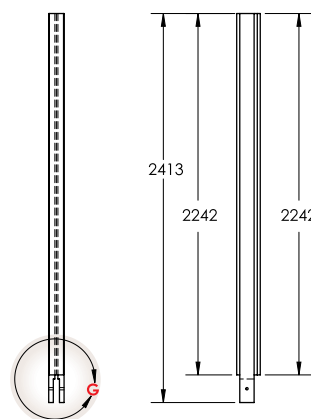


xiii

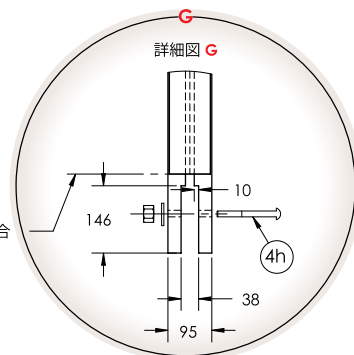
アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1h	縦材(長)	38mm x 89mm	2
2h	縦材コーナーキャップ	38mm x 89mm	1
3h	縦材内側トリム	16mm x 89mm	1
4h	16mm x 127mm垂鉛メッキ根角ボルト	スチール	6

詳細図Fを参照

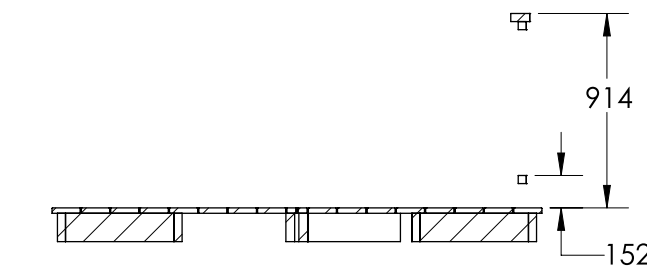
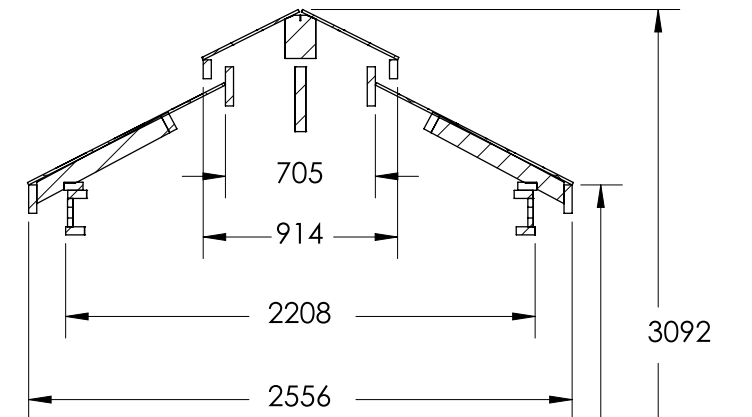
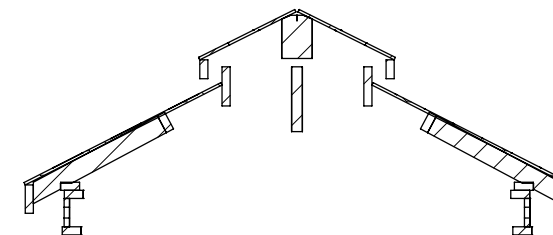
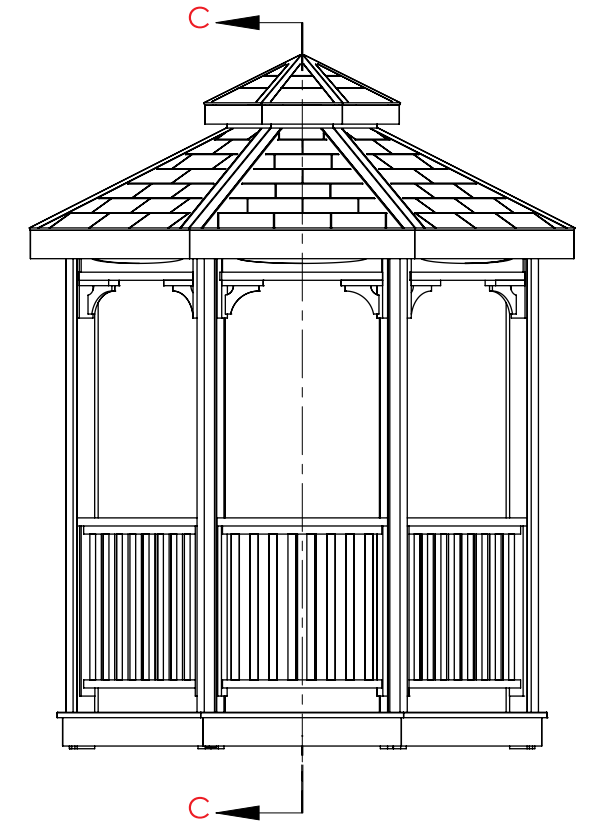
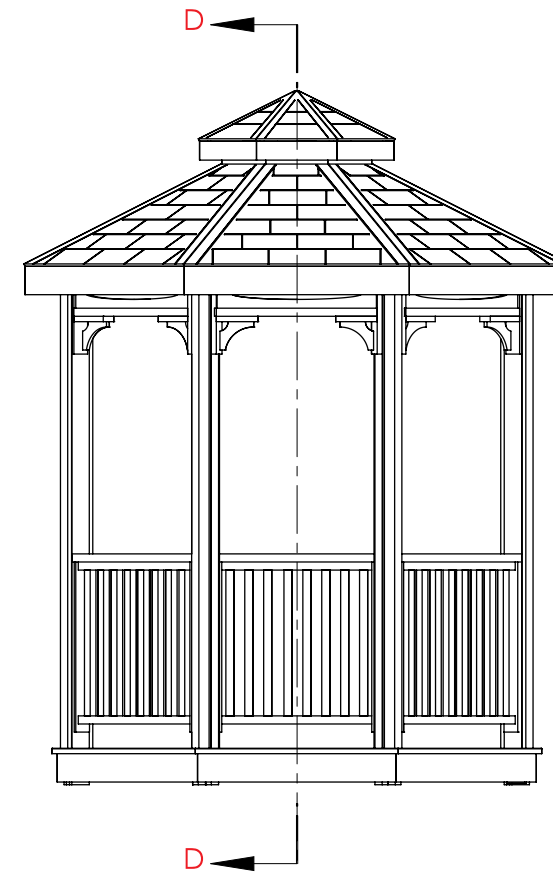
注意:
1) 柱配置 - 全ての位置
ダブル根太をのぞく (通常 6)



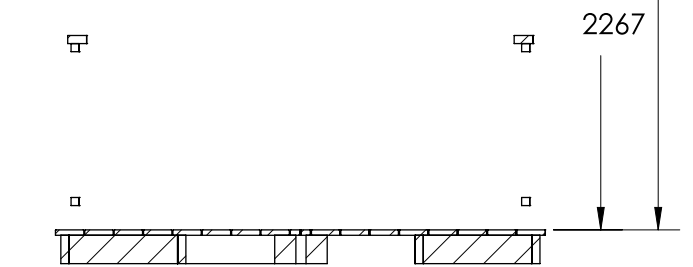
デッキ材に接合



xiv



詳細図 D-D



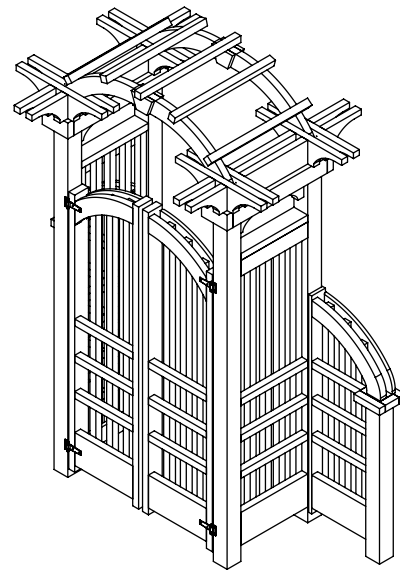
詳細図 C-C

xv

ゴシックスタイルの東屋

材料表

4本	89mm x 89mm x 3.6m	1kg	32mm 垂鉛メッキ仕上げ用ネジ釘
2本	89mm x 89mm x 2.4m	1kg	75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
2本	38mm x 187mm x 4.2m	1kg	57mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)(または15ゲージ仕上げ用無頭釘か63mm垂鉛メッキ仕上げ用ネジ釘)
5本	38mm x 89mm x 1.2m		
2本	38mm x 140mm x 3.0m	2組	ヘビーデューティ用ストラップヒンジ
	ポケットホールジグと#12 平ステンレス木ネジ		
3本	38mm x 89mm x 2.4m		*皿穴のある10mm パイロットホールを使い、ボール盤とテーパープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討してください。
2本	38mm x 89mm x 3.6m		
1本	38mm x 140mm x .9m		**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してください。
20本	38mm x 38mm x 2.4m		
3本	16mm x 89mm x 2.4m		
1本	16mm x 187mm x 2.4m		



施工手順

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 材料表から組み立てて、似た部品を一緒に積んでおいてください。部品は少し長めにとって、寸法を確認して合うように整えるのがよいでしょう。
3. 深さ1.0m x 250mmの穴の位置を決めて、レバーオーガーまたはパワーオーガーを用いて掘ります。—もっと良いのは、柱の穴を開けるのを専門にする人に依頼することです。正確な柱の位置を確保するために、10mmのシート合板に穴の位置を配列することをご検討ください。柱の位置を決めた後、もう一度位置を確認して、必要な場合は、部品の寸法を調整しましょう。
4. 一番外側の柱をまず設置して、13mm離してひもをつけて、柱を水平にまっすぐ並べましょう。足で土や細かい砂利をしっかり詰める場合は、柱を固定する必要はありません。
5. 24-48時間、柱が固定するよう、おいておき、次にベースレールとキャップレールを取付けます。ベースレールとキャップレールをポケットホールジグと75mmの#12ネジを使って固定します。ベースレールは、地面から75mm離して、お互いに対して水平であるようにしてください。
6. 柱を図の高さに切りましょう。図にしたがって、柱上部/垂木とアーチを組み立て、75mmデッキ用ネジを使って、柱の上をしっかり取り付けます。全て中心揃えを行い—別の部分が他の部分の間にスライドする場合は、間隔はスライドする部分と同じである必要があります。全てのネジは皿穴にうめてください。

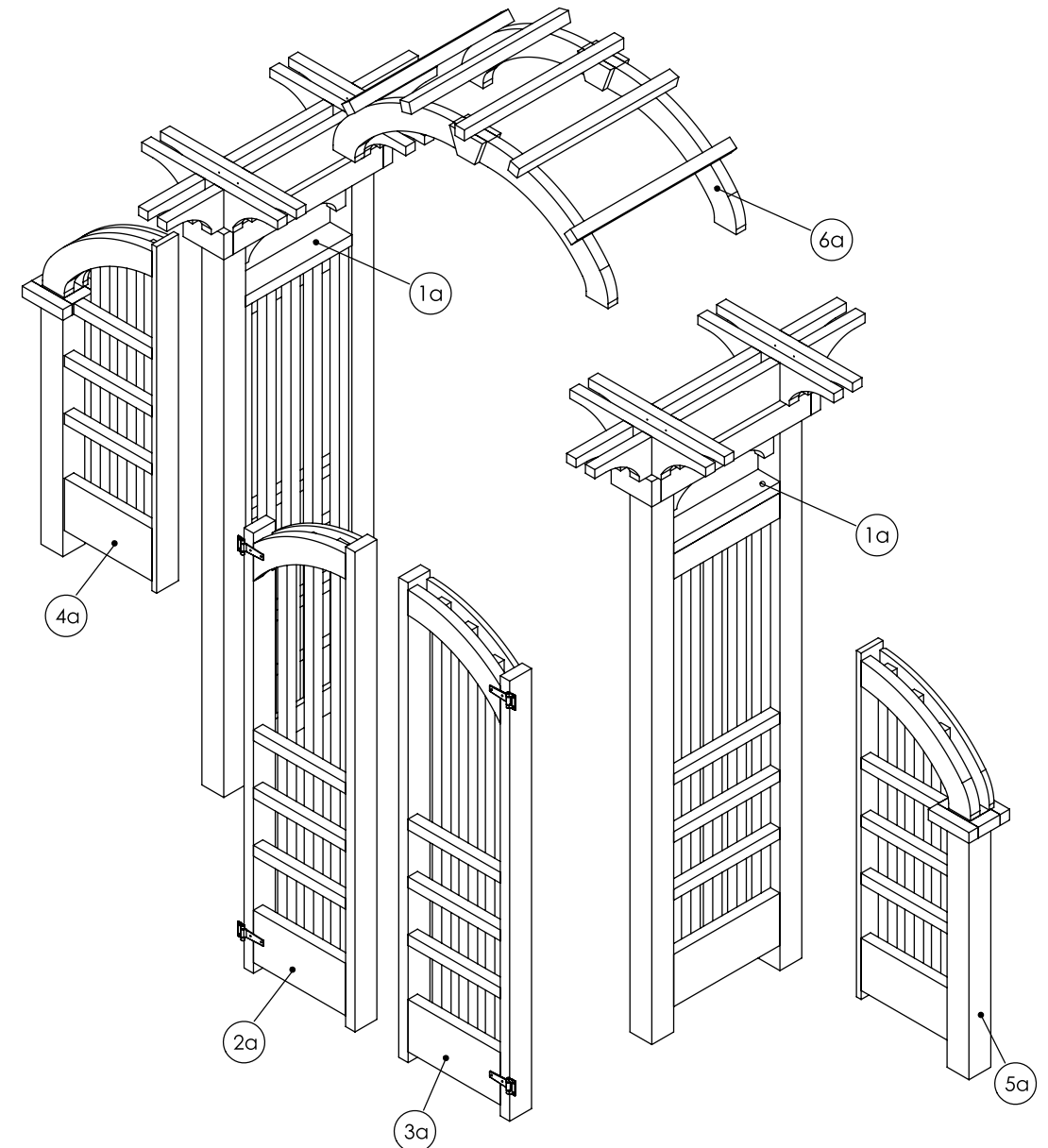
7. 垂木を留めるよう、柱のトリムをカットして取り付けます。側面格子パネルを図にしたがって組み立てます。格子をしっかり固定する一方、部品の間隔をすぐに正確にあけることができるよう、角材を切りましょう。
8. 柱の一番上と下で測って短い柱の位置を確認。それから図の通りウイングを組み立てます。
9. 柱の一番上と下を測って—ゲートを支える柱の間のスペースを確認しましょう。ゲートの合計寸法は、両開きの開口部より38mm 小さくなります。2つのゲートが開くのに25mmのスペースを開けてください—ゲートと支柱間のスペースは6mm。必要に応じて、ゲートの大きさを調整しましょう。継ぎ手がしっかり締まっていなくて門が動く場合は、四角形を保つためにゲートワイヤーを利用しましょう。
10. ステインを施し、外装用パテで空洞になっている部分や穴を埋めましょう。パテの後で二度目のステインコーティングを行います。

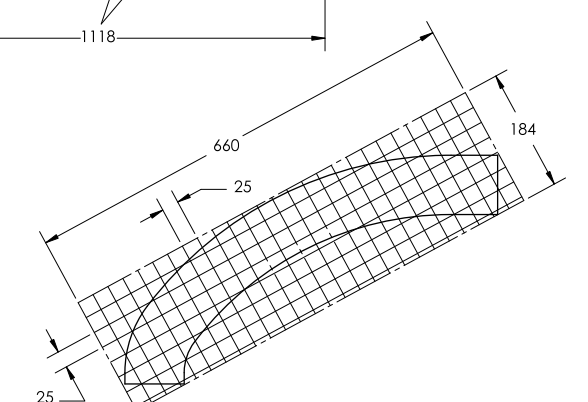
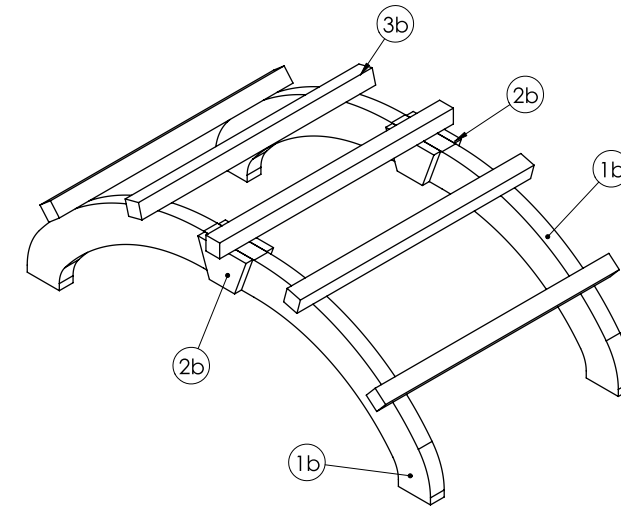
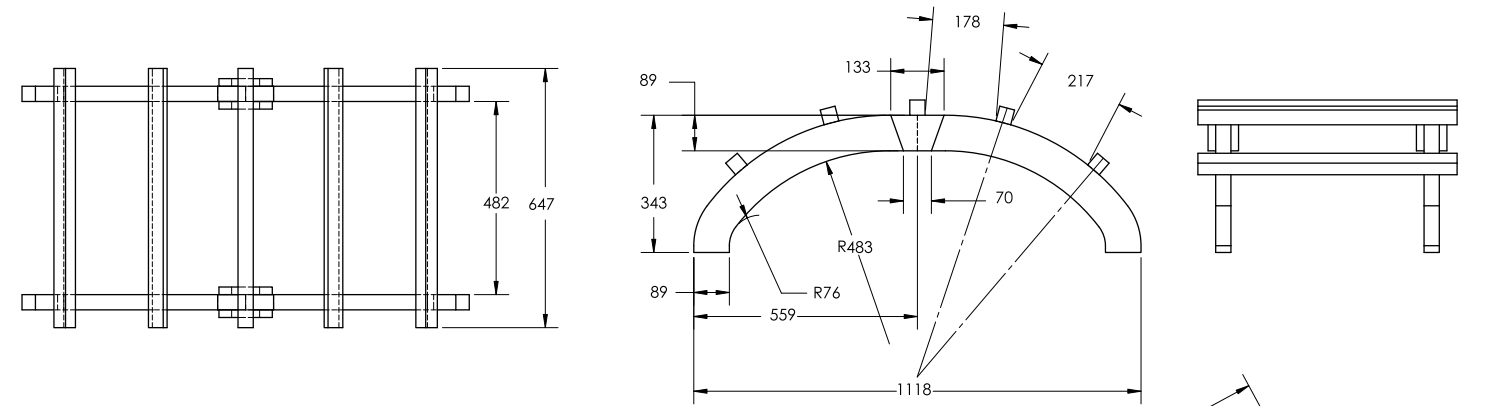
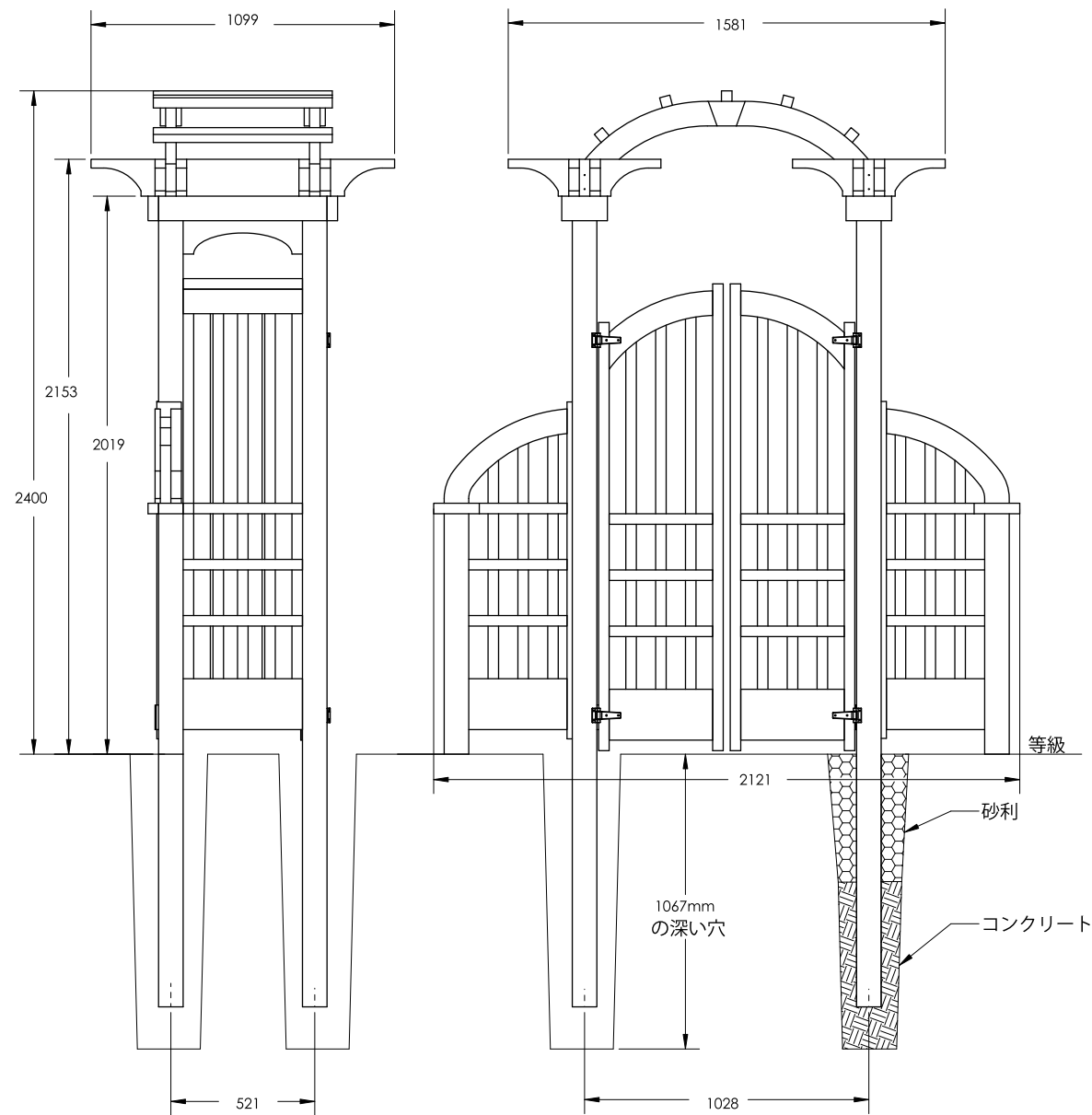
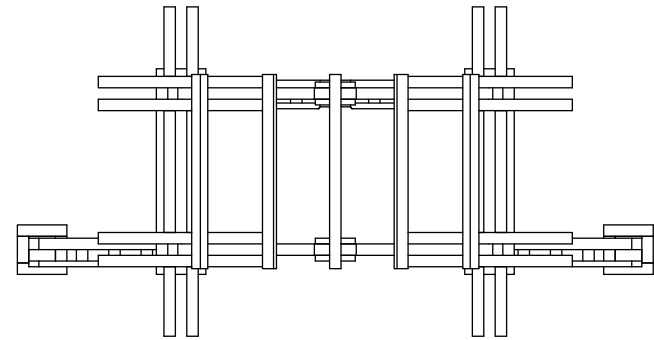
*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会 (WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

お勧めの道具・ツール

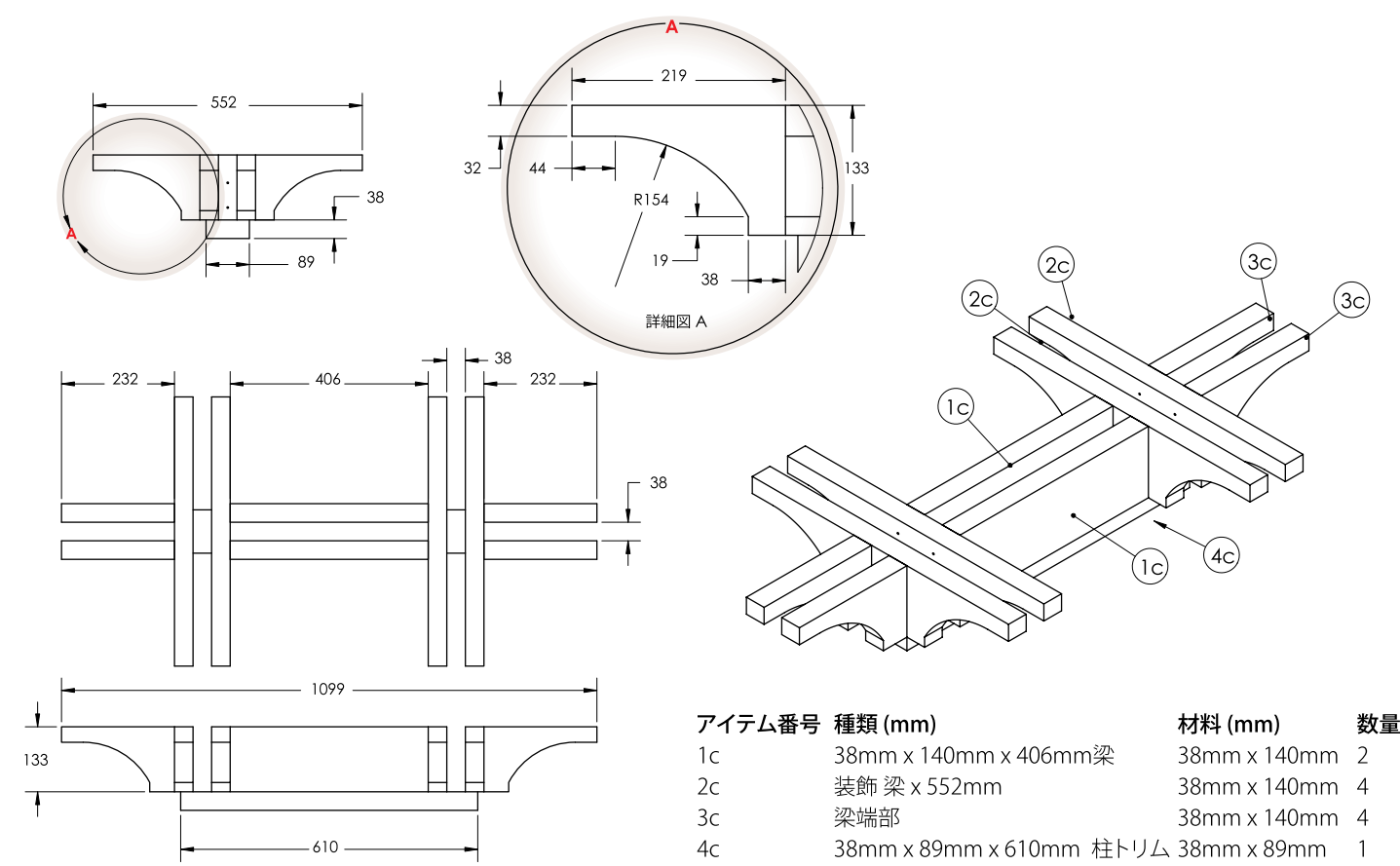
- 38mm x 38mm 小さい 端材(スペーサーブロック) 4つ
- ドリル、10mm のスペード型ビットまたは オーガービット
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 木工用かすがい4つ (オプション)
- 矩尺
- ポケットホールジグと #12 平ステンレス木ネジ
- 調整可能なレンチまたはソケットのセット
- 10mm 皿穴とパイロットビット
- テーパープラグカッター(皿穴を埋めるため)
- 80 グリットの紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤 (オプション)
- フラッシュカッター
- テーブルソー
- 手押し車、ショベル、クマ手、レバーオーガー

アイテム番号	種類	材料	数量
1a	側面パネルの部分組立部	図 iv	2
2a	門 - 左側	図 v	1
3a	門 - 右側	図 v	1
4a	ウイング - 左側	図 vi	1
5a	ウイング - 右側	図 vi	1
6a	アーチの部分組立部	図 ii	1



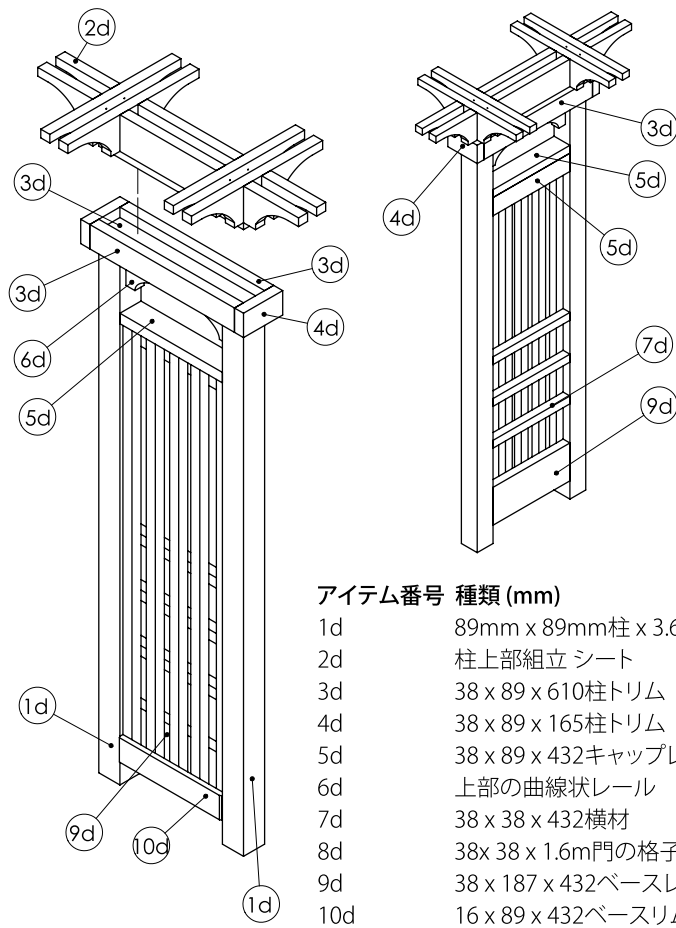
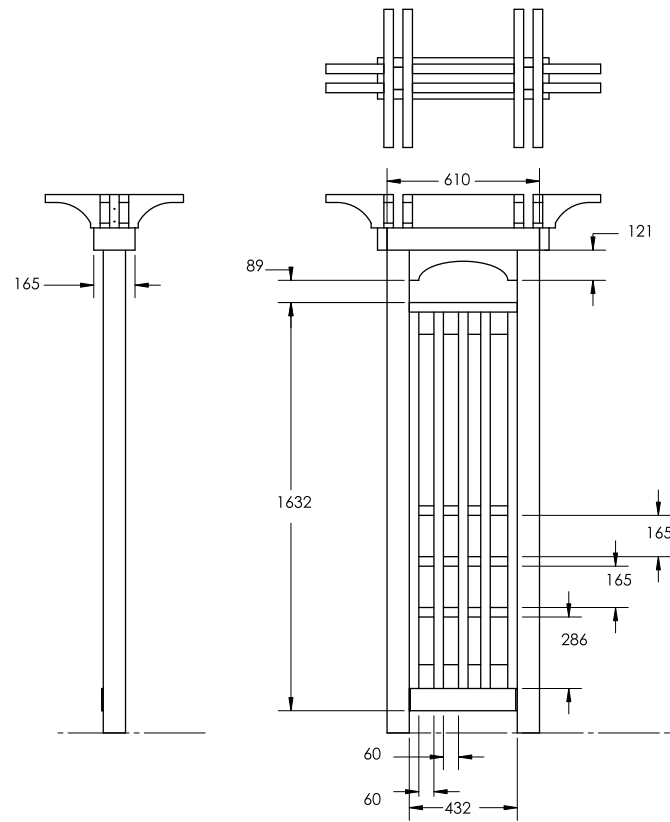


アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1b	アーチ 垂木	38mm x 187mm	4
2b	アーチ 添え木	16mm x 89mm	4
3b	38mm x 38mm x 648mm交差筋違	38mm x 38mm	5

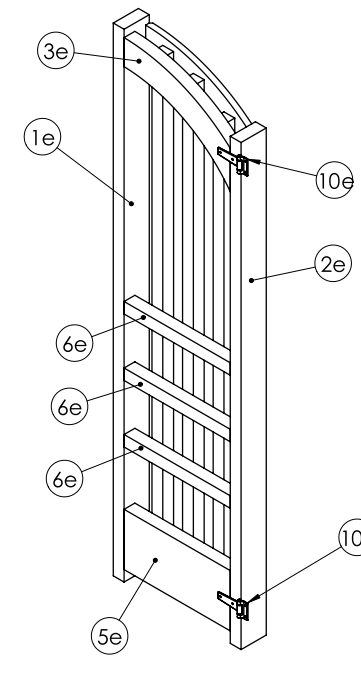
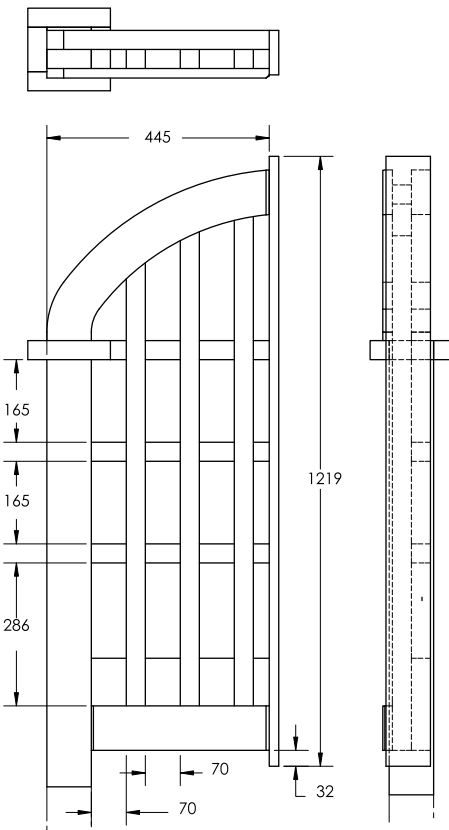
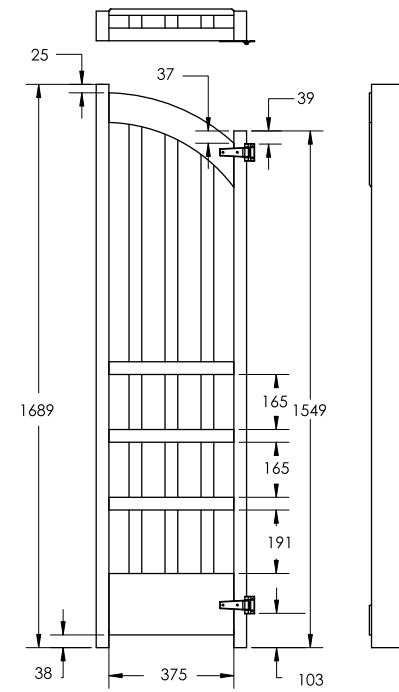


アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1c	38mm x 140mm x 406mm梁	38mm x 140mm	2
2c	装飾 梁 x 552mm	38mm x 140mm	4
3c	梁端部	38mm x 140mm	4
4c	38mm x 89mm x 610mm 柱トリム	38mm x 89mm	1

ゴシックスタイルの東屋

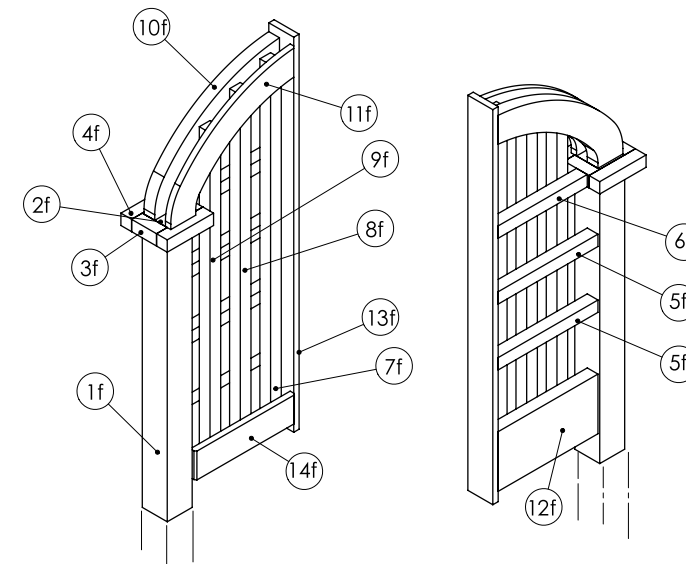


アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1d	89mm x 89mm 柱 x 3.6m	89mm x 89mm	2
2d	柱上部組立シート	#5	1
3d	38 x 89 x 610 柱トリム	38mm x 89mm	3
4d	38 x 89 x 165 柱トリム	38mm x 89mm	2
5d	38 x 89 x 432 キャップレール	38mm x 89mm	2
6d	上部の曲線状レール	38mm x 140mm	1
7d	38 x 38 x 432 横材	38mm x 38mm	3
8d	38 x 38 x 1.6m 門の格子縦材	38mm x 38mm	5
9d	38 x 187 x 432 ベースレール	38mm x 187mm	1
10d	16 x 89 x 432 ベースリム	16mm x 38mm	1



アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1e	38mm x 89mm x 1.7m 内側レール	38mm x 89mm	1
2e	38mm x 89mm x 1.55m 外側レール	38mm x 89mm	1
3e	門 アーチ (大)	38mm x 187mm	1
4e	門 アーチ (小)	16mm x 187mm	1
5e	38mm x 187mm x 375mm ベースブロック	38mm x 187mm	1
6e	38mm x 64mm x 375mm 門横格子	38mm x 64mm	3
7e	38mm x 38mm x 1.6m 門縦格子	38mm x 38mm	1
8e	38mm x 38mm x 1.5m 門縦格子	38mm x 38mm	1
9e	38mm x 38mm x 1.56m 門縦格子	38mm x 38mm	1
10e	門ヒンジ		2
11e	16mm x 89mm x 375mm 門のベ ーストリム	16mm x 89mm	1

注:
1) 左側の門は図を参照。右側については反転させてください。
2) 材料明細は各ウイングの部分組立部の材料の量。
(このプロジェクトでは門の半分。門の半分は2つ必要)



アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1f	89mm x 89mm x 2.4m 柱	89 x 89	1
2f	38 x 89 x 89 キャップ	38 x 89	1
3f	38 x 89 x 89 ウイング柱トリム	38 x 38	2
4f	38 x 89 x 165 ウイング柱トリム	38 x 38	2
5f	38 x 89 x 356 ウイング 横材	38 x 38	2
6f	38 x 89 x 318 ウイング 横材	38 x 38	1
7f	38 x 38 x 1130 ウイング 縦材	38 x 38	1
8f	38 x 38 x 1092 ウイング 縦材	38 x 38	1
9f	38 x 38 x 1029 ウイング 縦材	38 x 38	1
10f	38 x 187 x ウイング アーチ	38 x 187	1
11f	16 x 187 x ウイング アーチ	16 x 187	1
12f	38 x 187 x 356 ウイング ベースレール	38 x 187	1
13f	16 x 89 x 1.2m ウイング 取付板	16 x 89	1
14f	16 x 89 x 356m ウイング ベーストリム	16 x 89	1

注:
1) 図は右側のウイング 組立。左側はアーチを反転させてください。
2) 材料明細は各ウイングの部分組立部の材料の量。
このプロジェクトでは、ウイングは2つ必要です。

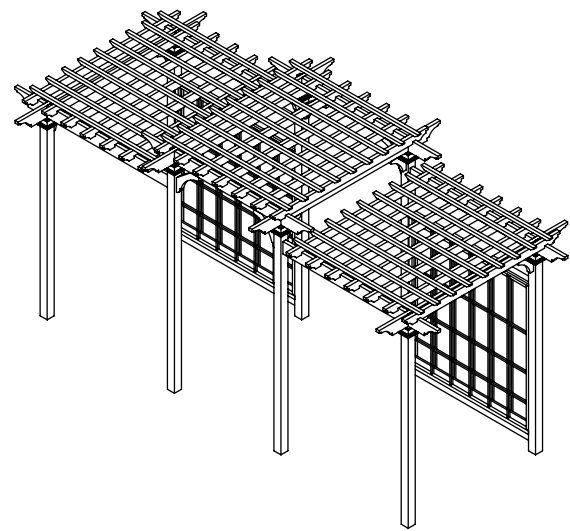
ブドウのパーゴラ

材料表

10本	38mm x 140mm x2.4m	3本	13mm のマホガニーのダボ
8本	89mm x 89mm x3.6m	5kg	75mm 亜鉛メッキ仕上げ用釘
27	38mm x 89mm x2.4m	1kg	32mm 亜鉛メッキ仕上げ用ネジ釘
9本	16mm x140mm x1.8m	2.5kg	75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
1本	26mm x140mm x3.6m	2.5kg	63mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)(または
1本	38mm x 187mm x2.4m		15ゲージ仕上げ用無頭釘か 63mm 亜鉛メッ
1本	26mm x140mm x2.4m		キ仕上げ用ネジ釘)
27本	38mm x 38mm x2.4m		
12袋	コンクリートミックス		

*皿穴のある10mm パイロットホールを使い、ボール盤とテーパ
ープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討
してください。

**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してく
ださい。



施工手順

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 必要とされる部品を組み立てて、似た部品と一緒に積んでおいてください。部品は少し長めにとって、寸法を確認して合うように整えるのがよいでしょう。
3. レバーオーガーまたはパワーオーガーを用いて最低で深さ1.2m x 250mmの穴の位置を決めて、掘ります。一もっと良いのは、柱の穴を開けるのを専門にする人に依頼することです。柱の位置を決めた後、もう一度位置を確認して、必要な場合は、部品の寸法を調整しましょう。
4. 柱はいつもショベル2杯分のコンクリートに設置します。一番外側の柱を最初に置き、端の柱の間をソリッドブロックで対角線に測り、直角かを確認してください。逆に最後の柱の位置から13mm 離して、遣り形貫を立てることもできます。4隅の柱をできるだけ直角に近くなるように立てたら、長辺の隅の柱から13mm離してひもをつけます。柱を水平かつまっすぐに並ぶようにして、コンクリートを流し込みます。土と砂利をすぐ埋めます。足で土や細かい砂利をしっかり詰める場合は、柱を固定する必要はありません。
5. 24-48時間、柱が固定するよう、おいておき、次にサポートレールを切って、合わせます。そして、フェンスクリップと屋根用釘を用いて柱に取り付けます。サポートレールは、地面から75mm離して、お互いに対して水平であるようにしてください。サポートレールをしっかり留めるために、斜めに83mmの亜鉛メッキ仕上げ用釘を加えます。柱の間にベースレールとトップレールを合わせます。ただし、締めないでください。
6. 図を見てスクリーンを組み立てます。格子をしっかりと固定する一方、部品の間隔をすぐに正確にあけることができるよう、角材を切りましょ

う。75mmの亜鉛メッキをした仕上げ用釘を使って、格子のスクリーンの一番上と下へトップレールとベースレールをそれぞれ1つ下、一つ上の横木に取付けてください。ベースレールとキャップレールをポケットホールジグと75mmの#12ネジを使って固定します。75mm のデッキ用ネジを用いてサポートレールを固定します。

7. 柱を図の通り、もしくは品質により柱が短い場合は少し短めに切断します。柱の上端はお互いに水平になるようにしてください。図にしたがってポストキャップを組み立て、83mm 亜鉛メッキネジ釘で取り付けます。75mmのデッキ用ネジを用いて、それぞれの接続部で垂木をキャップに取り付けます。(補強のためダボに外装用の適切な防水接着剤を使用することもできます)

8. 図を見て、梁の垂木の間隔をあけ、75mmのデッキ用ネジまたは83mm”亜鉛メッキしたらせん犬釘で固定します。全てのネジと釘は皿穴にうめます。

9. 垂木を留めるため、交差筋違をカットして取り付けます。ここでも作業をすばやく行うため、ソリッドブロックを使いましょう。

10. 38mm x 140mm梁と38mm x 89mm垂木材の端材から補強材をカット。柱と梁の間を75mmデッキ用ネジか#12ステンレスネジを使って固定してください。

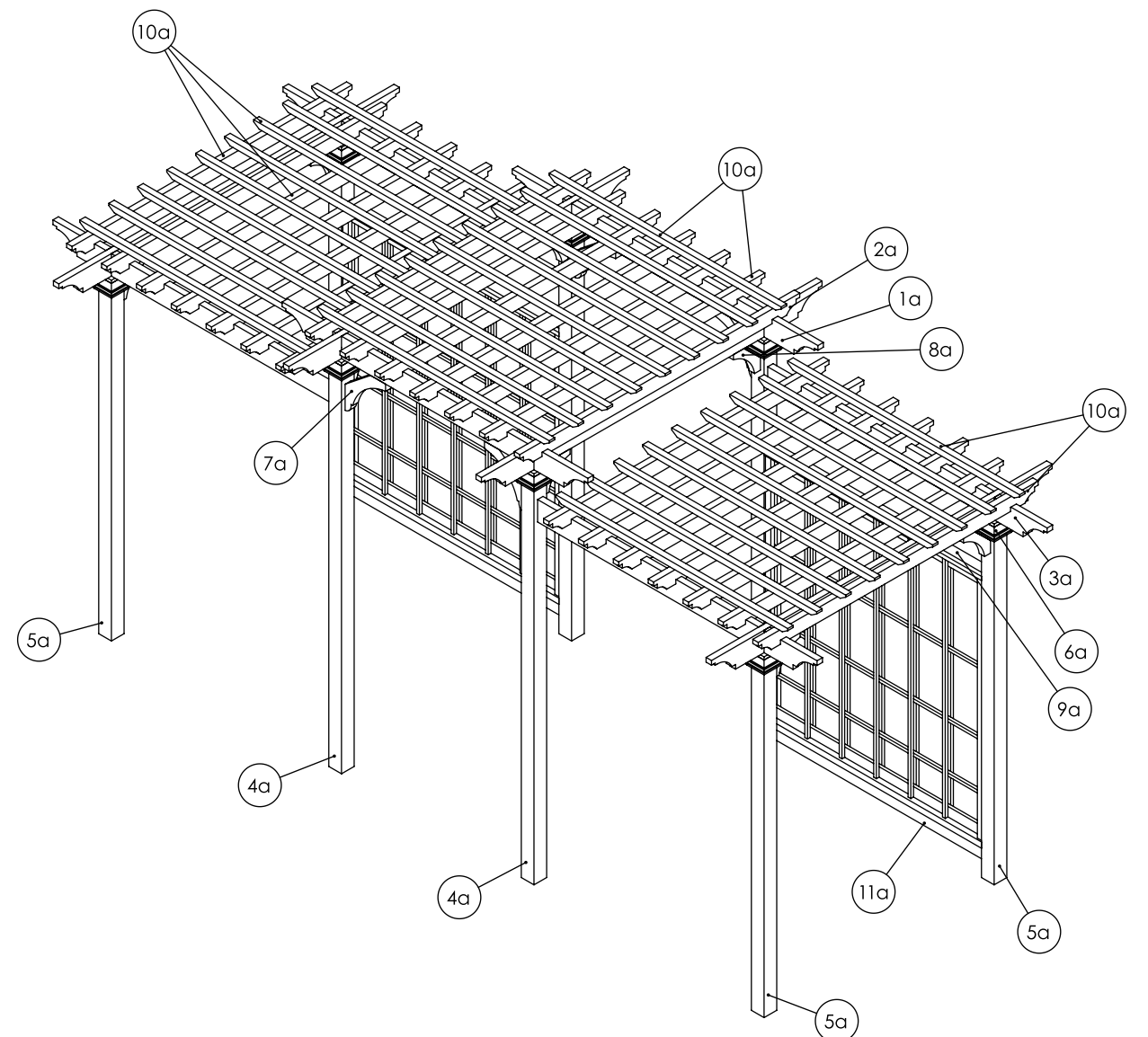
11. ステインを施し、外装用パテで空洞になっている部分や穴を埋めましょう。パテの後で二度目のステインコーティングを行います。

*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

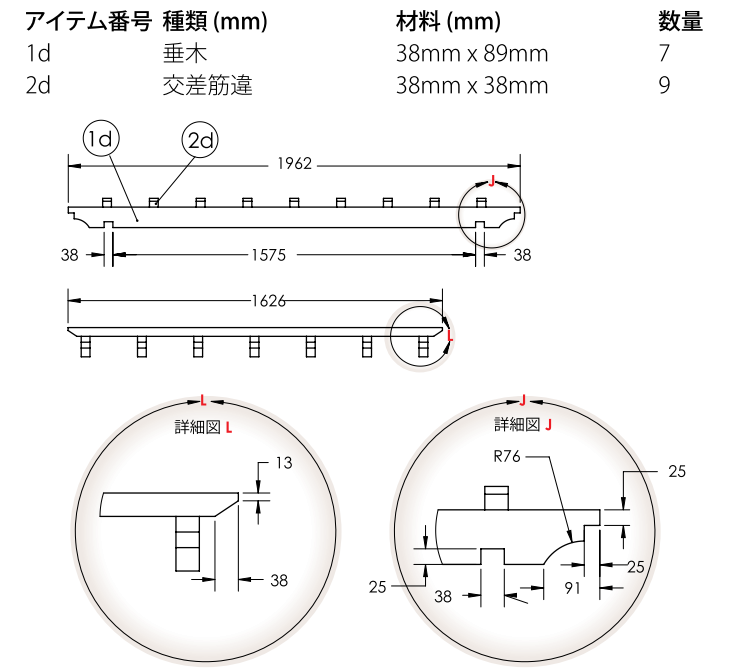
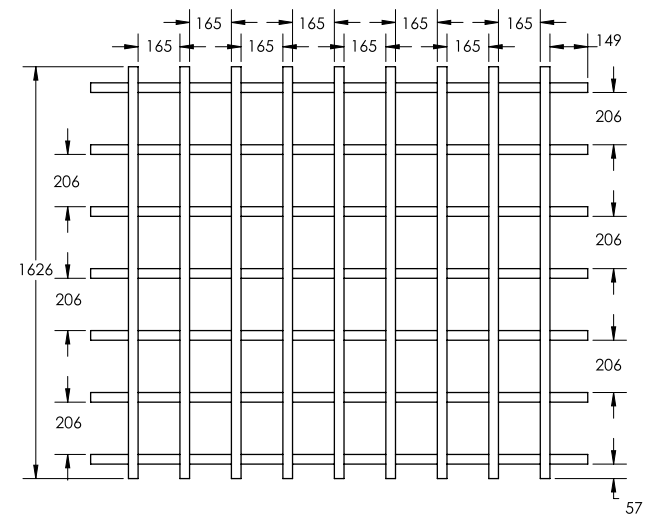
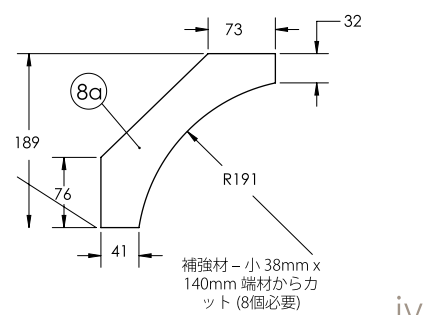
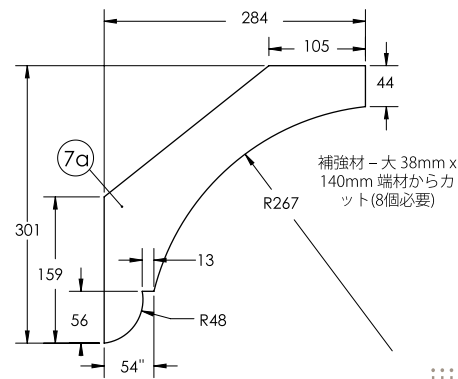
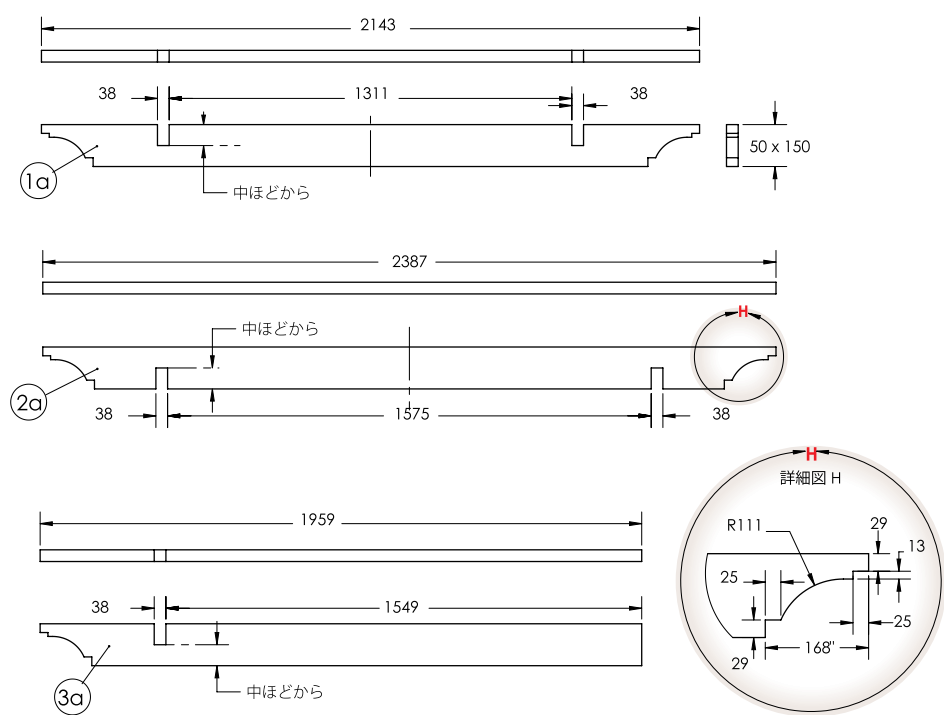
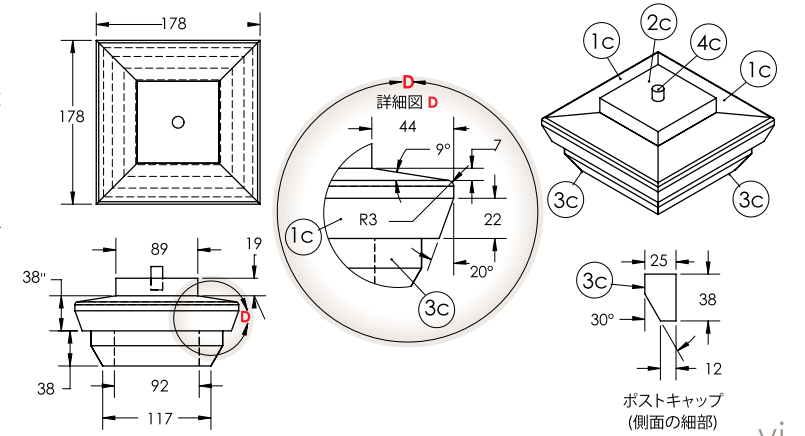
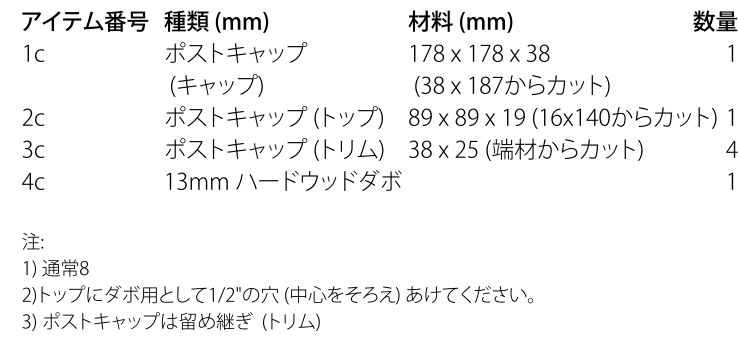
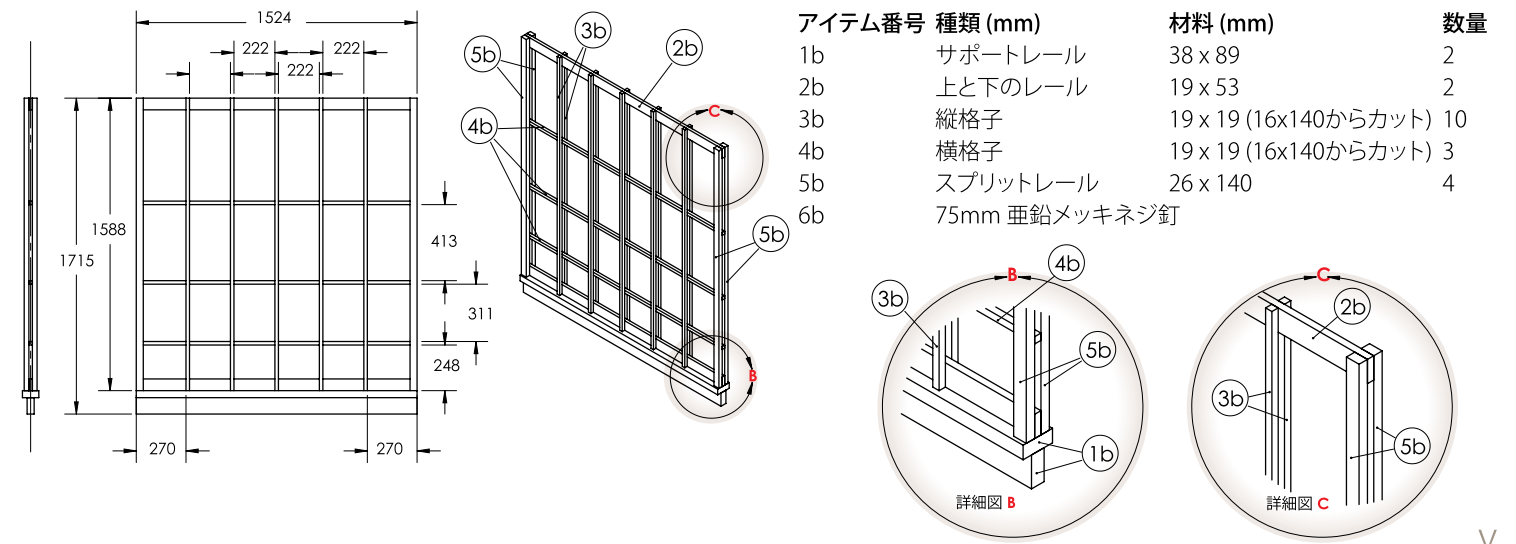
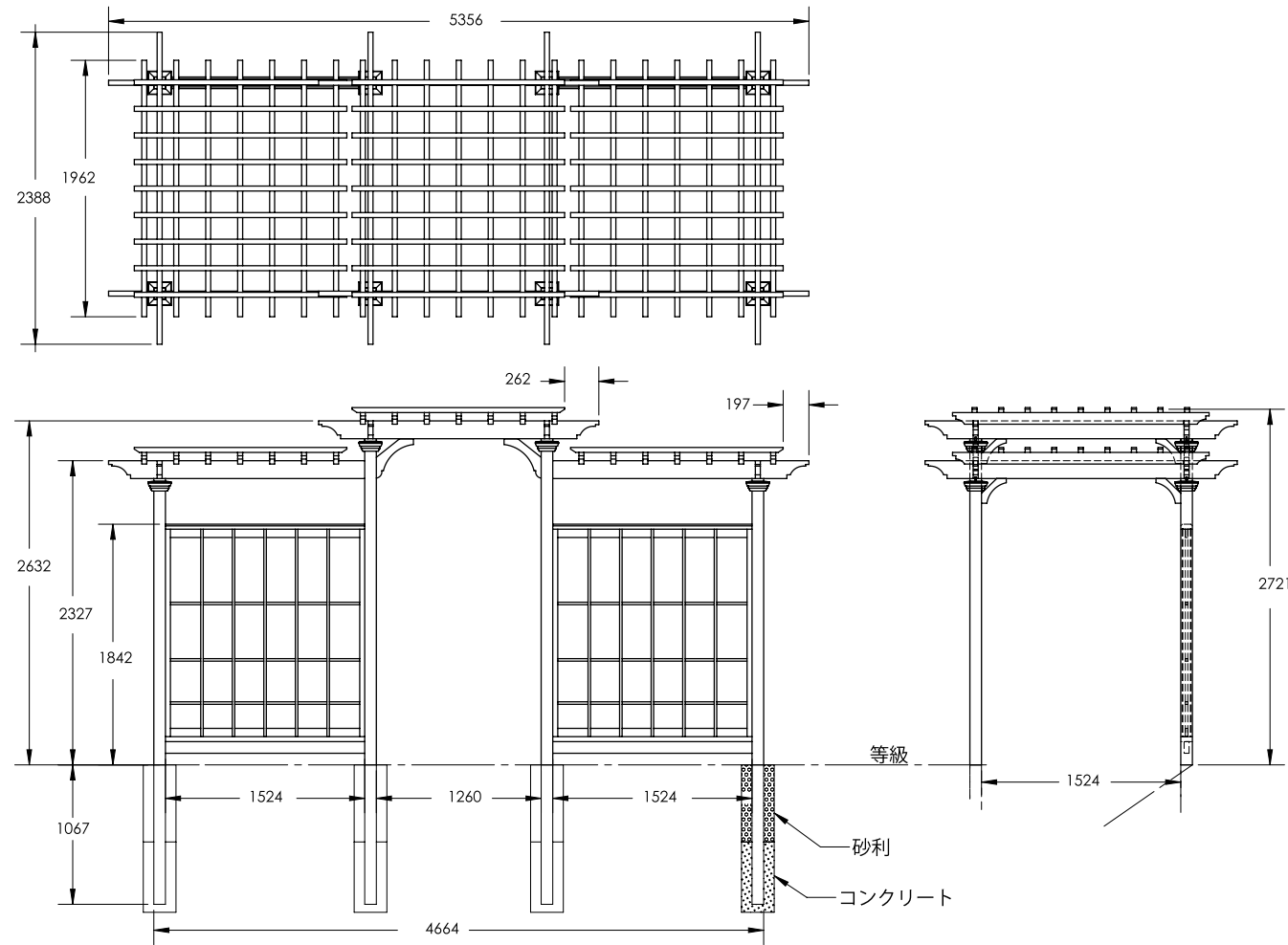
お勧めの道具・ツール

- 38mm x 38mm小さい 端材(スペーサーブロック) 4つ
- ドリル、10mmのスパード型ビットまたは オーガービット
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 木工用かすがい4つ(オプション)
- 矩尺
- ポケットホールジグと #12 平ステンレス木ネジ
- 調整可能なレンチまたはソケットのセット
- 10mm 皿穴とパイロットビット
- テーパープラグカッター(皿穴を埋めるため)
- 80 グリットの 紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤 (オプション)
- フラッシュカッター
- テーブルソー
- 手押し車、ショベル、クマ手、レバーオーガー

アイテム番号	種類	材料 (mm)	数量
1a	中央の梁 (2092mm)	38mm x 140mm	2
2a	中央の桁(2388mm)	38mm x 140mm	4
3a	中央のハーフ 梁(1349mm)	38mm x 140mm	4
4a	89mm x 89mm柱 (長)	89mm x 89mm	4
5a	89mm x 89mm柱 (短)	89mm x 89mm	4
6a	ポストキャップ	図 vi	8
7a	補強材 - 大	端材	4
8a	補強材 - 小	端材	8
9a	トップレール	38mm x 89mm	2
10a	組立てた上の垂木	図 vii	3
11a	組立側面パネル	図 v	2



ブドウのパーゴラ



庭プランター

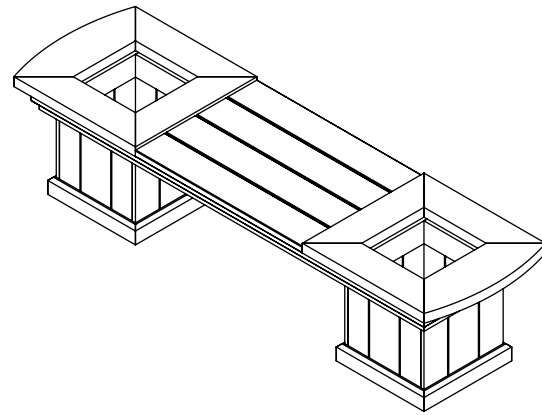
MATERIAL LIST (mm)

- 5本 38mm x 89mm x 2.4m
- 8本 16mm x 140mm x 1.5m
- 2本 16mm x 140mm x 1.8m
- 1本 26mm x 140mm x 3.6m
- 1本 38mm x 140mm x 3.6m
- 1本 38mm x 187mm x 1.2m
- 1本 38mm x 89mm x 3.6m
- 1本 16mm x 140mm x 2.4m

- 11b 44mm の 垂鉛メッキ仕上げ用ねじ釘
- 21b 75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)または垂鉛メッキネジ釘
- 21b 57mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)または15ゲージ仕上げ用無頭釘か63mm 垂鉛メッキネジ釘

*皿穴のある10mm パイロットホールを使い、ボール盤とテーパープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討してください。

**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してください。



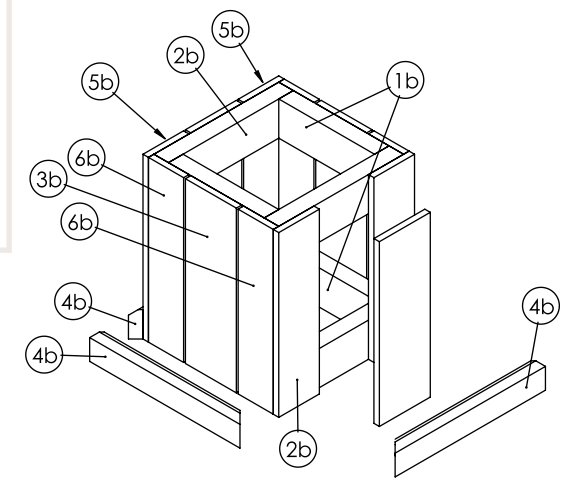
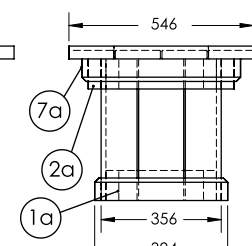
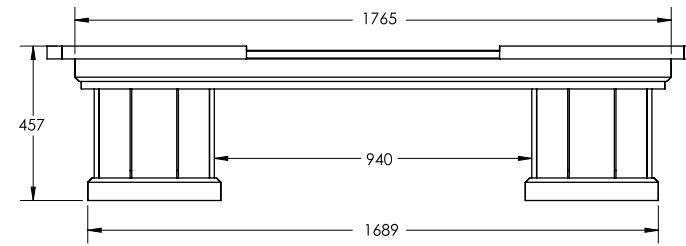
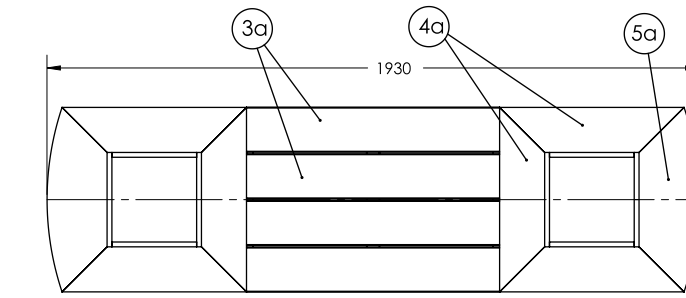
施工手順

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 部品を組み立てて、似た部品を一緒に積んでおいてください。部品は少し長めにとって、寸法を確認して合うように整えるのがよいでしょう。
3. プランターボックスを組み立てて、1.5m のフェンスボードで囲います。幅木トリムを取り付けます。
4. ベンチ枠を組み立てましょう。組み立てたプランターボックスを測って、枠の大きさを確認してください。(製材過程により材の公称寸法が異なるためです)
5. ベンチ枠のトリムを設置しましょう。留め継ぎのプランターのトップトリムを組み立て (ピクチャーフレーム 38mm x 140mm or 38mm x 187mm)、プランターボックスの中心で取り付けます。
6. ベンチボードを合うようにカットして、留め継ぎにしたプランターのトップトリムの間でベンチ枠に取り付けます。

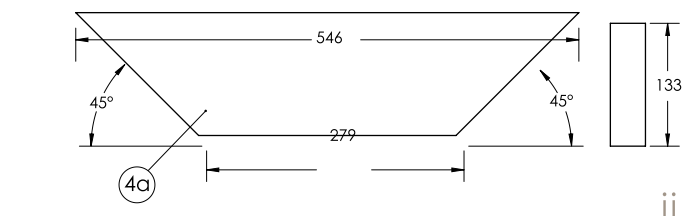
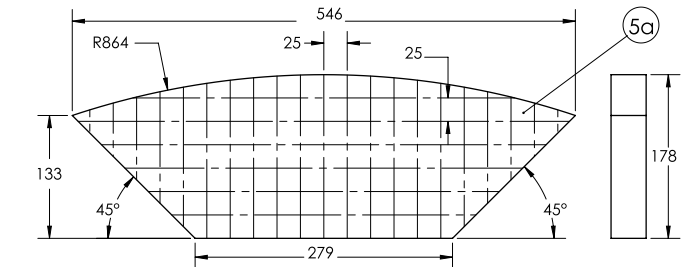
お勧めの道具・ツール

- ドリル、10mmのスパード型ビットまたは オーガービット
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 矩尺
- ポケットホールジグと #12 平ステンレス木ネジ
- 10mm 皿穴とパイロットビス、テーパープラグカッター(皿穴を埋めるため)
- 80 グリットの紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 小型ボール盤 (オプション)
- フラッシュカッター
- テーブルソー

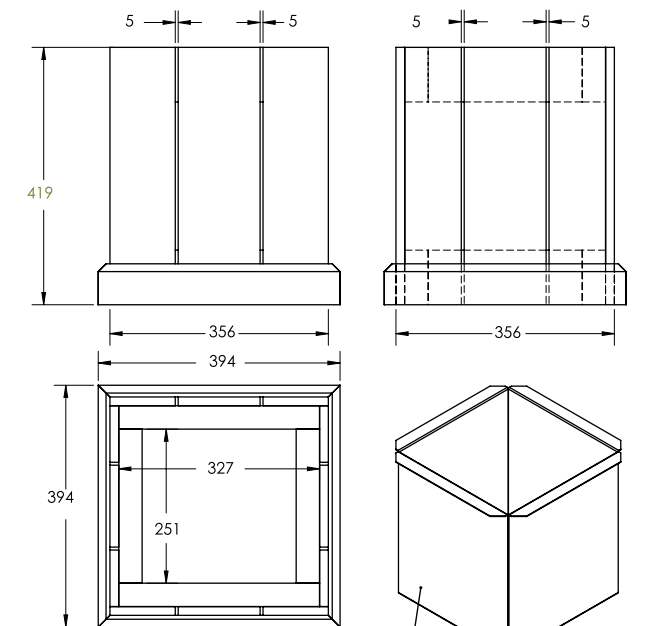
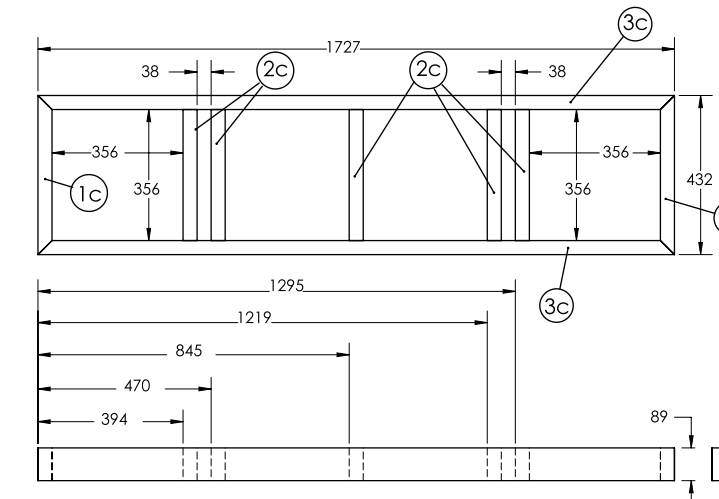
アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1a	脚の部分組立部	図 iii & iv	2
2a	ベンチのサポートの部分組立部	図 iv	1
3a	ベンチ板	32 x 150 デッキ	4
4a	プランタートリム ボード(側面)	50 x 150	6
5a	端部キャップ	50 x 150	2
6a	ベンチ枠トリム (長い側)	25 x 75トリム 25 x 150 x 2440 から2枚にカット	2
7a	ベンチ枠トリム (短い側)	25 x 75トリム 25 x 150 x 2440 から2枚にカット	2



アイテム番号	種類 (mm)	材料 (mm)	数量
1b	脚サポート枠 (短い側)	50 x 100	4
2b	脚サポート枠	50 x 100	4
3b	脚 クラッド板	25 x 150 フェンスボード	4
4b	16mm x 64mm トリム	25 x 75(留め継ぎ)	4
5b	脚 クラッド板 (106mm カット)	25 x 150 フェンスボード	4
6b	脚クラッド板 (90mmでカット)	25 x 150 フェンスボード	4



アイテム番号	種類	材料(mm)	数量
1c	ベンチ サポート枠 (短辺)	50 x 100	2
2c	ベンチ サポート枠 中間	50 x 100	5
3c	ベンチ サポート枠(長辺)	50 x 100	2



オプション垂鉛メッキシートメタルインサート

モダンなプライバシー用仕切り

材料表

3本	89mm x 89mm x 2.4m (もしくはデッキの幅木を支えるのに実用的なように長め。あるいは地面に支柱なしで立てる場合は89mm x 89mm x 3.6m)
1本	38mm x 187mm x 2.4m
4本	16mm x 89mm x 1.8m
9本	16mm x 140mm x 1.8m
1本	26mm x 89mm x 2.4m
26本	16mm x 140mm x 1.8m
1本	26mm x 140mm x 2.4m

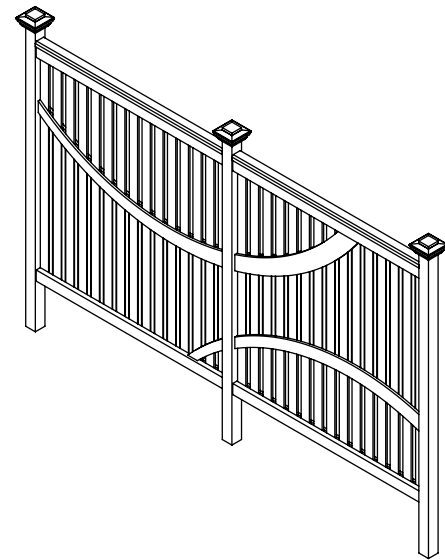
オプション:

1枚	1.2m x 2.4m シート 5mm メゾナイト、または16mm x 140mm x 2.4m レッドシダー - 10本
----	---

マリン合板1枚および広葉樹ビスケット+防水接着剤
8個 垂鉛メッキフェンスクリップ
.25kg 32mm 垂鉛メッキ屋根用釘.5lb
.5kg 75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
1.5kg 63mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)(または15ゲージ仕上げ用無頭釘または 垂鉛メッキ空気ねじ釘

*皿穴のある10mmパイロットホールを使い、ボール盤とテーパープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討してください。

**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してください。



施工手順

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。

2. 必要とされる部品を組み立てて、似た部品と一緒に積んでおいてください。部品は少し長めにとって、寸法を確認して合うように整えるのがよいでしょう。

3. レバーオーガーまたはパワーオーガーを用いて最低で深さ1.0m x 250mmの穴の位置を決めて、掘ります。—もっと良いのは、柱の穴を開けるのを専門にする人に依頼することです。柱の位置を決めた後、もう一度位置を確認して、必要な場合は、部品の寸法を調整しましょう。または、既存のデッキの枠組みで位置を決めてブロック固定を行い、柱の高さで取り付け、デッキに並べます。しっかり頑丈に接続するため、ブロック材と根角ボルトに加えます。

4. 24-48時間、柱が固定するよう、おいておき、次にサポートレールを切って、合わせます。そして、柱の表面から約10mmのところ、フェンスクリップと屋根用釘で柱に取り付けてください。サポートレールは、地面から75mm離して、お互いに対して水平であるようにしてください。サポートレールをしっかり固定するために斜めに垂鉛メッキ仕上げ用釘かフレーミング釘を加えます。

5. オープンなスクリーンが希望なら細い縦板の幅+10mmの広い縦板と、またはその逆を取り付けます。—(細い板を最初に固定して広い縦板は後で切断してください。) ブロック材を2つ切ると、この作業をすばやく行うことができます。後で細い縦板を取り付けるとき、小さい平棒または5mm 胴部のある突き錐でスペースのバランスをとることができます。

6. 端にネジと反対の端に鉛筆用穴をつけた合板を使って、約80”の長さにします。テンプレートを除き、残りのメゾナイト上のフルサイズの曲

線部のテンプレート配置に使用します。フルサイズのテンプレートを使って、合板または接着剤を使ったシダー上で必要なスweepパネルをレイアウトしてください。

7. 必要なスweepパネルを切り、合わせましょう。各サイズ2個。両方のセットを寸法どおり、ヤスリをかけて整えます。1つのセットを、32mmの木ネジを使って、既に取り付けた位置に垂直になるように、スクリーンの片側に取り付けます。(ネジの頭を整えると、きれいに仕上がります。)

8. 狭いほうの縦板を一時的に配置して支え、鉛筆でマークをつけて、ジグソーで切断します。32mmのネジか釘でスweepパネルに取り付けます。全ての狭い縦板について同じ作業を繰り返しましょう。

9. 上端と下端の16mm x 89mmトリムレールを取り付け、他のスweepパネルを合うように取り付けます。

10. 柱を図の通り、もしくは品質により柱が短い場合は少し短めに切断します。柱の上端はお互いに水平になるようにしてください。図にしたがってポストキャップを組み立て、83mm垂鉛メッキネジ釘で取り付けます。

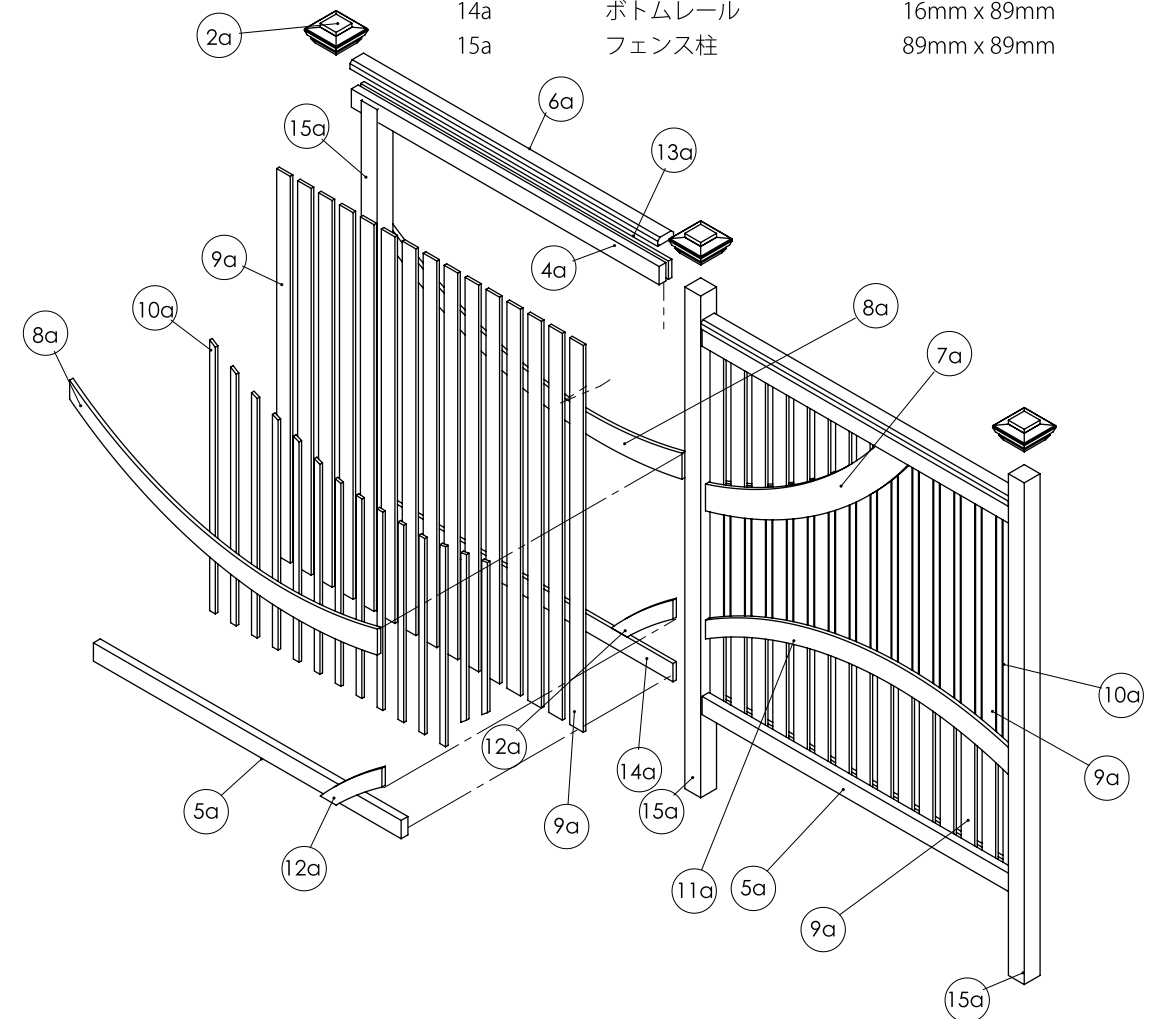
11. ステインを施し、外装用パテで空洞になっている部分や穴を埋めましょう。パテの後で二度目のステインコーティングを行います。

*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーティストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

お勧めの道具・ツール

- 16mm x 38mm 小さい 端材(スペーサーブロック) 2つ
- ドリル、10mm のスpeerd型ビットまたは オーガービット
- 電動ドライバー用ねじ、磁気チップ、電動ドライバー
- 木工用かすがい4つ (オプション)
- 矩尺
- ポケットホールジグ と #12 平ステンレス木ネジ
- 10mm 皿穴とパイロットビス、テーパープラグカッター(皿穴を埋めるため)
- 80 グリッドの紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤 (オプション)
- フラッシュカッター
- テーブルソー
- 手押し車、ショベル、クマ手、レバーオーガー (柱を埋めるときのみ)
- 1.2m 水準器
- ビスケットジョイナー
- ベルト式研磨機
- 60 と80グリッドのヤスリのランダムオービタル・サンダー

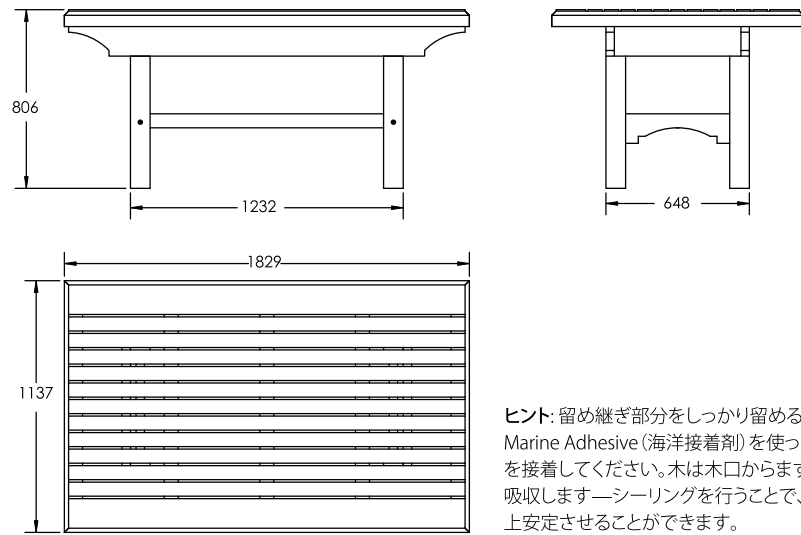
アイテム番号	種類	材料	数量
1a	ポストキャップ (キャップ)	178mm x 178mm x 38mm (38mm x 187mm からカット)	3
2a	ポストキャップ (トップ)	89mm x 89mm x 19mm (16mm x 140mm からカット)	3
3a	ポストキャップ (トリム)	38mm x 25mm (端材からカット)	12
4a	トップレール	38mm x 89mm	2
5a	ボトムレール	38mm x 89mm	2
6a	トップキャップ	38mm x 89mm (切断/カット詳細図参照)	2
7a	スweepパネル 2 (16mm x 89mm)	19mmマリン合板	2
8a	スweepパネル (16mm x 89mm)	19mmマリン合板	2
9a	縦材(幅広)	フェンスボード (65mm幅で切断) x 1879mm	30
10a	縦材 (幅狭) (32mm幅で切断)	フェンスボード	28
11a	スweepパネル 3 (19mm x 38mm)	19mm マリン合板	2
12a	スweepパネル 4 (19mm x 38mm)	19mm マリン合板	2
13a	トップレール	16mm x 89mm	2
14a	ボトムレール	16mm x 89mm	2
15a	フェンス柱	89mm x 89mm	3



職人技のダイニングテーブル

材料表

- 1本 89mm x 89mm x 3.0m
- 5本 38mm x 140mm x 2.4m
- 4本 38mm x 140mm x 3.6m
- 1本 26mm x 140mm x 3.6m
セレクトデッキ材
- 200個 75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)
- .5kg 63mm 垂鉛仕上げ用釘
- Marine Adhesive (海洋接着剤) または
防水接着剤 0.95リットル



ヒント: 留め継ぎ部分をしっかり留めるには、Marine Adhesive (海洋接着剤) を使って、木口を接着してください。木は木口からまず、湿気を吸収します。シーリングを行うことで、木を寸法上安定させることができます。

施工方法

1. 道具・ツールを集め、材料を整理してください。
2. カットリストから作成して、似た部品を一緒に積んでおいてください。
3. テーブルの脚は、下の脚ブロックの寸法 (高さと幅) で19mmのV字の刻み目が必要で、この作業はスパード型ビットとノミを使うと簡単です。マスキングテープを付けてください (テープはビットの19mmの深さ。こうすることで、19mmの深さで、テープがおがくずを除いてくれます。滑らかな表面でノミが使用でき、均一の深さで刻み目を入れることができます。
4. 上枠の場所を決めて75mmの#8デッキ用ネジで留めます。パイロット穴を開け、皿穴にうめます。
5. 図にしたがって、接続面あたり75mmの#8デッキ用ネジ4つを用いて、枠に脚を取り付けます。

F. それぞれの下の脚ブロックをはめ込んで、クランプで固定して (あるいはストラップで固定) して取り付けます。そして脚を通して10mmの穴を下の脚ブロックに作り、皿頭の10mmラグボルトをワッシャに取り付けます。接続部ごとに75mmのデッキ用ネジを2個使って、下の補強材を取り付けてください。

6. 枕木を各接続部分に75mmのデッキ用ネジを2個ずつ使って取り付けましょう。端から始め、次が中心、そして最後の2つの中央になります。

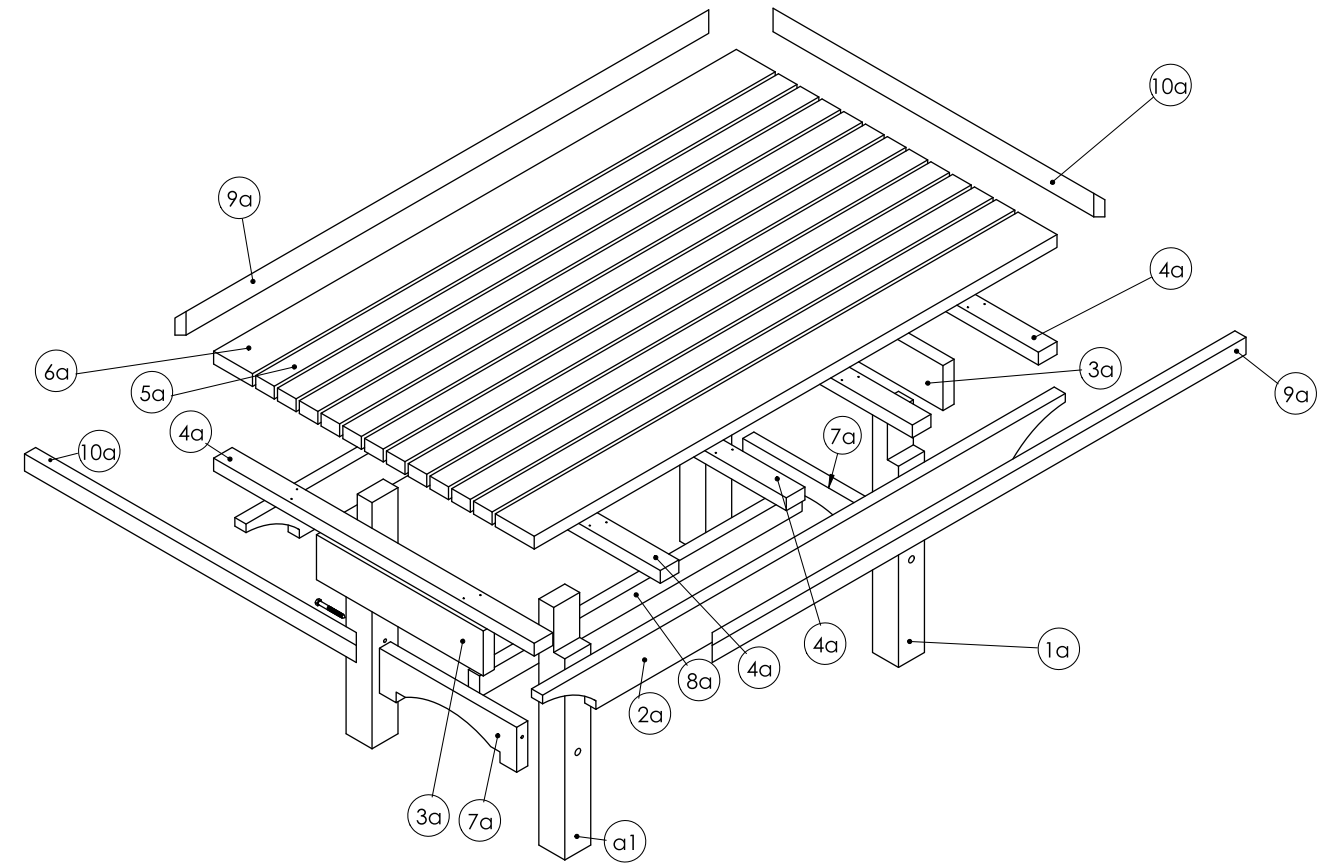
7. テーブル用厚板に予めドリルで10mmの皿穴を開けます。穴は接続ごとに2つ用意してください。小さいテーブル用厚板から最もまっすぐなものを選び、枕木の中央に取り付けます。真っ直ぐなラインになるよう、チョークラインを使いましょう。小さい方の板の間隔をあけるため、5mmのスペーサーか5mmの柄の千枚通しを使って、他の10個の小さいほうのテーブル用の厚板を取り付けます。大きい方のテーブル用の板を同様に取り付けます。

8. 丸のこを使ってテーブルの板を整え、端をまっすぐにします。そして、エッジトリムを取り付けてください。隅は留め継ぎにしてください。短いより少し長めにしましょう。
9. 端材とボール盤につけたテーパードラグカッターを使って、テーブル天板の表面に見える全ての穴を埋めるため、先細になった埋め木を用意してください。埋め木は木目と色調が合うようにして、Marine Adhesive (海洋接着剤) を少量使って固定します。接着剤が乾くのを待ち、余分な部分をフラッシュカッターで整え、80 グリットの紙やすりで処理します。
10. 紙やすりで鋭い端を削り、くずを除き、仕上げを行います。

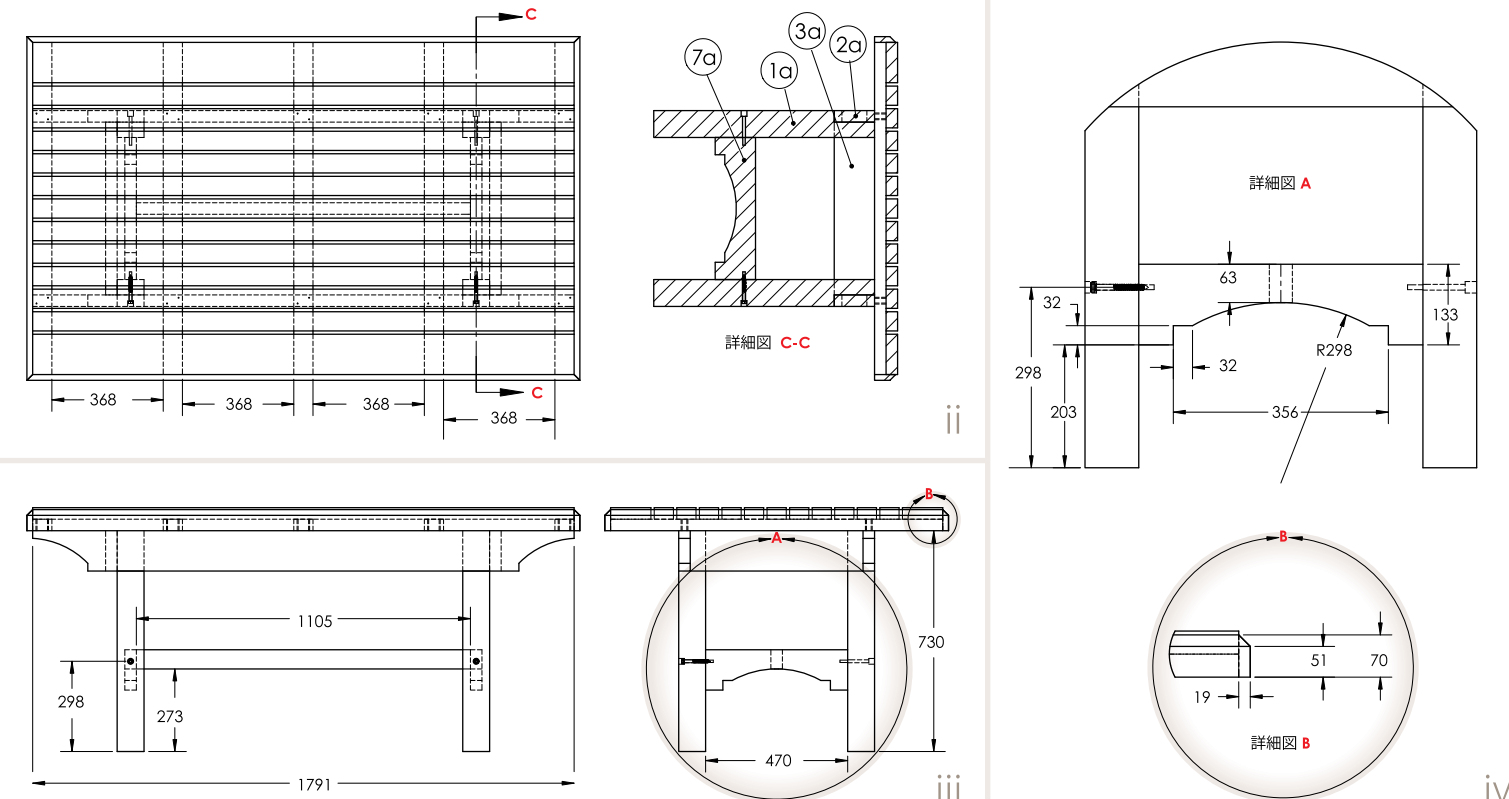
*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会 (WRCEA) は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

お勧めの道具・ツール

- マスキングテープ
- テーブルソー
- 丸のこ
- ドリル、13mm スパード型ビットまたはオーガービット
- 木ノミ
- ハンドソー・手のこ、または日本ののこぎり
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 木工用かすがい4つ (オプション)
- 矩尺
- 調整可能なレンチまたはソケットのセット
- 10mm 皿穴
- 2千枚通しまたは5mmシャフトのスクレュードライバー
- 80グリットの紙やすりを使ったランダムオービタル・サンダー
- バークランプまたは3.6mナイロンのタイダウンストラップ
- チョークライン
- 直定規



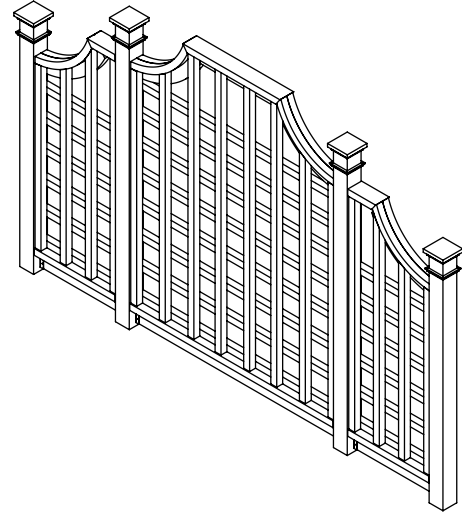
アイテム番号	種類	材料 (カット材料)	数量	アイテム番号	種類	材料 (カット材料)	数量
1a	テーブル脚	89mm x 89mm x 3.0m (1)	4	7a	下の脚ブロック	38mm x 140mm x 2.4m (1)	2
2a	側面枠桁	38mm x 140mm x 2.4m (2)	2	8a	下の補強材	テーブルブロック (小) の端材	1
3a	枠内	枕木の端材	2	9a	エッジトリム (短辺)	26mm x 140mm x 3.6m (1)	2
4a	枕木	38mm x 140mm x 2.4m (2)	5	10a	エッジトリム (長辺)	26mm x 140mm x 3.6m (1)	2
5a	テーブル用厚板 (小)	38mm x 140mm x 3.6m (3)	11	11a	ラグスクリュー	10mm x 89mm	2
6a	テーブル用厚板 (大)	38mm x 140mm x 3.6m (1)	2				



クラシックなトレリス (格子)

材料表

4本	89mm x 89mm x 3.0m (支柱なしの場合) または 2 - 89mm x 89mm x 3.6m (壁に取り付ける場合)	1kg	57mm デッキ用ネジ (レッドシダー用) または 15ゲージ仕上げ用無頭釘または 63mm 垂鉛メッキ仕上げ用ネジ釘
7.2m	19mm シングルモールディング (レッドシダーかマホガニー)	30個	32mm 垂鉛メッキ屋根用釘
1本	32mm x 1.8m x 1.8m		13mm スリーブアンカーまたは 10mm ラグスクリュー (25mm 皿穴) 8個~壁取り付けの場合のみ
24本	38mm x 38mm x 2.4m		速硬コンクリート 8袋~ (支柱なしの場合)
3本	38mm x 89mm x 2.4m		
2本	38mm x 187mm x 2.4m		*皿穴のある 10mm パイロットホールを使い、ボール盤とテーパープラグカッターで作ったカット材でネジ穴を埋めることを検討してください。
6本	Fence Clips		**組み立て前にレッドシダーを前仕上げすることを検討してください。
.5kg	32mm 垂鉛メッキ仕上げ用ネジ釘		
.5kg	75mm デッキ用ネジ (レッドシダー用)		



施工手順

1. 材料を購入して、集め、整理しましょう。
2. 材料表から組み立てて、似た部品を一緒に積んでおいてください。
3. まず、壁に取り付けるか、支柱なしで立てておくかを決めましょう。支柱なしの場合、レバーオーガーかパワーオーガーを用いて 1.2m x 250mm の穴の位置を決めて、掘ります。— もっと良いのは、柱の穴を開けるのを専門にする人に依頼することです。
4. 柱の表面下 13mm のところに皿穴を使ったラグスクリューで柱を壁に取り付けます。または全体の下半分にコンクリート、そして上半分に土か細かい砂利を使って、柱をフーチングに固定します。— 一番外側の柱をまず設置して、13mm 離して、ひもをつけて柱を水平にまっすぐ並べましょう。足で土や細かい砂利をしっかりと詰める場合は、柱を固定する必要はありません。
5. 24-48時間、柱が固定するよう、おいておき、次に 32mm の垂鉛メッキした屋根用釘を使って、フェンスクリップを取り付けます。クリップは、地面から 75mm 離して、お互いに対して水平であるようにしてください。
6. ベースレールとレールキャップを切って取り付けます。75mm のネジで固定します。
7. 詳細図 B にしたがって、曲線状レールを組立て、レールキャップとスタブレールを約 75mm 残して、合うようにカットしてください。組み立てた曲線状レールを図の高さに取り付け、75mm デッキ用ネジでしっかり留めます。全てのネジは皿穴にうめてください。
8. 鉛筆を 32mm に切って、柱のその長さにマークをつけます。スペーサーブロックを使って迅速、そして正確に、寸法に切って、取り付けます。取付には 63mm の仕上げ用ネジか 57mm デッキ用ネジを使用してください。

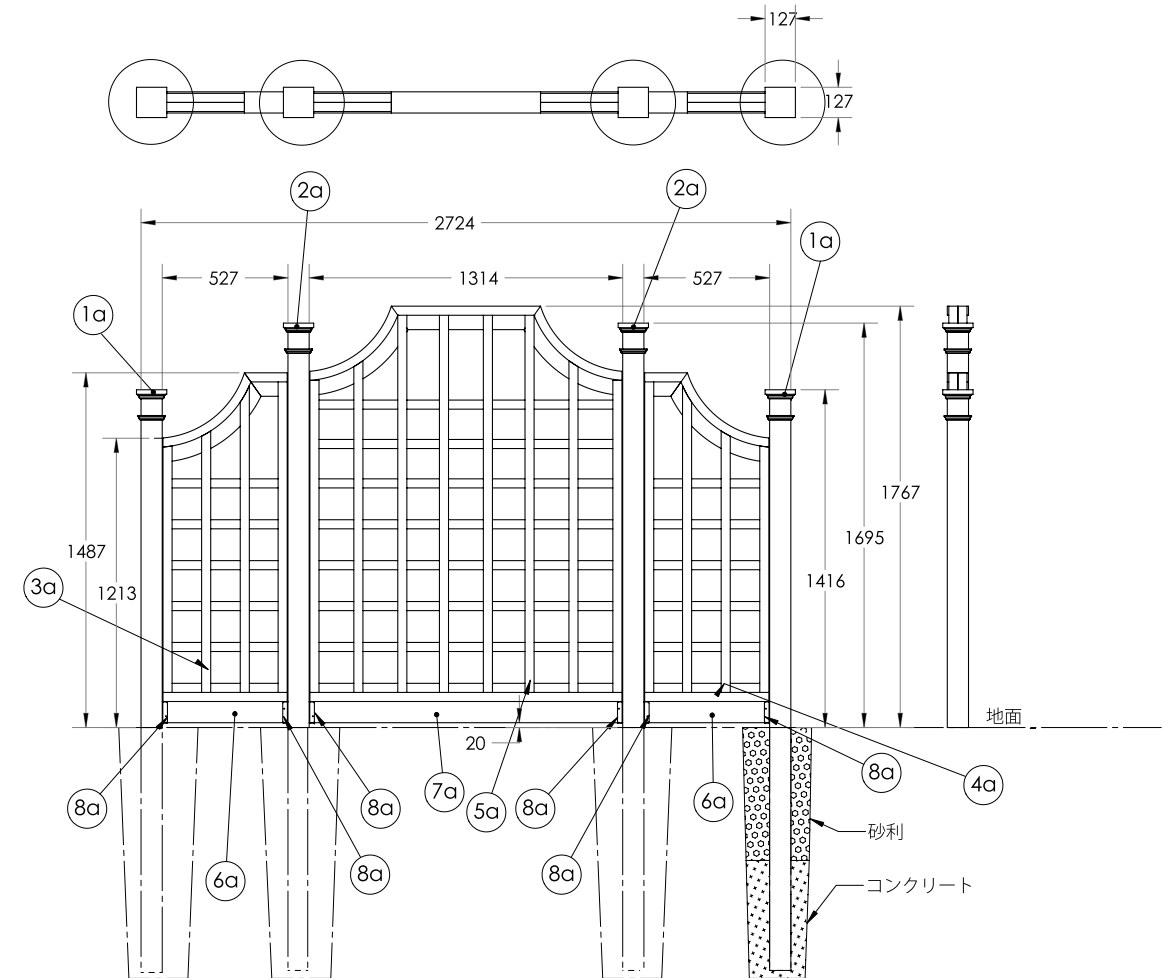
9. 横格子の大きさを測り、合うように切ります。スペーサーブロックを使って、縦格子を仕上げ用釘かネジで取り付けます。適切に位置決めできるよう、縦のスペーサーブロックも使ってください。
10. 図の高さに柱を切って、ポストキャップとトリムを組み立てて、取り付けます。32mm 垂鉛メッキ仕上げ用釘で固定します。
11. ステインを施し、外装用パテで空洞になっている部分や穴を埋め、もう一度ステインを施しましょう。

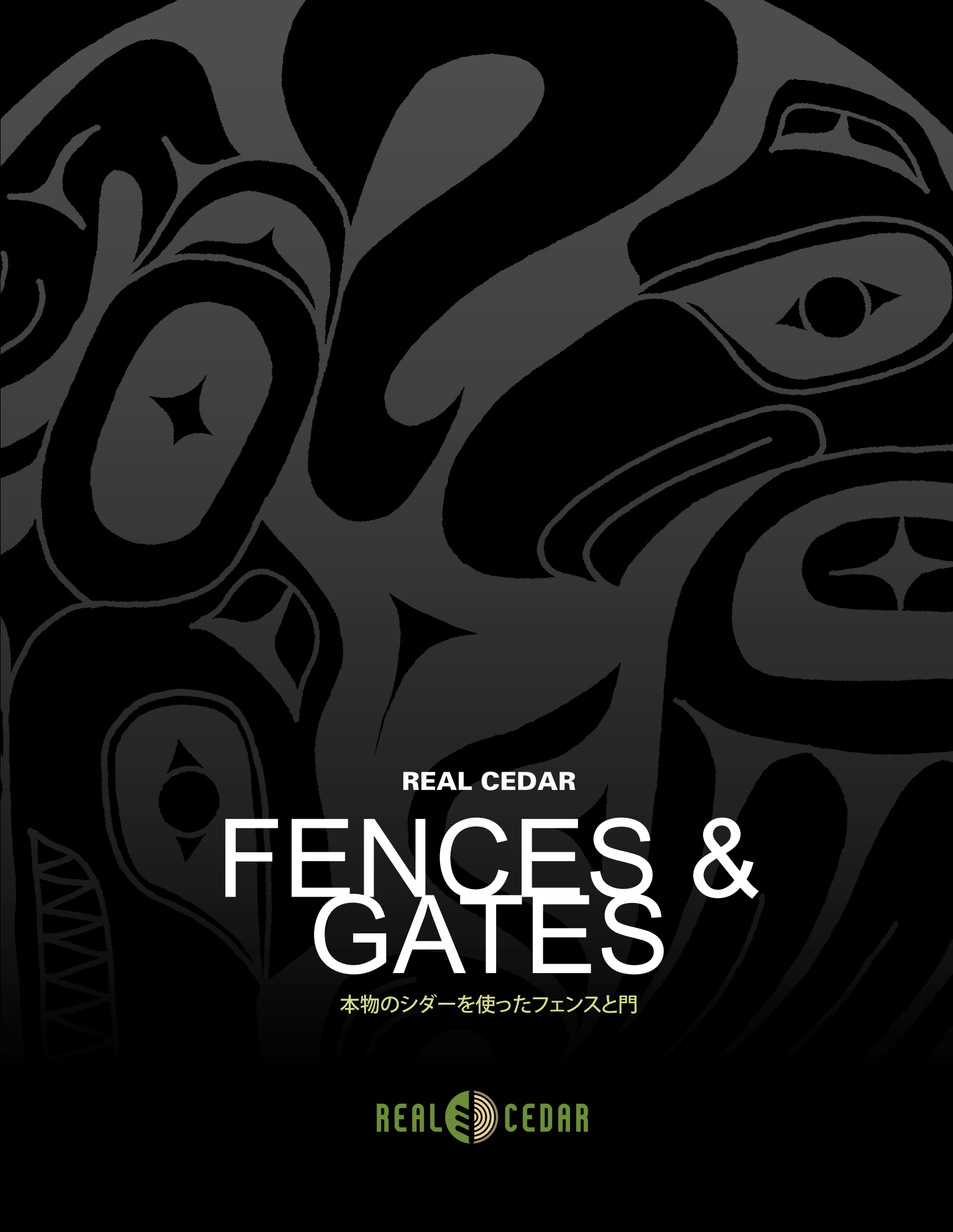
*図面は Garden Structure (www.gardenstructure.com) によるものです。アーチストのコンセプトで、一般的な参考資料としてのみご利用ください。ウエスタンレッドシダー輸出協会 (WRCEA) は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。常に地域および国の建築基準を守るようにしてください。

お勧めの道具・ツール

- 8mm x 38mm 小さい 端材 (スペーサーブロック) 4 つ
- ドリル、10mm のスベード型ビットまたは オーガービット
- 電動ドライバー用ねじ回しビットおよび磁気チップ
- 木工用かすがい 4 つ (オプション)
- 矩尺
- 調整可能なレンチまたはソケットのセット
- 10mm 皿穴とパイロットビット
- テーパープラグカッター (皿穴を埋めるため)
- 80グリットの 紙ヤスリを使ったランダムオービタル・サンダー
- 頑丈な刃のジグソー
- 小型ボール盤 (オプション)
- フラッシュカッター
- テーブルソー
- 手押し車、ショベル、クマ手、レバーオーガー

アイテム番号	種類	材料	数量	アイテム番号	種類	材料	数量
1a	フェンス柱 (短)	部分組立	2	4a	右側フレームの組立	図 iv	1
	3.0m フェンス柱	89 x 89	1		1346 縦材	38 x 38	2
	ポストキャップ	16 x 140	1		50 x 50 x 1524	38 x 38	2
	シングルモールディング	19 x 16	8		521 横材	38 x 38	6
2a	フェンス柱 (長)	図 v	2		ベースレール	38 x 89	1
	3.0m フェンス柱	89 x 89	1		側面レールのトッププレート	38 x 89	1
	ポストキャップ	16 x 140	1		曲線状レールのベース	38 x 187 からカット	1
	シングルモールディング	19 x 16	8		曲線状レールトリム	38 x 187 からカット	1
3a	左側フレームの組立	図 iv	1	5a	中央フレームの組立	図 i & ii	1
	1346mm 縦材	38 x 38	4		ボトムレール x 1.3m	38 x 89	1
	520mm 横材	38 x 38	6		1.6m 縦材	38 x 38	4
	ベースレール	38 x 89	1		1.3m 横材	38 x 38	10
	側面レールのトッププレート	38 x 89	1		1.5m 縦材	38 x 38	2
	曲線状レールのベース	38 x 187 からカット	1		曲線状レールトリム	38 x 187 からカット	2
	曲線状レールトリム	38 x 187 からカット	1		曲線状レールのベース	38 x 187 からカット	2
	トップレールのフィラー	38 x 187 から	1		スタブレール	38 x 187 から 38 x 64	1
		38 x 64mm 端材			レールキャップ	38 x 89	1
				6a	ベースレール	38 x 89	2
				7a	ボトムレール x 1.3mm	38 x 89	1
				8a	フェンスクリップ	垂鉛メッキしたスチール	6





REAL CEDAR

FENCES & GATES

本物のシダーを使ったフェンスと門

REAL  CEDAR

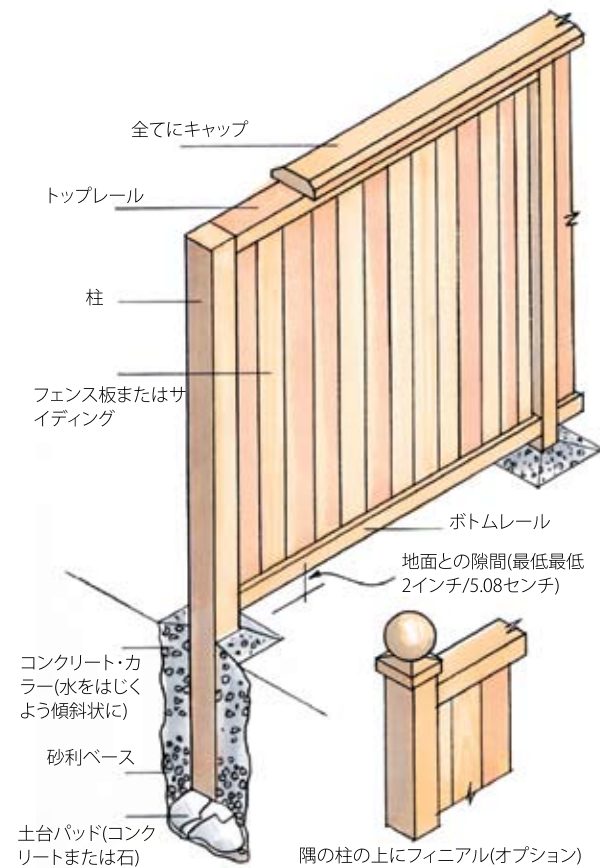
本物のシダーを使ったフェンスと門

ウエスタンレッドシダーのフェンスは美しいだけでなく、性能にも優れています。注文製作、あらかじめ製作したパネルのどちらをお選びいただいても、化学処理の必要がなく、他の材より性能に優れています。天然の耐久性を備えていて、辺材の割合が低く、他の材より長く耐えることができます。シダーの美しさを真似ようとしても、本物の温かみと特徴に並ぶものはありません。フェンス材のデザインと選択では、本物のシダー、ウエスタンレッドシダー以外のもので妥協しないでください。



本物のシダーを使ったフェンスと門

フェンス作成の基本要素



殆どのフェンスは、柱、横木、隙間を埋める材料の3つの基本要素で構成されます。柱は垂直に直立。柱の間を横に走るのが横木で、柱が支えます。隙間を埋める材料で一般的なのが板で、横木につきます。各要素に対して、様々な予算で、ほぼあらゆるスタイルのフェンスを施工するためのウエスタンレッドシダーの寸法と等級があります。オシャレなもの、高価だとは限らないと覚えておいてください。

フェンス施工計画時に考慮すべき点のチェックリスト:

- フェンスの目的と庭にあったスタイルを選び、始めから終わりまで一貫したスタイルにしましょう。
- ゼロからフェンスを作るか、既製のフェンスパネルを使うかを決めます。
- 柱、横木、板をラフか、表面加工にするかを選びましょう。
- 上端が平坦な無垢板か、あるいは尖頭、ドッグイア（台形）、ゴシック、槍型、丸型などの様々な形状からお選びください。
- 希望の外観を得るため、チャンネルなどの短いパターンのサイディングか、さねはぎV継ぎにするか決めましょう。

• 格子パネルだけを使用するか、軽量でオープンなフェンスを希望する場所で、無垢板とのコンビネーションにするか、検討してください。

• 仕上げの種類を決めましょう。自然な外観が希望なら、透明または半透明のステインをご利用ください。不透明の仕上げを希望する場合は、一色のステインをお勧めします。

フェンス金具

多数の異なった種類のフェンス施工の金具があります。中でも人気が高いのは、金属の柱サポートで、上部が89mm x 89mmの四角形、長いひれ部が600mm以上のもので、地面に突きこむことができるものです。柱は四角に直接、設置して、ボルトかラグスクリューで締めます。これらの柱サポートを使用すると、柱穴を掘って、コンクリートで固める必要はありません。

柱の基礎として、もう一つ人気があるのは、89mm x 89mmの金属のサドル。コンクリートパッドの上に設置して、釘打ちか、ラグスクリューで柱を留めることができます。レーリング柱を木製デッキにつなぐための金属のサドルを使うこともできます。フェンスの横木を柱にしっかりと止め、隅の接続を単純にするための簡単な方法の一つは、根太ハンガーに似た、アルミか亜鉛メッキした金属のブラケットを使用する方法です。

組立済みフェンスパネル

多くのスタイルのウエスタンレッドシダー製フェンスは、900mmから1800mmの高さの組立済みパネルでご利用いただけます。板は無地、V継ぎ手さねはぎ、チャンネルで、通常、横木は38mm x 89mm、板は19mm x 140mmです。

板は間隔なしのものが一般的ですが、間隔のあいたパネルもあります。これらの時間を節約できるフェンスは、パネル単位で販売されています。パネルをよく調べて、適切な品質のウエスタンレッドシダーの板で作られているか、そして耐食性のある金具でしっかりと組み立てられているか、確認してください。組立済みパネルを使用する場合は、施工前に寸法を調べるのが大切です。全ての柱を事前に配置するより、柱とパネルをひとつずつ配置していくのが良いでしょう。

組立済み格子パネル

ウエスタンレッドシダーの格子パネルは、ウエスタンレッドシダーの板張り扉の代わり、もしくはあわせて使うことができます。ラフもしくはスムーズに処理した格子で、四角か斜めのパターンでモジュールサイズになっているので、最も一般的な組立済みパネルや柱間隔に合わせるすることができます。格子は板張りに比べ風の抵抗が少なく、日陰となる庭の部分に日光

を通します。また、格子の目の細かさで、プライバシーの程度を調節できます。

クリア材の格子も人気ですが、生き節のあるウエスタンレッドシダーで作った格子は経済的で、品質にも優れています。格子購入の際、適切な厚みの高品質のウエスタンレッドシダーでしっかり作られているか、また正しく組み立てられているか確認してください。厚めの格子パネルは通常、ステーブルのみで組み立てられ、枠を必要としません。薄いラス格子は、外装用の接着剤やステーブルを使用しています。ラス格子は枠組みが必要です。品質の良いラス格子では、ステーブルの高さが材面と同じになるか、材の中に入っていて、ステーブルの針先はパネル表面に出ていません。

ウエスタンレッドシダーの門・ゲート

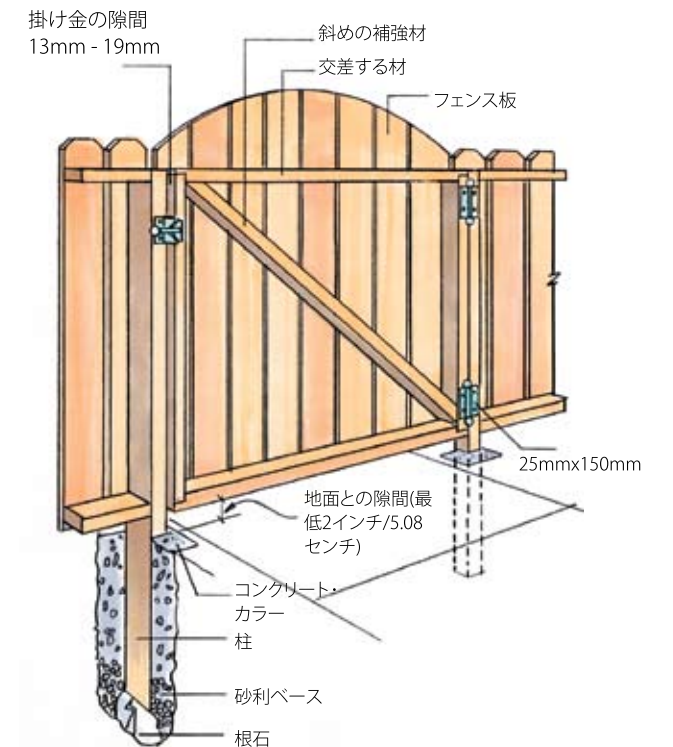
素晴らしい第一印象となるウエスタンレッドシダーの門。訪れる人を温かく迎える雰囲気を作り出し、同時に威圧感を出さずにプライバシーとセキュリティを加えます。作るフェンスの種類により、門の選択も変わってきます。フェンス同様に、門は多くの形状とサイズのものがありますが、2つの主要な要件、すなわちフェンスと調和が取れていて、かつ効果的に機能することを満たす必要があります。同じ品質と質感の材料を用いることで、デザインの連続性を維持することができ、フェンスと門の調和を実現できます。

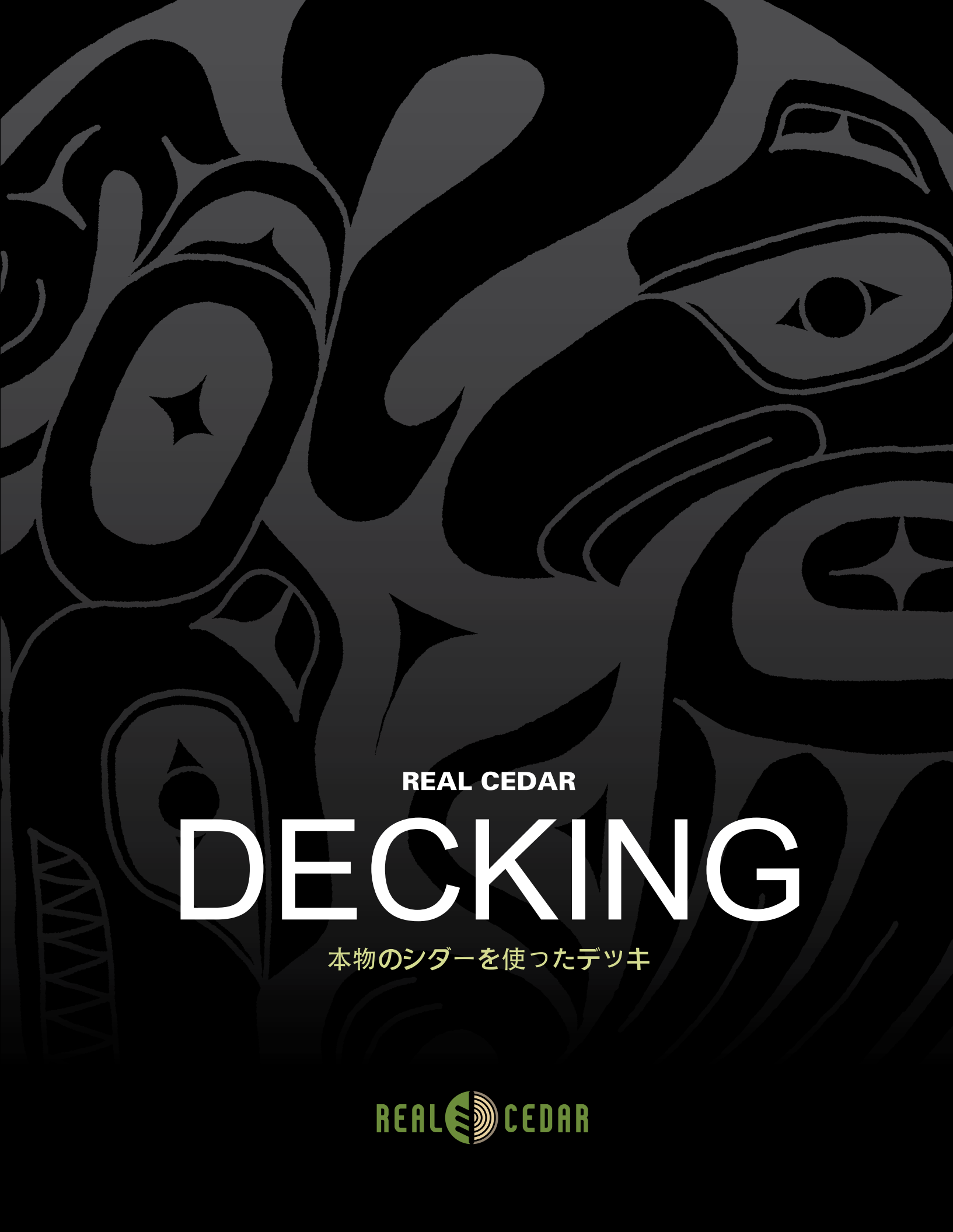
門計画の際に考慮すべき点のチェックリスト:

- フェンスに合い、デザインと材料の連続性があるスタイルを選びましょう。
- 小道、アプローチ、造園の計画に関連して、便利な入り口に門を設置してください。
- 門幅を決めます。人が2人、横に並んで通り抜ける、そして芝刈り機や手押し車などの庭用道具が通れるだけの広さが必要です。4 feetより広い門は支えるのが難しく、垂れ下がることがよくあります。広い開口部には、セクションが2つある門を検討してください。
- 引き戸か開き戸かを決めます。開き戸の場合は、開く方向は妨げるものがないようにしてください。門は傾斜になっている場合を除き、通常、家の敷地に向かって開きます。傾斜面では坂の下の方に向かって開くようにして、門の下部分を斜めにカットする必要がないようにしましょう。
- 門は階段の下ではなく、上に配置して、安全のため階段と反対方向に開くようにしましょう。
- 門はしっかりと施工して、良質の金具で取り付けてください。

門の金具

蝶番、掛け金、上げ落としボルト、テンションサポート、サグロッドが一般的な門の金具です。どの金具を選ぶにせよ、幅広い選択肢がありますので、常用に耐えるだけ頑丈で、錆びに強い耐食性のあるものにしてください。





REAL CEDAR

DECKING

本物のシダーを使ったデッキ

REAL  CEDAR

本物のシダーを使ったデッキ

世界で最も美しい木材の一つ、ウエスタンレッドシダーのデッキは、街並みでもひととき目立つ存在。特徴は外観だけではなく、生活空間が屋外にまで拡がり、住まいの内部と庭の一体化を実現するほか、湿気や傾斜のある地形を有効活用。従来型の住宅にはコンテンポラリーな雰囲気をプラス。デッキは少し生活を良いものしてくれます。



本物のシダーを使ったデッキ

デッキの施工を決めたら、デッキ材を選びましょう。デッキ材の選択はデザインや施工と同じくらい重要です。環境意識の高い現代社会では、ウエスタンレッドシダーを選ぶのは当然のこと。

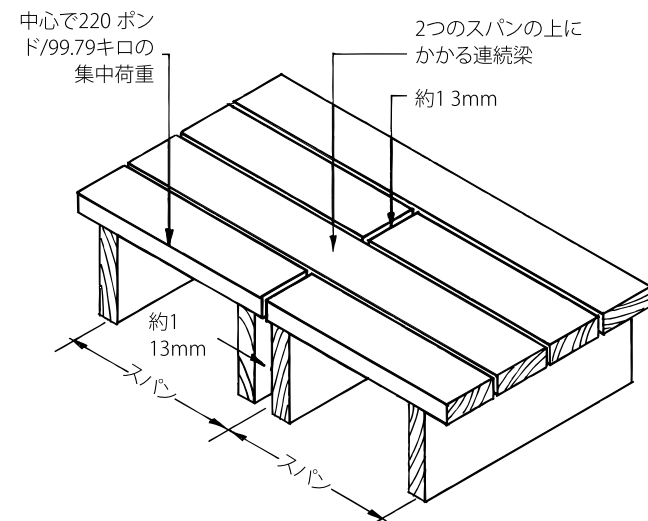
シダーは油性防腐剤を持つ、数少ない樹種であるだけでなく、ヤニや樹脂を含まないために、保護塗装の下地としても優れています。また、デッキに最適な他の天然の性質を持ちます。ブリティッシュ・コロンビア州で最も安定した針葉樹であるため、ウエスタンレッドシダーのデッキは水平さと通直性を保ち、干割れにも強いのが特徴です。

堅固さと足元の弾力性を兼ね備え、硬くはなく、変形しません。軽量で、作業しやすく、ほぼ全てのタイプの仕上げに理想的で、あらゆる建築様式に合うエレガントさと、全ての景色に溶け込む美しさを持ちます。

デッキを作る理由に関わらず、デッキ材にふさわしい木材はただひとつ。幅広い種類の等級と寸法で利用でき、品質が低いものなら競争力のある価格で入手可能。ウエスタンレッドシダーのデッキは美しく、実用的、耐久性で、どんな住宅にも合います。

ウエスタンレッドシダーデッキの寸法とスパン

WRCEAのウエスタンレッドシダーのデッキは、表で示すとおり、様々な厚み、幅、長さでご用意しています。表のデッキ最大幅は、2つの同等の幅を持つ連続梁で、幅の中心で220-lb (100kg)の集中荷重を持つことに基いたもの。材下で支える根太の厚みを考慮に入れて、デッキ材の正確なスパンを使用します。濡れた最終用途での状態と、未乾燥（グリーン）材のサイズを仮定します。



厚さ	広く	等級のカテゴリ	スパン
26mm	89mm	全てクリア等級	300mm
26mm	89mm	全てノッティ等級	400mm
26mm	140mm	全てクリアとノッティ等級	400mm
38mm	89mm	全てクリアとノッティ等級	600mm
38mm	140mm	全てクリアとノッティ等級	600mm

9.3平米のデッキをカバーするため

公称寸法 (mm)	実寸 (mm)	リニアメータ
32 x 100	26 x 89	99
51 x 100	38 x 89	99
32 x 152	26 x 140	64.3
51 x 152	38 x 140	64.3

適切な排水のため、デッキ材の間隔を開けてください。濡れた後、乾くデッキは、湿ったままのものより長持ちします。

水分やゴミは根太に突合せ継ぎ手がかかる場所で集めることができます。排水のため、図にしたがって、ダブル根太間のデッキ材は、デッキ材両端の間で3mm の間隔をあけて接合してください。

デッキの仕上げ

ステインを塗る前に、天候にさらされないようにデッキ表面を守りましょう。デッキにステインを行う場合は、ウエスタンレッドシダーを絶対に“風雨にさらさない”ようにしてください。

浸透するステインを塗る前に、デッキを完全に乾燥させて、材がステインを吸収するようにしてください。

高品質でよく染み込むデッキ用ステインを使いましょう。コーティングについては、価格ではなく品質が重要です。

風雨にさらされるデッキには、ペンキのような被膜を形成する仕上げや着色ステインは絶対に使用しないでください。これらのコーティングは剥がれたり、むけて、再仕上げを行う前に取り除いたり、ヤスリをかける必要があります。ペンキとステインは、屋根がついたポーチやスリーシーズンポーチなら使用可能なこともあります。

デッキのメンテナンス

庭園などのメンテナンスを定期的にと考える人は多いですが、デッキのメンテナンスも同様に大切です。どのような素材のものであれ、デッキは全て何らかのメンテナンスを必要とします。戸外に使用される木材として最高級の性能を誇るウエスタンレッドシダーのデッキも、常に最良の状態に保つためには時々手入れをしなければなりません。シダー製デッキは定期的な維持管理を行えば、数年から何十年も長持ちします。

• デッキ表面や板の間のすきまに土やごみをためないでください。

• 家具やプランターの置き場所を時々変えましょう。

• 土や泥はカビの原因になることがあるので、デッキの表面をきれいにしておきましょう。

• 無リン洗剤で定期的にデッキの表面を洗浄してください。

• カビや白カビの発生を抑えるため、薄めた漂白剤を塗りましょう。酸素系漂白剤または酸素系漂白剤を含んだ洗剤を使ってください。塗った後、効果を発揮させるために最高30分おきましょう。

• 塩素系漂白剤は木を傷めるので、使用しないでください。

• 洗浄剤を使った後はデッキをよくすすいでください。

• ステインを塗ったり、塗りなおす前に、デッキの表面をきれいにしてください。

デッキを設計しなさい - www.wrcla.org (ウェブサイト)

利用可能な寸法

ウエスタンレッドシダー材および規格製品の寸法は、厚み16MM～310MM、幅38MM～310MMで、幅広い品揃えで通常、ご利用いただけます。地元の業者に相談して、プロジェクト開始前に、どの寸法が利用できるかご確認ください。標準の長さは1フィートの倍数で、通常6Mまで。長さ、寸法の大きいものも、特別注文でご利用いただけることがあります。

材面

ウエスタンレッドシダー製品は異なった材面で指定いただけます。

材面	特徴	製品カテゴリー			
		板材	ディメンション材	デッキ材	大断面材
ラフ	4面とも、丸のこか帯のこで、粗く引いたもの	はい	はい	いいえ	はい
ラファーヘッド	材は荒いプレーナー盤を使用した、製材工程による材面。粗い目が4面全てで確認できます	はい	はい	いいえ	はい
S1S2E (3面プレーナー)	1面、2つの接線で表面処理。多様な製品で、トリム板として最も人気があります。粗く挽いた表面とスムーズな裏面による材面工程で、均一な幅と厚み強度が得られます。通常、粗い面で格付けを行います	はい	いいえ	いいえ	いいえ
S4S	4面を表面処理。全4面とも滑らかで優れた外観で、均一な寸法の製品です。クリア材で最も一般的な材面	はい	はい	はい	はい

ウエスタンレッドシダーの等級

ウエスタンレッドシダーのクリア材は、自然な特徴は少しのみ。最高品質の外観を備えています。クリア材は通常、グリーン（未乾燥材）で出荷。必要に応じて、天然乾燥を行います。人口乾燥を行った製品も特別注文でご利用いただけます。

ノッティ等級は素朴な外観。通常、目視等級材も構造等級材も、グリーン（未乾燥）で供給します。必要に応じて、天然乾燥しますが、ご要望により、人口乾燥を行った、ノッティのウエスタンレッドシダー製品も利用いただけます。

高品質のウエスタンレッドシダーは、安心して、ウエスタンレッドシダー輸出協会 (Western Red Cedar Export Association) のsc;qw]業者から購入いただけます。業者リストはウェブサイト www.wrcea.org をご覧ください。

締め具

溶融亜鉛メッキを行ったアルミ、およびステンレスの締め具は耐食性があり、ウエスタンレッドシダーの締め具として使用可能です。その他のタイプの釘は、錆びたり、分解、シダーに

含まれる天然の防腐成分と反応して、見苦しい変色やしみ筋の原因になるので、お勧めしません。銅製の釘もシダーと反応するので、使わないでください。特にトリムボードを透明または半透明のステインで仕上げる場合、ステンレスの釘が最適です。一般的な用途ではNO. 304のステンレス、または海岸部ではNO. 316をご利用ください。

大きな材の場合は、釘ではなく木材コネクタが必要です。釘以上の結合部の強度が必要な重木構造では、一般的にボルト、ラグスクリュー、分割リング、せん断板、注文製造の金具を使用します。これらのタイプの接合具は、腐食や染みを防ぐために、耐食性があるものか、適切にコーティングする必要があります。一般的に、機械で接合具を締めるデザインでは、末端- と端-の間隔、含水率、使用条件、使用する接合具の数など、様々な要素を考慮してください。接合部分の作成および取付費が、重木構造のコストの大部分を占めることがあるため、設計前に構造の詳細を処理することが重要です。

デッキの接合にはネジも使用できます。二度溶融亜鉛メッキを行ったネジも可能ですが、お勧めはステンレススチール製。殆どの用途で、304 (18-8)であれば、耐食効果を十分に期待

できます。ただし、潮風にさらされるデッキでは、316を使用してください。ネジは、材を支えることができるよう、1インチ (25MM)は入る長さが必要です。構造用部位には、最低 1 ¼インチ (32MM) 入るものを選びましょう。

隠し接合を使うと、接合具を使っていない魅力的な表面にできます。締め具が外から見えないように、デッキボードの側面または底面に固定する金属製クリップまたは根太上部にブラケットを使用。隠し接合はウエスタンレッドシダーのデッキの美しさをさらに引き立てます。

締め具

溶融亜鉛メッキを行ったアルミ、およびステンレスの締め具は耐食性があり、ウエスタンレッドシダーの締め具として使用可能です。その他のタイプの釘は、錆びたり、分解、シダーに含まれる天然の防腐成分と反応して、見苦しい変色やしみ筋の原因になるので、お勧めしません。銅製の釘もシダーと反応するので、使わないでください。特にトリムボードを透明または半透明のステインで仕上げる場合、ステンレスの釘が最適です。一般的な用途ではNO. 304のステンレス、または海岸部ではNO. 316をご利用ください。

大きな材の場合は、釘ではなく木材コネクタが必要です。釘以上の結合部の強度が必要な重木構造では、一般的にボルト、ラグスクリュー、分割リング、せん断板、注文製造の金具を使用します。これらのタイプの接合具は、腐食や染みを防ぐために、耐食性があるものか、適切にコーティングする必要があります。一般的に、機械で接合具を締めるデザインでは、末端- と端-の間隔、含水率、使用条件、使用する接合具の数など、様々な要素を考慮してください。接合部分の作成および取付費が、重木構造のコストの大部分を占めることがあるため、設計前に構造の詳細を処理することが重要です。

デッキの接合にはネジも使用できます。二度溶融亜鉛メッキを行ったネジも可能ですが、お勧めはステンレススチール製。殆どの用途で、304 (18-8)であれば、耐食効果を十分に期待できます。ただし、潮風にさらされるデッキでは、316を使用してください。ネジは、材を支えることができるよう、1インチ (25MM)は入る長さが必要です。構造用部位には、最低 1 ¼インチ (32MM) 入るものを選びましょう。

隠し接合を使うと、接合具を使っていない魅力的な表面にできます。締め具が外から見えないように、デッキボードの側面または底面に固定する金属製クリップまたは根太上部にブラケットを使用。隠し接合はウエスタンレッドシダーのデッキの美しさをさらに引き立てます。

仕上げの前に:

- ステインや塗装前に2週間以上、ウエスタンレッドシダーを屋外で放置しないでください。

- スチール、もしくは‘鉄を含む’金属ツールやブラシは絶対に使わないでください。鉄やスチールはウエスタンレッドシダーと反応して、染みになります。

- ウエスタンレッドシダーには絶対に高圧洗浄機を使用しないでください。

ヒント – 新しいシダーは、全てについて6面全部を‘機械でステイン加工’もしくは、工場で下塗りした‘製品を購入するのが最も良い’でしょう。

ヒント – 仕上げが長持ちする効果の高い表面は、効果の高い順に、50 から80グリットでヤスリを使用、粗挽き、滑らかにプレーナー加工です。

ヒント – ブラシか‘毛のついたパッド’を使用。コーティングをスプレーする必要があるときには、その後ブラシをかけましょう。

既に仕上げをしないで、ウエスタンレッドシダーを取り付けた、もしくは建ててしまった場合は、2週間日光にさらされる前に、できるだけ早く表面をきれいに、仕上げを行ってください。

ヒント – 酸素系漂白剤Oxi-Clean (オキシクリーン) やソープランド’の同等の液剤できれいにしてください。柔らかいブラシを使用して、庭用ホースですすぎましょう。

仕上げに関する詳細はWRCEAの“Guide to Finishing”を注文いただくか、ウェブサイト www.wrcea.org をご覧ください。

屋外リビングアイテムのキット

多くのスタイルのウエスタンレッドシダーのフェンスは、予め組み立てたパネルでご利用いただけます。様々な寸法と形状で販売されていて、時間が節約できます。同様にガゼボ、パーゴラ、庭小屋、プレイハウス、遊具セットなど、多彩な屋外リビング用、プレカットのキットも、ウエスタンレッドシダー木材協会の会員からご利用いただけます。

ウエスタンレッドシダー輸出協会 (WESTERN RED CEDAR EXPORT ASSOCIATION)

当協会(WRCEA:www.wrcea.jp)は、第一次から第二次製材、第三次加工にいたるまでのウエスタンレッドシダー製品製造に関わる各分野の企業会員で構成されています。カナダのブリティッシュ・コロンビア州を本拠地とした幅広い分野の企業が連携し、海外(北米以外)の市場に向けて、ウエスタンレッドシダー製品の認識と需要を高めるために全力を傾けております。当協会は「シダー業界の声」として知られるウエスタンレッドシダー製材協会(WRCLA)の傘下団体です。WRCLAは1954年以来、ウエスタンレッドシダー製品の優れた特性の広報に取り組んでおります。

当協会の会員企業全体を合わせると、ウエスタンレッドシダー製品の輸出総額の70%以上にあたる7000万ボードフィートを超えるシダー製品を、毎年海外へ荷しています。正会員のほかに、当WRCEAはカナダ国内市場でウエスタンレッドシダー需要の向上に努めている企業を対象に、準会員制度を設けています。

当協会では、ヨーロッパ、アジア、オセアニア地域の主要な市場向けに、技術情報とともに販売促進のための情報を提供しています。そのため、お客様を始め関連団体と密接な連携をとりながら、文献出版、広報プログラム、ウェブサイトでのリソース蓄積、見本市の開催支援などに力を注いでいます。当協会の各種資料や様々な活動は、建築家、建設業者、消費者に対し、ウエスタンレッドシダーの環境上の利点、優れた特性、およびこのユニークな樹木製品を生かした幅広い用途についての知識を高めていただくようデザインされたものです。

ウエスタンレッドシダーに関する詳しい情報、WRCEA会員企業の製品を販売している地元会社の一覧表などにつきましては、当協会ウェブサイトwww.wrcea.jpの「お買い求めは」のページをご覧ください。

WRCEA – 本社

#1501 – 700 W. Pender St.
Vancouver, BC
Canada V6C 1G8
T. 604 684 0266
F. 604 687 4930
info@wrcea.org

本パンフレット刊行にあたり、下記の皆様から手厚いご支援をいただきました。



お知らせ：ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。WRCEAとその取締役、役員、社員、受託業者および代理業者は、本書に記載されている情報に関わるいかなる訴訟原因、損失、損害、傷害または死亡について、例えその訴訟原因、損失、損害、傷害または死亡が、WRCEAとその取締役、役員、社員、受託業者および代理業者の怠慢または不履行によるものであったとしても、責任または法的責任を負うものではありません。いかなる場合も、国および地方の建築基準法を必ず遵守してください。